



Multilingual Expert Program



**大阪大学
マルチリンガル・エキスパート
養成プログラム**

2026年度 学部プログラム
大学院プログラム

はじめに

昨今、いわゆるエマージング・エコノミーの台頭とともに、複数の高度な外国語運用能力と高い専門性を身につけ、国際舞台で活躍できる人材の養成が急務となっています。国際用語となっている英語のみならず、他の外国語を自在に運用できとともに、法律、経済、歴史等の人文社会系、IT関連等の理工情報系の専門知識を備えた人材が求められています。

大阪大学は、外国語学部を擁する唯一の国立総合大学として、他大学では養成できないこうした貴重な人材を育成・輩出し、我が国の発展と国際社会の相互理解に貢献することが大学としての使命であると考えています。

その使命を果たすべく、本学における学際融合教育（学部・研究科等の枠にとらわれない教育）プログラムである「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」を用意しています。本プログラムでは、本学の学生が多様な言語教育科目と各学部・研究科における専門教育科目を並行して履修することができます。

大阪大学は、多数の学部・研究科・研究所・センター等からなる総合大学です。マルチリンガル・エキスパート養成プログラムにおいて提供される学部プログラムと大学院プログラムは、それぞれの専門分野の科目により編成されており、また、学部の課程と大学院の博士前期（修士）課程を通じたプログラムとなっています。そのうちの大学院プログラムは、「大阪大学大学院副専攻プログラム」、「大阪大学大学院等高度副プログラム」として実施しています。

この充実した教育環境を最大限利用してみませんか。このプログラムを履修することで、今までより大きな視野で物事をとらえられることができるようになり、所属学部・研究科での勉学・研究にもプラスに作用すると確信しています。

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）

運営協議会議長 山根 聰

2026年度マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）

学部プログラム・大学院プログラムの概略

大学院プログラムは、大阪大学大学院副専攻プログラム、高度副プログラムとして開設します。

目 的	学部プログラム	大学院プログラム ^{*1}
概 要	複数の学部および複数の研究科の教育プログラムを修め、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成する。	①人文学研究科言語文化学専攻・外国語学専攻・日本学専攻応用日本学コースの学生が、他の研究科が提供する専門教育レベルの人文学（アジア／ヨーロッパ）、人間科学（共生の生態）、法学・政治学、経済学・経営学、理学、工学、基礎工学、数理・データサイエンス・AIの分野から一つを選び、本来の専門分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。 ②大学院生（人文学研究科外国学専攻を除く）が、人文学研究科外国学専攻が開設する専門教育レベルの言語・文化学の分野を、一つの専攻語を選んで学び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。
募 集 対 象	①文学部、理学部、工学部、基礎工学部、数理・データ科学教育研究センター開設のプログラムについては、外国語学部2年次、3年次の正規学生。 人間科学部、法学部、経済学部開設のプログラムについては、外国語学部2年次の正規学生。 ②学部（外国語学部を除く）の2年次、3年次の正規学生。	大学院プログラムの募集については、①②ともに50-62頁をご覧ください。
提 供 数	レギュラープログラム：6 ショートプログラム：15	副専攻プログラム：7 高度副プログラム：2
募 集 人 員	各プログラム：若干名	各プログラム：若干名
プロ グ ラ ム 開 始 申 請	必要（プログラム履修申請と科目履修申請／科目履修登録）	必要（プログラム履修申請と科目履修登録）
修 了 要 件	レギュラープログラム：24単位以上 ショートプログラム：12単位以上 24単位未満	副専攻プログラム：14単位以上 高度副プログラム：プログラム毎に定められている単位以上
修了認定証 ^{*1}	総長とプログラム開設学部長、研究科長、センター長との連名で発行	

（※1）学部プログラムのうちレギュラープログラムと大学院プログラムの両方を修了した者には、大学院副専攻プログラム修了認定証に加えて大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）の修了認定証を授与します。

目 次

はじめに

2026年度マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE） 学部プログラム・大学院プログラムの概略

1 プログラムの概要	1
(1) 「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE） 学部プログラム・大学院プログラム」の構成	
(2) プログラムの区分	
(3) プログラムの履修開始から修了までの流れ	
2 募集対象者・履修条件等について	6
(1) 募集対象者	
(2) 履修条件	
(3) 費用	
3 各プログラムのカリキュラム内容について	8
(1) プログラムのカリキュラムについて	
(2) プログラムの修了要件の満たし方について	
(3) プログラムの授業科目の開講期間について	
4 プログラムの履修申請等に関する手続について	9
(1) プログラムの履修開始時の手続について	
(2) プログラムおよびプログラム科目に関わる通知について	
(3) プログラムの修了について	
(4) プログラムの内容に関する問い合わせ先	
5 指定事項	17
(1) 単位修得方法の注意点	

6 Q & A	18
---------------	----

2026年度 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム紹介 25

外 国 語 学 部 【インドネシア語・インドネシア研究】	25
【タイ語・タイ地域研究】	26
【ベトナム語・東南アジア研究】	27
【ウルドゥー語・南アジア地域文化研究】	28
【スワヒリ語・アフリカ研究】	29
【ハンガリー語・ハンガリー研究】	30
【デンマーク語・北欧研究】	31
【英語・英米文化学】	32
【フランス語・フランス文化学】	36
【イタリア語・イタリア文化学】	37
【スペイン語・スペイン文化学】	38
【ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学】	39
文 学 部 【人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）】	40
【人文学（グローバル・ヨーロ・スタディーズ）】	41
人 間 科 学 部 【人間科学（共生の生態）】	42
法 学 部 【法学・政治学】	43
経 済 学 部 【経済学・経営学】	44
理 学 部 【理学】	45
工 学 部 【工学】	46
基 础 工 学 部 【基礎工学】	47
数理・データ科学	
教育研究センター 【数理・データサイエンス・AI】	49

2026年度 マルチリンガル・エキスパート養成大学院プログラム紹介..... 50

人 文 学 研 究 科 【人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）】	50
【人文学（グローバル・ヨーロ・スタディーズ）】	51
(外 国 学 専 攻) 【言語文化学】	52
人 間 科 学 研 究 科 【人間科学（共生の生態）】	56
法 学 研 究 科 【法学・政治学】	57
経 済 学 研 究 科 【経済学・経営学】	58
国際公共政策研究科 【国際公共政策学】	60
工 学 研 究 科 【大学院生のための工学入門】	61
数理・データ科学	
教育研究センター 【データサイエンス】	62

関係資料 63

- 大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムに関する申合せ
- 大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムの一部として実施される
学部プログラムに関する覚書

1 プログラムの概要

「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE） 学部プログラム・大学院プログラム」とはどのようなものなのか解説します。

(1) 「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE） 学部プログラム・大学院プログラム」の構成

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）は、「学部プログラム」と「大学院プログラム」からなります。

学部プログラム

学部プログラムは、レギュラープログラムとショートプログラムに分かれています。
レギュラープログラム、ショートプログラムとともに、各学部が定める要件を満たした履修生には、学部修了時に学部プログラム修了認定証が交付されます。

◆レギュラープログラム 修了要件単位数が24単位以上

外国語学部生対象

- 人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）
- 人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）
- 人間科学（共生の生態）
- 法学・政治学
- 経済学・経営学

外国語学部生以外対象

- 英語・英米文化学

◆ショートプログラム 修了要件単位数が12単位以上

外国語学部生対象

- 理学
- 工学
- 基礎工学
- 数理・データサイエンス・AI

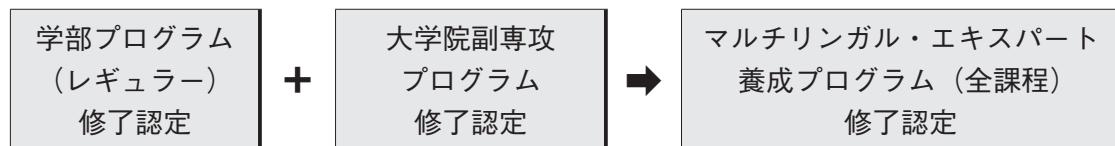
外国語学部生以外対象

- インドネシア語・インドネシア研究
- タイ語・タイ地域研究
- ベトナム語・東南アジア研究
- ウルドゥー語・南アジア地域研究
- スワヒリ語・アフリカ研究
- ハンガリー語・ハンガリー研究
- デンマーク語・北欧研究
- フランス語・フランス文化学
- イタリア語・イタリア文化学

- ・スペイン語・スペイン文化学
- ・ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学

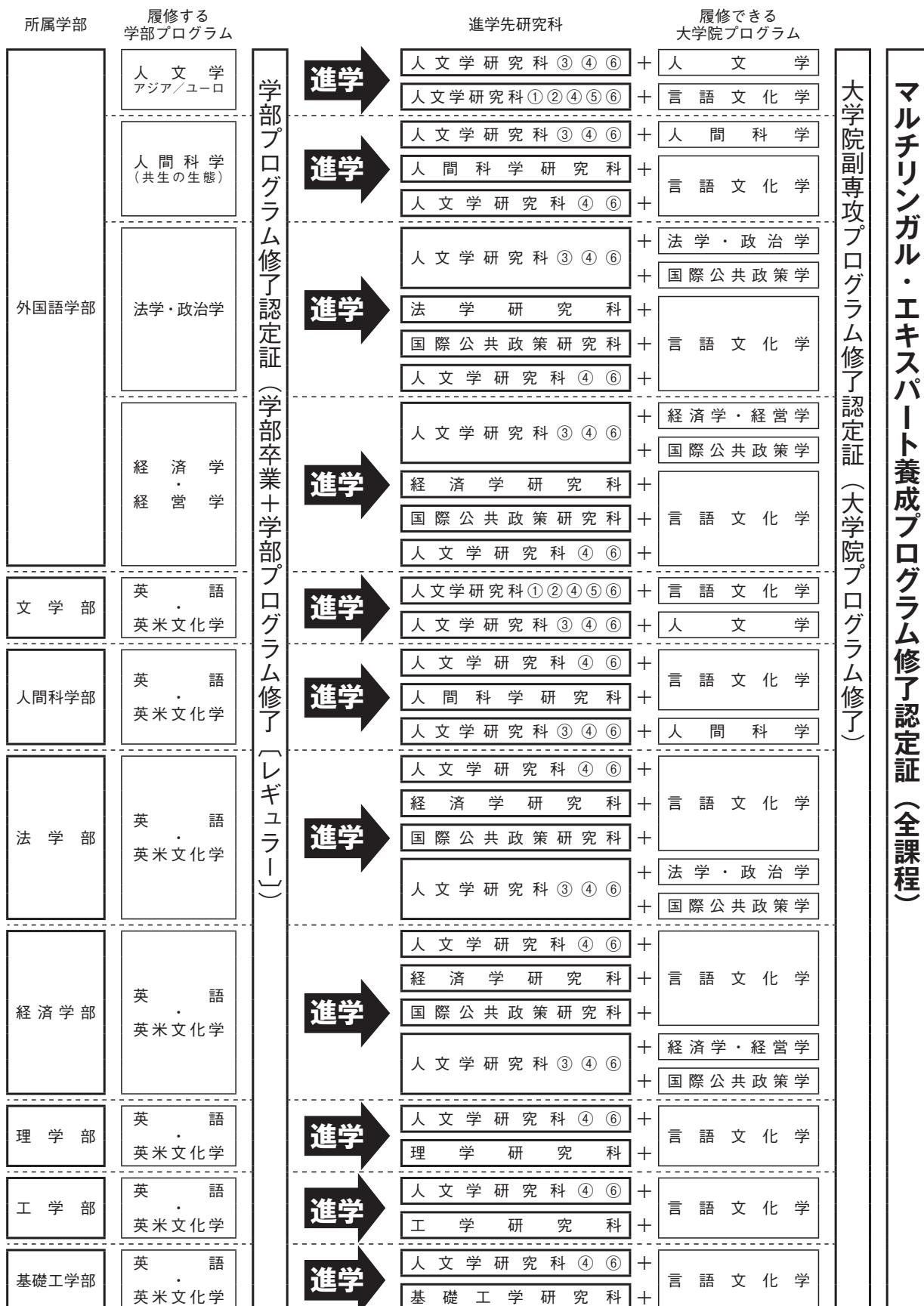
大学院プログラム

各研究科が定める要件を満たした履修生には、課程修了時に大学院プログラムの修了認定証が交付されます。学部プログラムのうち、レギュラープログラム（24単位以上）の修了者が大阪大学の大学院に進学した場合、3頁の図1に示される組み合わせで大学院副専攻プログラム（14単位以上）を修了すると、学部プログラムと大学院プログラムを合わせてのマルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）修了認定証が交付されます。



※大学院プログラムの募集対象については、12-15頁および、50-62頁をご確認ください。

2026年度開設のプログラムに基づいた履修パターン【図1】



- 人文学研究科
①人文学専攻 ②芸術学専攻 ③外国学専攻 ④言語文化学専攻 ⑤日本学専攻基礎日本学コース ⑥日本学専攻応用日本学コース

●ショートプログラム

「理学」、「工学」、「基礎工学」、「数理・データサイエンス・AI」、「インドネシア語・インドネシア研究」、「タイ語・タイ地域研究」、「ベトナム語・東南アジア研究」、「ウルドゥー語・南アジア地域文化研究」、「スワヒリ語・アフリカ研究」、「ハンガリー語・ハンガリー研究」、「デンマーク語・北欧研究」、「フランス語・フランス文化学」、「イタリア語・イタリア文化学」、「スペイン語・スペイン文化学」、「ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学」は、学部プログラムの修了認定はされますが、大学院プログラムと合わせてのマルチリンガル・エキスピート養成プログラム（全課程）の修了認定はされません。

※上記の履修パターンは「全課程」に基づいたものです。上記以外の履修は、「全課程」の対象外となります。プログラムを履修することは可能です。(所属する専攻・研究科が開設しているプログラムは、履修することができません。)

(2) プログラムの区分

プログラムは、以下のように区別されています。

	学部プログラム	大学院プログラム
概要	①外国語学部の学生が、他の学部が開設する専門教育レベルの人文学（アジア／ユーロ）、人間科学（共生の生態）、法学・政治学、経済学・経営学、理学、工学、基礎工学、数理・データサイエンス・AIの分野から一つを選び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。 ②学部生（外国語学部生を除く）が、外国語学部が提供する専門教育レベルの語学・文化学の分野を、一つ専攻語を選んで学び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。	①人文学研究科言語文化学専攻・外国学専攻・日本学応用日本学コースの学生が、他の研究科・専攻が提供する専門教育レベルの人文学（アジア／ユーロ）、人間科学（共生の生態）、法学・政治学、経済学・経営学、国際公共政策学、工学、データサイエンスの分野から一つを選び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。 ②大学院生（人文学研究科外国学専攻を除く）が、人文学研究科外国学専攻が開設する専門教育レベルの語学・文化学の分野を一つ、専攻語を選んで学び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。
募集対象 ^{*1}	①学部の2年次以上の正規学生	12-15頁をご確認ください。
修了要件	レギュラープログラム：24単位以上 ショートプログラム：12単位以上24単位未満 ^{*2}	副専攻プログラム：14単位以上 高度副プログラム：プログラム毎に定められている単位以上
プログラム数	①9プログラム ②12プログラム	①8プログラム ②1プログラム

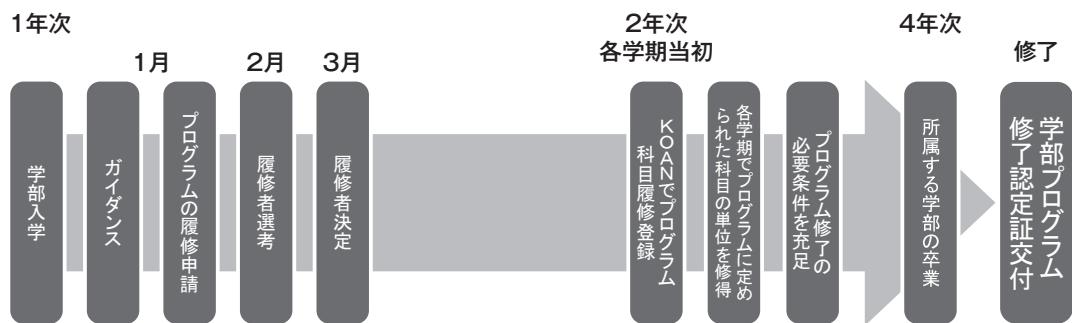
(※1) プログラムごとに募集対象が異なりますので、必ず各プログラムの紹介等で確認してください。

(※2) 学部プログラムの修了に必要な単位数は次のとおりとし、各学部プログラムごとにこれを定めるものとします。

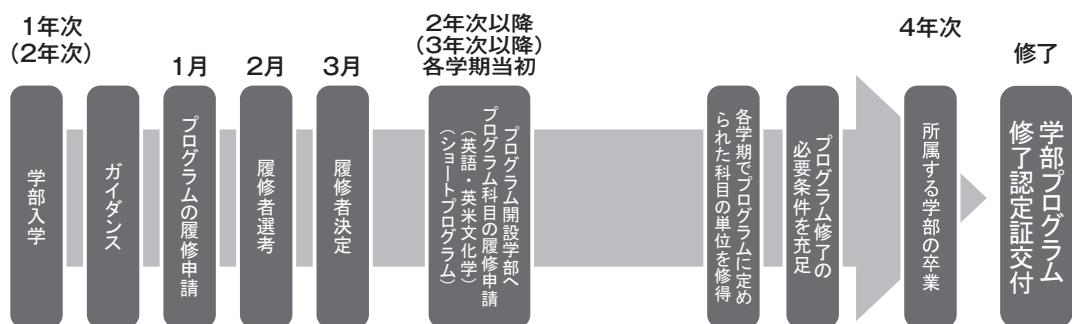
- (1) レギュラープログラム 24単位以上
- (2) ショートプログラム 12単位以上24単位未満

(3) プログラムの履修開始から修了までの流れ【図2】

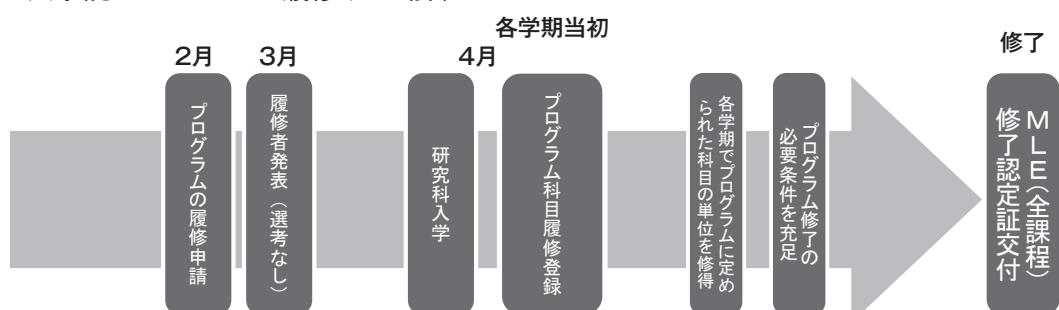
- ① 学部プログラム「人文学（アジア／ユーロ）」「人間科学（共生の生態）」「法学・政治学」「経済学・経営学」を履修する場合



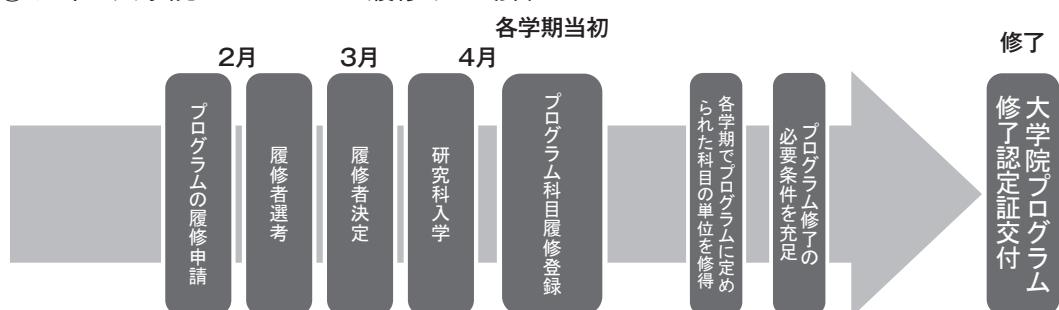
- ② 学部プログラム「英語・英米文化学」「ショートプログラム」を履修する場合



- ③ 学部プログラム（レギュラープログラム）を修了した学生が3頁図1の履修パターンどおり大学院プログラムを履修する場合



- ④ ③以外で大学院プログラムを履修する場合



●レギュラープログラム

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」「人間科学（共生の生態）」「法学・政治学」「経済学・経営学」「英語・英米文化学」

●ショートプログラム

「理学」「工学」「基礎工学」「数理・データサイエンス・AI」「インドネシア語・インドネシア研究」「タイ語・地域研究」「ベトナム語・東南アジア研究」「ウルドゥー語・南アジア地域文化研究」「スワヒリ語・アフリカ研究」「ハンガリー語・ハンガリー研究」「デンマーク語・北欧研究」「フランス語・フランス文化学」「イタリア語・イタリア文化学」「スペイン語・スペイン文化学」「ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学」

2 募集対象者・履修条件等について

MLE プログラムを履修することができる者、条件の概要を解説します。

(1) 募集対象者

◆学部プログラム

開設学部・センター	プログラム	募集対象者
文 学 部	人文学（グローバル・アジア・スタディーズ） 人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）	2026年度（令和8年度）に大阪大学の外国語学部の2、3年次に在学する正規学生
理 学 部	理学	
工 学 部	工学	
基 础 工 学 部	基礎工学	
数理・データ科学教育研究センター	数理・データサイエンス・AI	
人 間 科 学 部	人間科学（共生の生態）	
法 学 部	法学・政治学	
経 済 学 部	経済学・経営学	
外 国 語 学 部	インドネシア語・インドネシア研究	
	タイ語・タイ地域研究	
	ベトナム語・東南アジア研究	
	ウルドゥー語・南アジア地域文化研究	
	スワヒリ語・アフリカ研究	
	ハンガリー語・ハンガリー研究	
	デンマーク語・北欧研究	
	英語・英米文化学	
	フランス語・フランス文化学	
	イタリア語・イタリア文化学	

◆大学院プログラム

開設研究科・センター	プログラム	募集対象者
人 文 学 研 究 科	人文学（グローバル・アジア・スタディーズ） 人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ） 言語文化学 ※外国学専攻開設	12-15頁をご覧ください。
人 間 科 学 研 究 科	人間科学（共生の生態）	
法 学 研 究 科	法学・政治学	
経 済 学 研 究 科	経済学・経営学	
国際公共政策研究科	国際公共政策学	
工 学 研 究 科	大学院生のための工学入門	
数理・データ科学教育研究センター	データサイエンス	

(2) 履修条件

学部プログラムにおいては、大阪大学の学部の課程に在学していることが必要です。大学院プログラムにおいては、大阪大学の大学院の修士もしくは、博士前期課程に在学していることが必要です。(どちらも科目等履修生・特別聴講学生を除く)。その他、プログラムごとに履修条件や履修者数の制限を設けている場合がありますので、個々のプログラム紹介を参照してください。

なお、MLE プログラムの複数のプログラムを同時に履修することはできませんので、プログラムの履修申請に際しては、MLE プログラムの中から 1 つ選択して履修申請手続きを行ってください。

(3) 費用

プログラムを履修することに対しては特別な費用はかかりません。ただし、プログラムの科目によっては、授業を受ける際に交通費などの実費がかかることがあります。

3 各プログラムのカリキュラム内容について

プログラムのカリキュラムの成り立ちや修了方法について解説します。

(1) プログラムのカリキュラムについて

各プログラムのカリキュラムは、プログラム開設部局が企画し、プログラム科目や修了要件単位数を決めています。プログラム科目は、プログラム開設部局で開講する授業科目から構成されています。本冊子ではプログラムの概要を紹介していますが、科目の内容や構成科目については、ホームページ、KOAN のシラバス等を参照してください。

(2) プログラムの修了要件の満たし方について

◆学部プログラムの修了要件の満たし方（本冊子の補足事項17頁を参照）

修了要件はプログラムごとに異なり、本冊子にはプログラムの修了に必要な最低単位数を記載していますが、プログラムによっては必修科目を設けたり、コースを選択したりするなど、条件に違いがあります。詳細については、各プログラムの紹介ページ（25-49頁）等で確認してください。

なお、プログラムの修了に必要な単位と、所属している学部の学科の卒業に必要な単位との重複は認められます。当該プログラムの単位が、学科の卒業に必要な単位として認められるかどうかは、所属学部の教務担当係に確認してください。

◆大学院プログラムの修了要件の満たし方

修了要件はプログラムごとに異なり、本冊子にはプログラムの修了に必要な最低単位数を記載していますが、プログラムによっては必修科目を設けたり、コース選択をしたりするなど、条件に違いがあります。詳細については、各プログラムの紹介ページ（50-62頁）等で確認してください。

プログラムの修了に必要な単位と、所属している研究科の専攻の修了に必要な単位との重複は認められます。当該プログラムの単位が、専攻の修了に必要な単位として認められるかどうかは、所属する研究科の教務担当係に確認してください。

なお、他の大学院副専攻プログラムと本大学院プログラムを履修する場合、各プログラムの修了に必要な単位の重複は認めます。

(3) プログラムの授業科目の開講期間について

プログラムの提供する授業科目の開講は、プログラムを履修している当該学生の課程の標準修業年限内は保証されますが、それ以降はカリキュラムの変更等の理由で開講されない場合がありますのでご注意ください。

4 プログラムの履修申請等に関する手続について

プログラムの履修申請、プログラム科目の履修について解説します。

(1) プログラムの履修開始時の手続について

学部プログラム

◎外国語学部生向け

◆レギュラープログラム：24単位以上

対象学生：外国語学部の2, 3年次に在学する正規学生

- ・人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）
- ・人文学（グローバル・ヨーロ・スタディーズ）

対象学生：外国語学部の2年次に在学する正規学生

- ・人間科学（共生の生態）
- ・法学・政治学
- ・経済学・経営学

◆ショートプログラム：12単位以上

対象学生：外国語学部の2, 3年次に在学する正規学生対象

- ・理学
- ・工学
- ・基礎工学
- ・数理・データサイエンス・AI

履修申請について

応募希望者は、1つのプログラムを選択し、下記の期間内に履修申請書を各プログラムの開設部局の教務係宛にメールで申請してください。窓口で提出する場合は、開設部局の教務係窓口、または人文学研究科箕面事務部2階MLE担当もしくは外国語学部豊中分室にて受け付けます。

◆「理学」「工学」「基礎工学」「数理・データサイエンス・AI」プログラムについては、MLE事務局へメールで申請してください。

◆「法学・政治学」プログラムをメールで申請する場合、MLE事務局と法学部教務係の両方に申請してください。直接窓口に申請する場合は、法学部教務係入口左横に設置の投函用ボックスに提出してください。

◆人文学プログラムをメールで申請する場合は、件名に【MLE_申請_】の後に「アジア」もしくは「ヨーロ」を明記してください。

◆履修申請書の様式は、MLEのホームページから入手できます。

MLEホームページ：<https://mle.osaka-u.ac.jp/program/application.html>

履修申請書の提出期間 2026年1月21日（水）～2月20日（金）15:00必着

成績証明書の提出方法について

履修申請書を提出した後、秋冬学期の成績が記載された成績証明書を、下記の期間内に各プログラム開設部局の教務係宛にメールで提出してください。または、MLE事務局へメールもし

くは開設部局の教務係窓口にて提出することも可能です。

- ◆「法学・政治学」「工学」「数理・データサイエンス・AI」プログラムについては、提出不要です。
- ◆人文学プログラムをメールで申請する場合は件名に、【MLE_成績証明書】の後ろに、「アジア」もしくは「ユーロ」を明記してください。

成績証明書の提出期限 2026年3月4日（水）15:00必着

(メールの場合) 必要書類を添付のうえ、下記の E-mail アドレスまで送付してください。

開設部局教務係 【@マーク】 office.osaka-u.ac.jp

multilingual 【@マーク】 office.osaka-u.ac.jp

※件名は【MLE_申請_学籍番号_氏名】としてください。

※添付ファイルには十分なセキュリティ対策を施したうえで送付してください。

※開設部局教務係または MLE 事務局から受領確認のメールが届いた時点で、受付完了となります。申請後、数日経っても連絡がない場合は、お手数ですが問い合わせてください。

(窓口提出の場合) 各プログラム開設部局の教務係（吹田キャンパス／豊中キャンパス）

大阪大学人文学研究科箕面事務部 2F事務室MLE担当(箕面キャンパス)

大阪大学人文学研究科外国語学部 豊中分室 全学教育推進機構総合棟II 1F (豊中キャンパス)

※注意事項 各学部教務係の閉室日が決まっています。各自 HP などで閉室状況を確認し、提出期間内に提出してください。

選考について

履修生の選考は、開設部局の定める方法により行います。合否については、3月中旬～下旬頃に開設部局または MLE 事務局から通知します。

科目履修について

選考を経て履修生となった学生は、各学期において、各プログラムの定めるルールに従い、所定の履修登録期間内に科目履修登録を行ってください。ご自身で登録できない場合は、MLE 事務局に問い合わせてください。詳細については、MLE のホームページまたはメールにてお知らせします。

○学部生（外国語学部生を除く）向けプログラム

◆レギュラープログラム：24単位以上

対象学生：学部（外国語学部生を除く）の2, 3年次に在学する正規学生

- 英語・英米文化学

◆ショートプログラム：12単位以上

対象学生：学部（外国語学部生を除く）の2, 3年次に在学する正規学生

- インドネシア語・インドネシア研究
- タイ語・タイ地域研究

- ・ベトナム語・東南アジア研究
- ・ウルドゥー語・南アジア地域文化研究
- ・スワヒリ語・アフリカ研究
- ・ハンガリー語・ハンガリー研究
- ・デンマーク語・北欧研究
- ・フランス語・フランス文化学
- ・イタリア語・イタリア文化学
- ・スペイン語・スペイン文化学
- ・ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学

履修申請について

応募希望者は、1つのプログラムを選択し、期間内にMLE事務局へメールで申請してください。窓口提出の場合は、人文学研究科対面事務部2階MLE担当または外国語学部豊中分室にて受け付けます。

- ◆「英語・英米文化学」を受講する場合は、35頁の「別表：英語・英米文化学プログラム・2026年度検定試験のスコア提出について」を確認のうえ、検定試験のスコア画像（種類、受検年月日、氏名、スコアが印字された部分）併せて提出してください。
- ◆履修申請書の様式は、MLEのホームページで入手できます。

MLEホームページ：<https://mle.osaka-u.ac.jp/program/application.html>

履修申請書の提出期間 2026年1月21日（水）～2月20日（金）15:00必着

成績証明書の提出方法について

履修申請書を提出した後、秋冬学期の成績が記載された成績証明書を、下記の期間内にMLE事務局へメールで提出してください。窓口提出の場合は、人文学研究科対面事務部2階MLE担当または外国語学部豊中分室にて受け付けます。

成績証明書の提出期限 2026年3月4日（水）15:00必着

(メールの場合) 必要書類を添付のうえ、下記のE-mailアドレスまで送付してください。
multilingual【@マーク】office.osaka-u.ac.jp
※件名は【MLE_申請_学籍番号_氏名】としてください。
※添付ファイルには十分なセキュリティ対策を施したうえで送付してください。
※MLE事務局から受領確認のメールが届いた時点で、受付完了となります。申請後、数日経っても連絡がない場合は、お手数ですが問い合わせてください。

(窓口提出の場合) 箕面キャンパス：大阪大学人文学研究科箕面事務部
2F 事務室 MLE 担当
豊中キャンパス：大阪大学人文学研究科外国語学部 豊中分室
全学教育推進機構総合棟Ⅱ 1F
※注意事項：外国語学部豊中分室については、授業期間外は閉室しています。

選考について

履修生の選考は、開設部局の定める方法により行います。合否については、3月中旬～下旬頃に開設部局または MLE 事務局から通知します。

科目履修について

選考を経て履修生となった学生は、各学期において、各プログラムの定めるルールに従い、所定の履修登録期間内に科目履修登録を行ってください。ご自身で登録できない場合は、MLE 事務局に問い合わせてください。詳細については、MLE のホームページまたはメールにてお知らせします。

大学院プログラム

1. MLE 学部プログラム修了生（3 頁の図 1 参照）

◆副専攻プログラム：14単位以上

- 人文学研究科：人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）
人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）
言語文化学 ※外国学専攻開設
- 人間科学研究科：人間科学（共生の生態）
- 法学研究科：法学・政治学
- 経済学研究科：経済学・経営学
- 国際公共政策研究科：国際公共政策学

◆高度副プログラム

- 工学研究科：大学院生のための工学入門（5.2単位以上）
- 数理・データ科学教育研究センター：データサイエンス（8 単位以上）

募集対象について

2026年4月（または、10月入学の場合は、2025年10月）に大阪大学の大学院の修士もしくは博士前期課程に入学する（した）者

選考について

なし

履修申請について

所定の履修申請書に必要事項を記入のうえ、MLE 事務局宛にメールで申請してください。

◆履修申請書の様式は、MLE のホームページで入手できます。

MLE ホームページ : <https://mle.osaka-u.ac.jp/program/application.html>

履修申請書の提出期間 2026年 2月16日（月）～3月6日（金）15：00必着

(メールの場合) 履修申請書を添付のうえ、下記の E-mail アドレスまで送付してください。
multilingual【マーク】office.osaka-u.ac.jp
※件名は【MLE 大学院プログラム_申請】としてください。
※添付ファイルには十分なセキュリティ対策を施したうえで送付してください。
※ MLE 事務局から受領確認のメールが届いた時点で受付完了となります。
申請後、数日経っても連絡がない場合は、お手数ですがお問い合わせください。

2. MLE 学部プログラム修了生以外（人文学研究科外国学専攻を除く）

◆副専攻プログラム：14単位以上

- 人文学研究科：言語文化学

募集対象について

2026年 4月（または、10月入学の場合は、2025年10月）に大阪大学の大学院（人文学研究科外国学専攻を除く）の修士もしくは博士前期課程に入学する（した）者

定員について

若干名

選考について

書類選考（必要に応じて面接を行うことがあります）の結果は、3月下旬頃に MLE 事務局から通知いたします。

必要書類について

- 履修申請書
- 最終学校の成績証明書の写し
- 外国語の能力を証明するものの写し

◆履修申請書の様式は、MLE のホームページで入手できます。

MLE ホームページ : <https://mle.osaka-u.ac.jp/program/application.html>

履修申請について

以下の送付先に、申請期間中に必着となるよう、必要書類を簡易書留など記録の残る方法で郵送または、MLE 事務局宛にメールで申請してください。

履修申請書の提出期間 2026年 2月16日（月）～3月6日（金）15：00必着

(メールの場合) 必要書類を添付のうえ、下記の E-mail アドレスまで送付してください。
multilingual【@マーク】office.osaka-u.ac.jp
※件名は【MLE 大学院プログラム_申請】としてください。
※添付ファイルには十分なセキュリティ対策を施したうえで送付してください。
※ MLE 事務局から受領確認のメールが届いた時点で受付完了となります。
申請後、数日経っても連絡がない場合は、お手数ですがお問い合わせください。

(郵送の場合) 必要書類を同封の上、下記の宛先に郵送してください。
〒562-8678 大阪府箕面市船場東3丁目5番10号
大阪大学人文学研究科箕面事務部 MLE 担当 宛
※封筒の表に「マルチリンガル・エキスパート養成大学院プログラム応募書類在中」と朱書きすること。

3. MLE 学部プログラム修了生以外

◆副専攻プログラム：14単位以上

- 人文学研究科：人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）
人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）
- 人間科学研究科：人間科学（共生の生態）
- 法学研究科：法学・政治学
- 経済学研究科：経済学・経営学
- 国際公共政策研究科：国際公共政策学

◆高度副プログラム

- 工学研究科：大学院生のための工学入門（5.2単位以上）
- 数理・データ科学教育研究センター：データサイエンス（8 単位以上）

募集対象について

2026年4月（または、10月入学の場合は、2025年10月）に大阪大学の人文学研究科言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻、応用日本学コースの博士前期課程に入学する（した）者

定員について

若干名

選考について

書類選考（必要に応じて面接を行うことがあります）の結果は、3月下旬頃に MLE 事務局から通知いたします。

必要書類について

- ① 履修申請書
- ② 最終学校の成績証明書の写し

◆履修申請書の様式は、MLE のホームページで入手できます。

MLE ホームページ : <https://mle.osaka-u.ac.jp/program/application.html>

履修申請について

以下の送付先に、申請期間中に必着となるよう、必要書類を簡易書留など記録の残る方法で郵送または、MLE 事務局宛にメールで申請してください。

履修申請書の提出期間 2026年 2月16日（月）～3月6日（金）15：00必着

(メールの場合) 必要書類を添付のうえ、下記の E-mail アドレスまで送付してください。

multilingual【@マーク】office.osaka-u.ac.jp

※件名は【MLE 大学院プログラム_申請】としてください。

※添付ファイルには十分なセキュリティ対策を施したうえで送付してください。

※ MLE 事務局から受領確認のメールが届いた時点で受付完了となります。

申請後、数日経っても連絡がない場合は、お手数ですがお問い合わせください。

(郵送の場合) 必要書類を同封の上、下記の宛先に郵送してください。

〒562-8678 大阪府箕面市船場東3丁目5番10号

大阪大学人文学研究科箕面事務部 MLE 担当 宛

※封筒の表に「マルチリンガル・エキスパート養成大学院プログラム応募書類在中」と朱書きすること。

(2) プログラムおよびプログラム科目に関わる通知について

プログラムに関する通知や、プログラム科目の授業運営に関する通知（休講、課題等）の連絡は、原則、KOAN（掲示板等）により行います。ただし、プログラムによっては、メールやホームページを使用する場合がありますので、各プログラムの指示に従ってください。

(3) プログラムの修了について

学部プログラム

学部プログラムの修了に必要な条件をすべて満たすと、所属学部の課程を卒業する時に学部プログラムの修了認定証を授与します。修了認定証の交付は、所属学部の教務担当係より行われます。

大学院プログラム

大学院プログラムの修了に必要な条件をすべて満たすと、大学院副専攻プログラム、大学院高度副専攻プログラムの修了認定証を授与します。修了認定証の交付は、所属する研究科の教務担当係より行われます。

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）

本プログラムの学部プログラムのうち、レギュラープログラム（24単位）と大学院副専攻プログラム（14単位）の両プログラムを修了した者には、大学院副専攻プログラム修了認定証に加えてマルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）の修了認定証を授与します。修了認定証の交付は、所属する研究科の教務担当係より行われます。

（4）プログラムの内容に関する問い合わせ先

大阪大学 人文学研究科箕面事務部
マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE） 担当

〒562-8678 大阪府箕面市船場東3丁目5番10号

Email : multilingual@office.osaka-u.ac.jp

HP : <https://mle.osaka-u.ac.jp/>

5 棚足事項

以下の棚足事項は、2023年度以前にプログラムの履修を開始した学生に適用されます。

2024年度以降にプログラムの履修を開始する学生は、プログラムの要件単位数を満たすことでプログラムの修了が認定されます。

(1) 単位修得方法の注意点

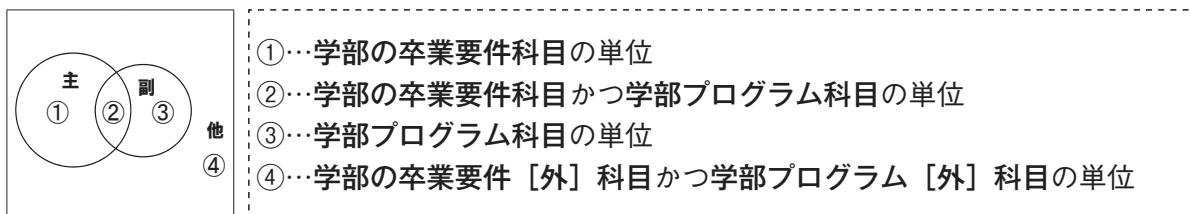
学部プログラム

学部プログラムは、所属学部・学科以外の内容や所属学科の専門性を生かすための関連分野を学ぶプログラムです。よって、プログラムの要件単位数を満たしても、所属学部・学科の卒業要件単位と重複する（内数として利用される）単位のみでは同プログラムを修了したと認定されず、【制度上の最低修得単位数の半数以上】は、当該プログラムのための単位として修得する必要があります。すなわち、レギュラープログラム（24単位）においては【12単位上】、ショートプログラム（12単位）においては【6単位以上】は、学部・学科の卒業単位ではない単位、あるいは卒業要件単位となる科目で卒業のために利用する単位数以上の余分に追加された単位である必要があります。

なお、プログラム科目が所属学部・学科以外の構成科目でも、同学部が規定する申請を行うことにより、卒業要件単位に算入することができる場合がありますが、当該科目を卒業要件の内数として利用する場合は、それ以外に単位の上乗せが必要となる場合があることに注意が必要です。

図解例

修得した単位を下記の区分①～④に分けた場合、



所属学部の卒業要件単位数を「(A) 単位」とすると、以下の3つの条件をすべて満たすことが必要です。

- 条件1：学部プログラムの修了要件を満たすこと。
- 条件2：「 $(1+2+3) \geq (A) + 12$ (レギュラープログラム) あるいは、6 (ショートプログラム)」を満たすこと。
(例：学部プログラムを申請し、 $(A)=126$ の場合、「138単位以上」)
学部プログラム科目の単位と、所属している学部の卒業要件単位との重複は認められるが、学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に当該学部プログラム修得のために必要な単位数の半数以上の単位を修得することが必要。
- 条件3：所属学部を卒業すること。

※詳しくは所属の教務係にお問い合わせください。

6 Q & A

履修希望者および実際の履修生よりいただいた質問とその回答を紹介します。

募集・申請

Q：募集人員の「若干名」とは、何名程度の想定ですか？

A：募集人員「若干名」の人数想定としては、1～10名程度を想定しており、各プログラムへの募集者数や応募者の成績等を基にプログラムごとに決定されています。

Q：なぜ、募集人員を若干名に限るのですか？

A：学部プログラムについては、文学部、人間科学部、外国語学部、法学部、経済学部、理学部、工学部、基礎工学部、数理・データ科学教育研究センター（全教）の専門教育科目の授業を他学部の学生が履修するという形で開講するものであるため、教室の定員や授業効果等の観点から、各プログラムとも募集人員を「若干名」に限ることとしています。

Q：現在開設されているプログラムの採用者数は何名ですか？

A：以下のとおりです。

2025年度（合計：63名）

人文学（グローバル・アジア・スタディーズ） 3名

人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ） 7名

人間科学（共生の生態） 11名

法学・政治学 8名

経済学・経営学 6名

理学 1名

工学 1名

基礎工学 1名

数理・データサイエンス・AI 3名

インドネシア語・インドネシア研究 3名

タイ語・タイ地域研究 0名

ベトナム語・東南アジア研究 0名

ウルドゥー語・南アジア地域文化研究 2名

スワヒリ語・アフリカ研究 0名

ハンガリー語・ハンガリー研究 0名

デンマーク語・北欧研究 0名

英語・英米文化学 5名

イタリア語・イタリア文化学 2名

スペイン語・スペイン文化学 7名

ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学 2名

2024年度（合計：65名）

人文学（グローバル・アジア・スタディーズ） 4名

人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ） 10名

人間科学（共生の生態） 10名

法学・政治学 8名
経済学・経営学 4名
理学 3名
工学 3名
基礎工学 2名
数理・データサイエンス・AI 7名
インドネシア語・インドネシア研究 1名
ベトナム語・東南アジア研究 1名
ウルドゥー語・南アジア地域文化研究 0名
スワヒリ語・アフリカ研究 2名
ハンガリー語・ハンガリー研究 1名
デンマーク語・北欧研究 2名
英語・英米文化学 3名
イタリア語・イタリア文化学 1名
スペイン語・スペイン文化学 2名
ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学 1名

2023年度（合計：65名）

人文学（グローバル・アジア・スタディーズ） 0名
人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ） 10名
人間科学（共生の生態） 10名
法学・政治学 8名
経済学・経営学 7名
理学 4名
工学 0名
数理・データサイエンス・AI 8名
インドネシア語・インドネシア研究 0名
ベトナム語・東南アジア研究 0名
ウルドゥー語・南アジア地域文化研究 1名
スワヒリ語・アフリカ研究 2名
デンマーク語・北欧研究 2名
英語・英米文化学 8名
イタリア語・イタリア文化学 3名
スペイン語・スペイン文化学 2名
ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学 0名

Q：海外渡航などで期限までに成績証明書を取得できない場合はどうすればよいですか？

A：所属学部の教務係に申し出てください。正当な理由と認められれば、代理で成績証明書を取得し当該学部に提出します。

Q：今年度不採用の場合、来年度に応募することは可能ですか？

A：2年次を募集対象とするプログラムは、2年次しか応募できません。3年次を募集対象としているプログラムでは3年次の応募は可能です。しかしながら、対象となる年次が変更されている可能性がありますので、応募の際にはこの点を必ず確認してください。

履修者の選考

Q：履修者の選考方法や選考基準は具体的にはどのようなものですか？

A：各学部プログラムの履修者は、次の方法で選考されます。

〈人文学〉

履修申請書（志望理由）および、成績等の審査の結果を総合して選考します。希望者多数の場合は、面接を課すこともあります。

〈人間科学（共生の生態）〉

履修申請書（志望理由）および、成績等の審査の結果を総合して選考します。

〈法学・政治学〉

履修希望者多数の場合は、入学以降の成績（GPA）および、履修申請書（志望理由）を総合して選考し、履修者を決定します。

〈経済学・経営学〉

履修申請書（志望理由）および、成績等の審査の結果を総合して選考します。希望者多数の場合は、面接を課すこともあります。

〈理学〉〈工学〉〈基礎工学〉〈数理・データサイエンス・AI〉

履修希望者多数の場合は、入学以降の成績（GPA）および、履修申請書（志望理由）を総合して選考し、履修者を決定します。

Q：学部プログラムを履修するにはどの程度のGPAが必要ですか？

A：各プログラムともGPAの基準は設けられていません。

カリキュラム・授業

Q：プログラム科目の時間割はいつ発表されるのですか？

A：3月中旬から下旬を予定しております。

Q：授業科目にⅠやⅡ、1や2がついているものは、ⅠやⅡから履修したほうがよいですか？

A：〈人文学〉

ⅠやⅡなどのローマ数字は講義内容の相違を示しており、履修すべき順を表しているわけではありません。

〈人間科学〉

特にシラバスで断りがない限りは、Ⅱや2を先に履修することも、またⅡや2だけを履修することもできます。

〈法学・政治学〉

授業科目ごとに異なりますので、各自シラバスで確認してください。

〈経済学・経営学〉

基本的に履修の順番は問いませんが、シラバス等により、「1」→「2」の順に履修することが望ましいとされている授業もあります。

Q：経済学・経営学プログラムに置いては、数学的知識はかなり必要ですか？（理系出身ではないので不安があります。）また、マーケティングの授業があるようですが、講義形態の授業だけでなく、ワークショップのような参加型の授業、また実際に商品開発、マーケティングに取り組むことはありますか？

A：数学の知識は必要ですが、その程度は授業によって異なります。数学A、数学Bで使われている教科書も参照してください。また、マーケティングは、学部の授業では講義形式となります。

Q：経済学・経営学プログラムにおいては、高校における数Ⅲは必要ですか？

A：微分積分については高校の文系数学程度の知識が必要です。行列・ベクトルについては数Ⅲ+αな内容が必要な科目があります。特に、選択必修科目の統計や選択科目のエコノメトリックス関連、金融工学系の科目を専門に勉強したい場合は必要です。ミクロ・マクロなどの経済学の基本的分野ではそれほど使うことはありません。

Q：人間科学（共生の生態）プログラムにおいて、基礎科目（概論）とそのほかの科目について、履修の順番はありますか？

A：構成科目の履修の順序を特に定めていません。ただし、まずは「基礎科目」を履修することが望ましいとされています。

Q：人間科学（共生の生態）プログラムでは、数学の知識は必要ですか？

A：特に必要ありません。

Q：箕面キャンパスで遠隔受講することができる授業科目は何科目くらいありますか？

A：2022～2025年には次に掲げる遠隔配信授業が開設されています。

【2025年度の遠隔配信授業】

〈文学部〉

- 世界の中のアジア史／ヨーロッパの歴史Ⅲ（春夏・秋冬学期 木3）

〈人間科学部〉

- 共生の人間学特講I（春夏学期 月2）
- 共生の人間学I（春夏学期 水2）
- 福祉社会論（秋ターム科目 月1.2）
- 臨床死生学・老年行動学（秋冬学期 木2）
(福祉心理学)

〈法学部〉

- 政治過程論（春夏学期 月3・金3）
- 労働法（春夏学期 月4・水4）
- 刑事訴訟法（春夏学期 火1・金4）
- 行政法3（春夏学期 火4）
- 国際私法（春夏学期 水1）
- 民法4（春夏学期 水2）
- 商法2（春夏学期 金2）
- 行政法2（秋冬学期 月4）
- 行政法4（秋冬学期 火2）
- 西洋政治思想史（秋冬学期 水1・水2）
- 国際取引法（秋冬学期 金2）

〈外国語学部〉

- イタリア言語文化概説I a（春夏学期 金2）
- イタリア言語文化概説I b（秋冬学期 金2）
- スペイン文学概論（春夏学期 水4）

- ・スペイン歴史・文化概論a(春夏学期 木5)
- ・スペイン歴史・文化概論b(秋冬学期 水4)
- ・スペイン語学概論a(秋冬学期 木5)

【2024年度の遠隔配信授業】

〈法学部〉

- ・行政法1(春夏学期 月1)
- ・刑法1(春夏学期 火4・木2)

〈外国語学部〉

- ・スペイン歴史文化概論a(春夏学期 火1)
- ・イタリア言語文化概説Ia(春夏学期 金2)

【2023年度の遠隔配信授業】

〈法学部〉

- ・国際私法(春夏学期 火1)

〈人間科学部〉

- ・比較社会学(春夏学期 火2)
- ・共生の人間学I(春夏学期 金1)

〈外国語学部〉

- ・イタリア言語文化概説Ia(春夏学期 金2)
- ・イタリア言語文化概説Ib(秋冬学期 金2)

履修・修了要件

Q : 大阪大学在学中に1年間留学したいと考えていますが、MLEの履修（申請）は可能ですか？また、修了することも可能ですか？

A : 外国の大学に留学を予定している学生であっても、本プログラムの履修（申請）は可能です。ただし、2年次の1学期から留学を考えている場合は、プログラムの履修申請時に担当係に相談してください。外国の大学に留学中は、大阪大学の授業科目（プログラム科目を含む）を履修（単位修得）することはできませんが、卒業までの間に履修プログラムの修了要件を満たすことができれば、学部プログラムの修了ということになります。例えば、大阪大学を休学しないで1年間留学し、在学4年間での（学部の）卒業を考えている場合は、2年次から4年次までの間のうち大阪大学に「在学」する2年間で、履修プログラムの修了要件を満たすことができれば、学部プログラムを修了することができます。なお、大阪大学を「休学」して留学する場合は、2年次以降、大阪大学に「在学」する3年（以上の）間で、履修プログラムの修了要件を満たすことができれば、学部プログラムを修了することができます。

Q : プログラム科目の単位を落とした場合、学部プログラムの履修資格を失うなどのペナルティはありますか？

A : 学部プログラムの履修が認められた学生については、基本的に同一学部生在学中は学部プログラムの履修資格を失うことはありません。なお、卒業時までに学部プログラムの修了要件を満たすことができなかった場合は、修了認定証の交付を受けることができません。

Q : 学部プログラムの履修生として決定された後に、（例えば、プログラムの履修の途中で）プ

ログラムの履修をやめることは可能ですか？

A：やむを得ない事情で履修を取下げたい場合は、外国語学部のMLE担当まで連絡の上、履修取下げ願を提出してください。

Q：英語・英米文化学プログラムにおいて、重複履修は可能でしょうか？

A：学部プログラムの修了としては、担当教員に内容を確認し、許可を得れば重複履修は可能です。ただし、重複履修した単位が卒業要件に含まれるかどうかについては、所属学部の教務係に確認してください。

成績・単位

Q：MLE にて修得した単位を外国語学部の卒業要件単位に含められるのか知りたいです。

A：他学部開講科目は、選択科目(他学部科目)または、高度教養教育科目であれば、高度教養教育科目(他学部・他研究科等)のいずれかに振り分けられ、選択科目(他学部科目)は、専門教育系の選択科目の20単位に算入され、高度教養教育系科目は、高度教養教育科目の卒業要件単位の卒業要件単位超過分が専門教育系の選択科目の20単位に算入されます。

※外国語学部以外の卒業要件単位については、自身の所属学部の教務係に確認してください。

(要確認)

MLE 数理・データサイエンス AI で修得した単位については、数理・データサイエンス AI の科目は、ほとんどの科目が全学教育推進機構開講科目となっています。外国語学部の卒業要件単位の算入については、以下のとおりとなりますのでご注意ください。

教養教育系科目の基盤教養教育科目の場合、基盤教養教育科目の卒業要件単位は 6 単位ですので、それ以上修得した場合でも、卒業要件単位の他の科目区分に算入されることはありません。
※他の MLE プログラムとは取り扱いが異なります。

Q：MLE で履修した授業科目の成績は、GPA に加算されるのですか？

A：所属学部の教務係に確認してください。

GPA の算出の対象となる授業科目については、「大阪大学におけるグレード・ポイント・アベレージ制度に関する要項」において、共通教育系科目、専門教育系科目、国際交流科目、コミュニケーションデザイン科目および、グローバルコラボレーション科目のうち、大阪大学学部学則10条の7第2項に基づく試験の成績の評価を行う授業科目であって、「各学部において卒業要件に算入することができる授業科目」とすると定められています。

Q：留学先の大学で修得した授業科目の単位をプログラム科目の単位として認定してもらうことは可能ですか？

A：答えは「不可」です。

大阪大学学部学則第10条の3では、「他の大学等における授業科目の履修」に関して、学部が教育上有益と認める時は、学生が外国の大学の授業科目を履修して修得した単位を（所属学部の）卒業に要する単位に算入することができると規定されています。

学生が留学先大学で修得した授業科目の単位（以下「留学単位」といいます。）は、所属学部の卒業要件単位（所属学部の専門教育科目の単位）としては認定することは可能なので

すが、他学部の専門教育科目的単位として認定することはできません。

MLE プログラム科目は、授業を開設する学部（つまり、他学部）の専門教育科目となるため、留学単位は MLE の修了要件単位として認定することはできません。

Q：たとえば「法学・政治学」プログラムの履修生が、留学で修得した「法学・政治学」関連の単位は、法学部で認定してもらうことは可能ですか？

A：留学中に修得した単位は、所属学部にのみ単位互換の申請をすることができます。従って、法学部のみならず、ある学部が他学部に所属する単位を認定することはできません。

Q：プログラム科目として修得した授業科目的単位を教職課程の単位とすることは可能ですか？

A：当該プログラム科目的単位が所属学部（例えば、外国語学部）において取得することが可能な教育教員免許状に係る「教科に関する科目」等の単位として有効な場合については、教職課程の単位とすることは可能です。ただし、所属学部以外（他学部）で修得した単位となるため、教職課程の単位とする場合については、所属学部の教務係に相談するようしてください。

履修のメリット

Q：MLE の修了は、修得等において有利に働きますか？

A：自己 PR の材料になりえると考えます。就職活動の際、希望者には修了見込証明書を発行します。履歴書等の必要書類に「大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラム・学部プログラム（○○○○学）修了見込み」と記載できます。修了者には卒業時に、大阪大学総長と学部プログラムの開設部局長・センター長が連名で記載する学部プログラム修了認定証が交付されます。

その他

Q：文学部、人間科学部、法学部、経済学部で学部プログラムを修了して卒業した学生が、人文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、国際公共政策研究科のうちで、卒業学部とことなる研究科に進学した場合、大学院プログラムは履修可能でしょうか。

A：可能です。

Q：高等司法研究科へと進学した場合、大学院プログラムは履修できないのでしょうか？

A：可能です。履修プログラムにより、名称が異なりますので、プログラムの説明書で確認してください。

2026年度 マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）学部プログラム紹介

外国语学部【インドネシア語・インドネシア研究】

○構成科目

プロ ラ ム 名	和文	インドネシア語・インドネシア研究
開 設 学 部 等	英文	Indonesian and Indonesian Studies
募 集 対 象 者	2026年度（令和8年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生	
修 了 要 件	12単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従つて12単位以上修得すること。
趣 目 ・ 概 要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの一部が、学部学生向けの学部プログラムのうちショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、インドネシア語・インドネシア語1から5の単位以降の専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、インドネシア語に関する幅広い知識を有するとともに、インドネシア研究・東南アジア研究に関する専門知識を有することを目指す。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	①インドネシア語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②インドネシアおよび東南アジアの言語、文学、社会、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、インドネシア語専攻の専攻科目の内、語学科目（2単位の語学科目）と概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、インドネシア語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前 知 識 の 目 安	特になし	
履 修 申 請	9~12頁を参照のこと。 履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。 ※メール申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合に限り、外国语学部豊中分室もしくは人文学研究科箕面事務部MLE担当に提出すること。	
問 合 せ 先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 E-mail: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

時間割コード	授業科目名	単位数	開講学期(4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考
100226	インドネシア語1（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	水1	
100227	インドネシア語2（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	火4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
100228	インドネシア語3（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	木2	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
100229	インドネシア語4（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	月4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
100230	インドネシア語5（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	金3	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
100231	※①インドネシア語11	2	通年	2,3,4	月2	※①インドネシア語1から5の単位を4単位以上選択必修。
100232	※①インドネシア語12	2	通年	2,3,4	木4	※①インドネシア語を履修するには、先にインンドネシア語1から5の単位を4単位以上選択必修。
100233	※①インドネシア語13	2	通年	2,3,4	火3	
100234	※①インドネシア語14	2	通年	2,3,4	金3	
100235	※①インドネシア語15	2	通年	2,3,4	水2	
102033	〔専攻科目〕東南アジア地域研究講論a	2	春～夏学期	2,3,4	木2	
102087	〔専攻科目〕東南アジア地域研究講論b	2	秋～冬学期	2,3,4	木2	
100455	〔専攻科目〕東南アジア歴史論a	2	春～夏学期	2,3,4	月5	
100456	〔専攻科目〕東南アジア歴史論b	2	秋～冬学期	2,3,4	月5	
100461	〔専攻科目〕東南アジア社会論a	2	春～夏学期	2,3,4	水4	
100462	〔専攻科目〕東南アジア社会論b	2	秋～冬学期	2,3,4	水4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
100459	〔専攻科目〕東南アジア文化論a	2	春～夏学期	2,3,4	火3	※〔専攻科目〕東南アジア地域研究概論a、〔専攻科目〕東南アジア地域研究概論bについては、選択配付情報会社（オンライン）。
100460	〔専攻科目〕東南アジア文化論b	2	秋～冬学期	2,3,4	金2	
102008	〔専攻科目〕インドネシア文化概論（A）	2	春～夏学期	2,3,4	金2	
102009	〔専攻科目〕インドネシア文化概論（B）	2	秋～冬学期	2,3,4	金2	
100244	〔専攻科目〕インドネシア語字講義Ia	2	春～夏学期	3,4	火1	
100245	〔専攻科目〕インドネシア語字講義Ib	2	秋～冬学期	3,4	火1	
100246	〔専攻科目〕インドネシア語字講義IIa	2	春～夏学期	3,4	月3	
100247	〔専攻科目〕インドネシア語字講義IIb	2	秋～冬学期	3,4	月3	
100248	〔専攻科目〕インドネシア文化講義Ia	2	春～夏学期	3,4	水4	
100250	〔専攻科目〕インドネシア文化講義IIa	2	春～夏学期	3,4	金4	
100251	〔専攻科目〕インドネシア文化講義IIb	2	秋～冬学期	3,4	金4	
100252	〔専攻科目〕インドネシア文化講義IIIa	2	春～夏学期	3,4	水2	
100253	〔専攻科目〕インドネシア文化講義IIIb	2	秋～冬学期	3,4	木2	
100263	〔専攻科目〕東南アジア社会文化演習Ia (K)	2	不開講	3,4	不開講	
100266	〔専攻科目〕東南アジア社会文化演習Ia (B)	2	春～夏学期	3,4	火4	
100268	〔専攻科目〕東南アジア社会文化演習Ib (B)	2	秋～冬学期	3,4	火4	
100367	〔専攻科目〕イスラーム世界論	2	秋～冬学期	2,3,4	木2	

合計12単位以上で修了

原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

この構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で、開講日時、科目等変更される可能性があります。

外国语学部【タイ語・タイ地域研究】

○構成科目

プロ プラム名		和文 タイ語・タイ地域研究	英文 Thai Studies
開設 学 部 等	外国语学部		
募集 対 象 者	2026年度(令和8年度)に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生		
修了要件	12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。		
趣 楽・概 要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の複雑な課題に取り組む事務的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムは、そのうちの一部で学生向けトータルプログラムとして、実施するもので、プログラムに登録した学生に対しても、タイ語・タイ地域研究に関する専門教育科目で講義されたプログラムを提供する。これにより、タイ語のより高い運用能力を涵養することも、タイ地域研究に関する幅広い知識を持つ人材を育成することを目指す。		
到達目標 (修了時に付く能力)	①タイ語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②タイ語圏の言語、文化、歴史について、基礎的な知識を身につけ、異文化を正しく理解できる。		
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国语学部が開講する授業科目の内、タイ語専攻の車政科目の内、(2単位の実習科目)、概論に該当する講義科目 (2単位の講義科目)によって構成される。		
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、タイ語を習得して将来国際社会で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。各学部若干名で、履修申請書(志望動機)および成績などの審査の結果を統合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。		
前提知識の目安	特になし		
履修申請	9~12月を参照のこと。 履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。 ※メール申請が出来ない場合に限り、外国语学部豊中分室もしくは人文学研究科対面事務部MLE担当に提出すること。		
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE) 担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp		

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時間	備考
100326 タイ語1 (豊中開講)		2	通年	1.2.3.4	月 4	【必修科目について】 「タイ語1」と「タイ語3」を1セット、「タイ語2」と「タイ語4」を1セットとして授業を構成しています。同じ年度内に必ずセットで履修して下さい。これら4科目を同年度にすべて履修しても構いませんが、別年度に分けて履修する場合は、必ず「タイ語1・3」のセットを先に履修して下さい。
100327 タイ語2 (豊中開講)		2	通年	1.2.3.4	火 4	
100328 タイ語3 (豊中開講)		2	通年	1.2.3.4	水 1	
100329 タイ語4 (豊中開講)		2	通年	1.2.3.4	木 2	・必修科目は全て豊中キャンパスで開講されます。
100330 タイ語5 (豊中開講)		2	通年	1.2.3.4	金 4	【選択必修科目について】 ・必修科目4科目(8単位)にくわえて、必修選択科目の中から、2科目(4単位)以上を履修して下さい。
100331 タイ語11		2	通年	2.3.4	月 1	・「タイ語1」「タイ語5」は「タイ語3」の履修を満たしていることが優秀条件となります。
100335 タイ語15		2	通年	2.3.4	金 2	・「タイ語1」「タイ語5」は「タイ語3」の履修を満たしていることが優秀条件となります。
137052 ※①[人]アフリカ文化と社会を扱るH(豊中開講)		2	秋~冬学期	1.2.3.4	水 2	
100429 シャン語		2	秋~冬学期	2.3.4	水 1	
100346 [専攻科目] タイ文化講義 a		2	集中	2.3.4	集中	※① [人]文「アジアの文化と社会を知るH」はタイ語に関する一般的な講義なので、選択必修ですが、履修することをお勧めします。抽選登録※②
100347 [専攻科目] タイ文化講義 b		2	秋~冬学期	2.3.4	月 2	
100355 [専攻科目] タイ文学演習 a		2	春~夏学期	2.3.4	火 5	※②MLE生であっても、抽選登録では優遇措置はなく、他の学生と同様の取り扱いとなります。
100356 [専攻科目] タイ文学演習 a		2	秋~冬学期	2.3.4	火 5	・「タイ社会講義 IIa」と「タイ社会講義 IIb」はオンライン講義です。
100348 [専攻科目] タイ社会講義 I a		2	春~夏学期	3.4	水 4	
100349 [専攻科目] タイ社会講義 I b		2	秋~冬学期	3.4	水 4	
100365 [専攻科目] タイ社会講義 II a		2	春~夏学期	2.3.4	金 5	・「タイ語5」、「人」文「アジアの文化と社会を知るH」以外の科目は、全て箕面キャンパスで開講されます。
100350 [専攻科目] タイ社会講義 II b		2	秋~冬学期	2.3.4	金 5	

原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
この構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で、開講日時、科目等変更される可能性があります。



外国语学部【ベトナム語・東南アジア研究】

○構成科目

プログラム名 英文 Vietnamese · Southeast Asian Studies		和文 ベトナム語・東南アジア研究					
開設学部等 外国语学部		2026年度(令和8年度)に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生					
募集対象者 修了要件 12単位以上		本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。					
趣旨・概要 マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の複雑な課題に取り組む事務的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムは、そのうちの一部を主導する専門教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部生向けの専門性と、東南アジア研究として実施する専門教育プログラムとの連携を図ることで、東南アジア研究に対する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、ベトナム語よりも高い運用能力を涵養するとともに、東南アジア研究に関する幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。		本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①ベトナム語の運用能力にして、中級レベルの能力を有する。 ②ベトナム語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につける。 文化を正しく理解できる。					
カリキュラムの構成 到達目標(修了時に身に付く能力) ①ベトナム語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申申請書(志望動機)および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。		本プログラムは、外国语学部が開講するベトナム語専攻科の内、語学科目(2単位の講義科目)によって構成される。					
履修資格・条件 前前提識の目安		各自の専門分野のみならず、ベトナム語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申申請書(志望動機)および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。					
履修申請 提出期限 9-12月を参照のこと。 履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合に限り、外国语学部豊中分室もしくは人文学研究科箕面事務部MLE担当に提出すること。		特になし 9-12月を参照のこと。 履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合に限り、外国语学部豊中分室もしくは人文学研究科箕面事務部MLE担当に提出すること。					
問合せ先 マルチリンガル・エキスパート養成プログラム(MLE) 担当者 E-mail: multilingual@office.osaka-u.ac.jp		マルチリンガル・エキスパート養成プログラム(MLE) 担当者 E-mail: multilingual@office.osaka-u.ac.jp					

時間割コード	授業科目名	単位数必修選択式	開講学期(4学期制)	担当学年	曜日・時限	備考
100369	※①ベトナム語1 (豊中開講)	2	通年	1.2.3.4	水3	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
100370	※①ベトナム語2 (豊中開講)	2	通年	1.2.3.4	月2	※②のベトナム語を履修するには、先に※①のベトナム語を4単位以上修得していること。
100371	※①ベトナム語3 (豊中開講)	2	通年	1.2.3.4	金2	※②のベトナム語を2単位以上修得していること。
100372	※①ベトナム語4 (豊中開講)	2	通年	1.2.3.4	木2	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
100373	※①ベトナム語5 (豊中開講)	2	通年	1.2.3.4	火2	※②のベトナム語を履修するには、先に※①のベトナム語を4単位以上修得していること。
100374	※②ベトナム語11	2	通年	2.3.4	木1	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
100375	※②ベトナム語12	2	通年	2.3.4	月3	※②のベトナム語を履修するには、先に※①のベトナム語を4単位以上修得していること。
100376	※②ベトナム語13	2	通年	2.3.4	水3	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
100377	※②ベトナム語14	2	通年	2.3.4	火4	※②のベトナム語を履修するには、先に※①のベトナム語を4単位以上修得していること。
100378	※②ベトナム語15	2	通年	2.3.4	金4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
100366	[専攻科目] 東南アジア社会文化概論	2	春学期集中	2.3.4	集中	
102033	[専攻科目] 東南アジア地域研究概論a	2	春～夏学期	2.3.4	木2 (オフランク)	
102087	[専攻科目] 東南アジア地域研究概論b	2	秋～冬学期	2.3.4	木2 (オフランク)	
100455	[専攻科目] 東南アジア歴史概論a	2	春～夏学期	2.3.4	月5	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
100456	[専攻科目] 東南アジア歴史概論b	2	秋～冬学期	2.3.4	月5	※[専攻科目] 東南アジア地域研究概論a、[専攻科目] 東南アジア地域研究概論bについては、選択配当言語(オフランク)。
100461	[専攻科目] 東南アジア社会概論a	2	春～夏学期	2.3.4	水4	
100462	[専攻科目] 東南アジア社会概論b	2	秋～冬学期	2.3.4	水4	
100459	[専攻科目] 東南アジア文化概論a	2	春～夏学期	2.3.4	火3	
100460	[専攻科目] 東南アジア文化概論b	2	秋～冬学期	2.3.4	金2	
100351	[専攻科目] 東南アジア言語講義a	2	不開講	3.4	不開講	
100352	[専攻科目] 東南アジア言語講義b	2	不開講	3.4	不開講	

原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
この構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく購講予定で、開講日時、科目等変更される可能性があります。



外国语学部【ワルドゥー語・南アジア地域文化研究】

●構成科目

プログラム名	和文 英文	ワルドゥー語・南アジア地域文化研究 Urdu Language and Regional Culture of South Asia
開設学部等	外国语学部	
募集対象者	2020年度（令和8年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。	
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語による世界の複雑な課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムのうちショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、ワルドゥー語・南アジア地域文化研究に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、ワルドゥー語のより高い運用能力を涵養することでともに、南アジア地域文化研究に関する幅広い知識を持つ人材を育成することを目指す。	
到達目標（修了時に身に付く能力）	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①ワルドゥー語の運用能力について、中級レベルの知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。 ②ワルドゥー語圏の言語、文字、歴史について、基礎的な知識を有する。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外國語学部が開講する授業科目の内、ワルドゥー語事政科目の内、語学科目（2単位の語学科目）、概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、ワルドゥー語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者は必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	9-12頁を参照のこと。 履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。 ※メール申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合には、外国语学部豊中分室もしくは人文学研究科箕面事務部MLE担当に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考
100525	※①ワルドゥー語2（豊中開講）	2	通年	1.2.3.4	水1	左記の必修科目4単位は履修すること。 ※②ワルドゥー語を4単位以上を修得している
100530	※②ワルドゥー語12	2	通年	2.3.4	水3	※①ワルドゥー語を4単位以上を修得している
100524	※①ワルドゥー語1（豊中開講）	2	通年	1.2.3.4	火3	左記の授業科目のうちから、2単位以上を選択必修すること。
100526	※①ワルドゥー語3（豊中開講）	2	通年	1.2.3.4	金4	左記の授業科目のうちから、2単位以上を選択必修すること。 ※②ワルドゥー語を4単位以上修得している
100527	※①ワルドゥー語4（豊中開講）	2	通年	1.2.3.4	月2	左記の授業科目のうちから、2単位以上を選択必修すること。 ※①ワルドゥー語を4単位以上修得している
100528	※①ワルドゥー語5（豊中開講）	2	通年	1.2.3.4	月3	左記の授業科目のうちから、2単位以上を選択必修すること。 ※②ワルドゥー語を4単位以上修得している
100529	※②ワルドゥー語11	2	通年	2.3.4	月2	左記の授業科目のうちから、2単位以上を選択必修すること。
100531	※②ワルドゥー語13	2	通年	2.3.4	金2	左記の授業科目のうちから、2単位以上を選択必修すること。 ※②ワルドゥー語を4単位以上修得している
100532	※②ワルドゥー語14	2	通年	2.3.4	火3	左記の授業科目のうちから、2単位以上を選択必修すること。 ※②ワルドゥー語を4単位以上修得している
100533	※②ワルドゥー語15	2	通年	2.3.4	木2	左記の授業科目のうちから、2単位以上を選択必修すること。 ※②ワルドゥー語を4単位以上修得している
100540	[専攻科目] 南アジア文化概論a (A)	2	春～夏学期	2.3.4	火2	
100541	[専攻科目] 南アジア文化概論b (A)	2	秋～冬学期	3.4	火2	
100523	[専攻科目] 南アジア政治経済講義I a	2	春～夏学期	3.4	水2	左記授業科目のうちから、2単位以上を選択必修すること。
100542	[専攻科目] 南アジア政治経済講義I b	2	秋～冬学期	3.4	水2	
100568	[専攻科目] 南アジア政治経済講義II a	2	春～夏学期	3.4	月3	
100543	[専攻科目] 南アジア政治経済講義II b	2	秋～冬学期	3.4	月3	

合計12単位以上で修了

原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
この構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく予定で、開講日時、科目等変更される可能性があります。

外国语学部【スワヒリ語・アフリカ研究】

○構成科目

プロ グ ラ ム 名	和文 スワヒリ語・アフリカ研究 英文 Swahili and African Studies
開 設 学 部 等	外国语学部
募 集 対 象 者	2026年度（令和8年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生
修 了 要 件	12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。
趣 旨 ・ 要 摘	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の複雑な課題に取り組む事務的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムは、そのうちの一部を主導する専門教育科目を修得した学生に対して、スワヒリ語・アフリカ研究として実施する専門教育科目で構成されたプログラムとプログラムとの両方で、アフリカ研究に対する幅広い知識を育成することを目指す。
到達目標（修了時に身に付く能力）	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①スワヒリ語の運用能力にして、中級レベルの能力を有する。 ②アフリカの言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国语学部が開講する授業科目の内、兼修語学のスワヒリ語初級およびスワヒリ語中級（1単位の実習科目）、およびスワヒリ語車政の車政科目の内、兼修語学のスワヒリ語中級（1単位の語学科目）、総論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、スワヒリ語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。
前 提 知 識 の 目 安	特になし
履 修 申 請	9-12頁を参照のこと。 履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。 ※メール申請が出来ない場合に限り、外国语学部墨中分室もしくは人文学研究科篆面事務部MLE担当に提出すること。
問 合 せ 先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp



時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択 選修	開講学期 (4学期制)	担当学年	曜日・時限	備考
102036 (兼修) スワヒリ語初級 a	1 春～夏学期	1.2.3.4	水 4			
102037 (兼修) スワヒリ語初級 b	1 秋～冬学期	1.2.3.4	水 4			
100741 スワヒリ語 1 (豊中開講)	2 通年	1.2.3.4	月 2	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。		
100742 スワヒリ語 2 (豊中開講)	2 通年	1.2.3.4	水 3	「スワヒリ語初級」は、a, b 合わせて履修すること。		
100743 スワヒリ語 3 (豊中開講)	2 通年	1.2.3.4	火 2			
100744 スワヒリ語 4 (豊中開講)	2 通年	1.2.3.4	木 1			
100745 スワヒリ語 5 (豊中開講)	2 通年	1.2.3.4	木 2			
102038 ※①(兼修) スワヒリ語中級 a	1 春～夏学期	2.3.4	金 3	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。		
102039 ※①(兼修) スワヒリ語中級 b	1 秋～冬学期	2.3.4	金 3	「スワヒリ語中級」は、ab 合わせて履修すること。		
100746 ※①スワヒリ語11	2 通年	2.3.4	水 2			
100747 ※①スワヒリ語12	2 通年	2.3.4	月 1	※①スワヒリ語を履修するには、先にスワヒリ語初級かスワヒリ語から5の単位を選択以上履修していること。		
100748 ※①スワヒリ語13	2 通年	2.3.4	金 2			
100749 ※①スワヒリ語14	2 通年	2.3.4	火 2			
100750 ※①スワヒリ語15	2 通年	2.3.4	月 3			
100757 [専攻科目] アフリカ地域論講義a	2	春～夏学期	2.3.4	金 4		
100758 [専攻科目] アフリカ地域論講義b	2	秋～冬学期	2.3.4	木 4		
100759 [専攻科目] アフリカ社会論講義a	2	春～夏学期	2.3.4	火 5		
100760 [専攻科目] アフリカ言語学講義b	2	秋～冬学期	2.3.4	月 4		
100761 [専攻科目] アフリカ言語学講義a	2	春～夏学期	2.3.4	火 3		
100762 [専攻科目] アフリカ言語学講義b	2	秋～冬学期	2.3.4	火 3		
100763 [専攻科目] アフリカ言語学講義a	2	春～夏学期	3.4	月 4		
100764 [専攻科目] アフリカ言語学講義b	2	秋～冬学期	3.4	月 4		
100765 [専攻科目] アフリカ文學講義a	2	春～夏学期	3.4	火 2 (オンライン)	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。	
100766 [専攻科目] アフリカ文學講義b	2	秋～冬学期	3.4	火 2		
100767 [専攻科目] アフリカ文化論講義a	2	春～夏学期	3.4	月 3		
100768 [専攻科目] アフリカ文化論講義b	2	秋～冬学期	3.4	月 3		
100769 [専攻科目] アフリカ政治経済講義a	2	春～夏学期	3.4	月 1		
100770 [専攻科目] アフリカ政治経済講義b	2	秋～冬学期	3.4	金 4		
100771 [専攻科目] アフリカ地域論講義 I a	2	春～夏学期	3.4	木 3		
100772 [専攻科目] アフリカ地域論講義 I b	2	秋～冬学期	3.4	月 2		
100773 [専攻科目] アフリカ地図論講義 II a	2	春～夏学期	3.4	木 4		
100774 [専攻科目] アフリカ地図論講義 II b	2	秋～冬学期	3.4	木 4		

原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
この構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で、開講日時、科目等変更される可能性があります。

外国语学部【ハンガリー語・ハンガリー研究】

●構成科目

プログラム名	和文 ハンガリー語・ハンガリー研究 英文 Hungarian and Hungarian Studies
開設学部等	外国语学部
募集対象者	2020年度（令和8年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生
修了要件	12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。
趣旨・概要	<p>マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語による知識を蓄積する課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの一部として、各学部学生向けの学部プログラムのうちショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、ハンガリー語・ハンガリー研究に関する事門教科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、ハンガリー語のより高い運用能力を涵養することとともに、ハンガリー研究に関する幅広い知識を持つ人材を育成することを目指す。</p> <p>本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。</p> <p>①ハンガリーの言語、文化、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。 ②ハンガリーの言語、文化、歴史について、基礎的な能力を有する。</p> <p>本プログラムは、外国语学部が開講する授業科目の内、語学科目であるハンガリー語初級およびハンガリー語中級（2単位の通年科目）、概論に該当する講義科目（2単位の講義科目、演習科目）によって構成される。</p>
履修資格・条件	<p>各自の専門分野のみならず、ハンガリー語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。</p> <p>募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。</p> <p>応募者は必要に応じて面接を課すことがある。</p>
前提知識の目安	特になし
履修申講	<p>9~12頁を参照のこと。</p> <p>履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。</p> <p>※メール申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合には、外国语学部豊中分室もしくは人文学研究科箕面事務部MLE担当に提出すること。</p>
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp



原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

この構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で、開講日時、科目等変更される可能性があります。

時間割コード	授業科目名	単位数	開講学期(4学期制)	配当学年	曜日・時間	備考
100877	ハンガリー語1（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	水1	
100878	ハンガリー語2（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	月3	左記の授業科目のハンガリー語1とハンガリー語2の4単位が必修。
100879	ハンガリー語3（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	月4	
100880	ハンガリー語4（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	火2	
100881	ハンガリー語5（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	火3	
100882	※①ハンガリー語11	2	通年	2,3,4	木2	左記の授業科目のハンガリー語11とハンガリー語13の4単位が必修。
100883	※①ハンガリー語12	2	通年	2,3,4	火2	※①を履修するには、先にハンガリー語1から5の単位を4単位以上履修していること。
100884	※①ハンガリー語13	2	通年	2,3,4	火4	
100885	※①ハンガリー語14	2	通年	2,3,4	月2	
100886	※①ハンガリー語15	2	通年	2,3,4	木4	
137069	※②「人对欧洲的文化と社会を知るF（豊中開講）	2	秋～冬学期 (変則開講性あり)	1,2,3,4	金4 (変則可能) [例)]	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択可能。
101934	【専攻科目】ハンガリー研究入門Ⅰa	2	春・夏学期集中	2,3,4	集中	
100895	【専攻科目】ハンガリー研究入門Ⅰb	2	秋～冬学期	2,3,4	水3	※②【人文】歐米の文化と社会を知るFは、ハンガリーの歴史と社會に関する講義なので、選択必修ですが、履修することをお勧めします。(抽選登録※③)
100923	【専攻科目】ハンガリー研究入門Ⅱb	2	秋～冬学期集中	2,3,4	集中	
100899	【専攻科目】ハンガリー文化演習Ⅳa	2	春～夏学期	3,4	火2	※③MLE生であっても、抽選登録では優遇措置はなく、他の学生と同様の取り扱いとなります。
100900	【専攻科目】ハンガリー文化演習Ⅳb	2	秋～冬学期	3,4	火2	
10A901	【高専教養】ハンガリー文化講義Ⅱa	2	夏学期	3,4	未定	
10A903	【学系・地域系】ハンガリー文化講義Ⅲa	2	春・夏学期集中	3,4	集中	

合計12単位以上で修了

外国语学部【デンマーク語・北欧研究】

○構成科目

プログラム名	和文	英文	デンマーク語・北欧研究	授業科目名	単位数	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時間	備考
開設学部等	外国语学部			デンマーク語1（豊中開講）	2	通年	1.2.3.4	水2	左記の授業科目のうちから、4単位以上を修得すること。
募集対象者	12単位以上	本学部プログラムを所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。		※①デンマーク語2（豊中開講）	2	通年	1.2.3.4	火4	※②デンマーク語4.5の履修に際しては、デンマーク語4.5のセット、そしてデンマーク語4と5のセットで履修することが望まれる。それが無理な場合は、教員に要相談。
修了要件				※②デンマーク語3（豊中開講）	2	通年	1.2.3.4	木2	※①デンマーク語4.5のセットで履修することが望まれる。それが無理な場合は、教員に要相談。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の堅緊の課題に取り組む事務的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムは、そのうちの一部を学生向けの実施する専門教育科目プログラムである。本プログラムは、その他のプログラムに登録した学生に対して、デンマーク語・北欧研究に関する幅広い運用能で構成されたプログラムを提供する。これにより、デンマーク語のより高い運用能力を涵養するとともに、北欧研究に関する幅広い知識を持つ人材を育成することを目指す。			※②デンマーク語4（豊中開講）	2	通年	1.2.3.4	火2	特別外語演習（デンマーク語）I
到達目標(修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①デンマーク語の運用能力に関する知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。 ②デンマーク語圏の言語と文化について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。			春～夏学期	1	春～夏学期	1.2.3.4	金1	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国语学部が開講するデンマーク語専攻の専攻科目の内、語学科目（2単位の語学科目）・講義科目（2単位の講義科目）・およびマルチリンガル教育センター提供の特別外語（デンマーク語I）によって構成される。			※③デンマーク語11	2	通年	2.3.4	火5	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、デンマーク語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申込書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。			※③デンマーク語12	2	通年	2.3.4	水2	左記の授業科目のうちから、4単位以上を修得すること。
前提知識の目安	特になし			※③デンマーク語13	2	通年	2.3.4	月3	※③デンマーク語14（15）のセットで履修することができる。それが無理な場合は、教員に要相談。
履修申請	9-12頁を参照のこと。 履修申込書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。 ※メール申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合には限り、外国语学部豊中分室もしくは人文学研究科箕面事務部MLE担当に提出すること。			※③デンマーク語15	2	通年	2.3.4	水1	左記の授業科目のうちから、4単位以上を修得すること。
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 E-mail: multilingual@office.osaka-u.ac.jp			デンマーク語I a	2	秋～冬学期	3.4	火2	※中級のデンマーク語4単位以上を修得していること。
				デンマーク語I b	2	秋～冬学期	3.4	火2	
				デンマーク語II a (B)	2	春～夏学期	3.4	月3	
				デンマーク語II b (B)	2	秋～冬学期	3.4	月3	
				【専攻科目】北欧文化講義Ia	2	秋～冬学期	3.4	木4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択修得。
				【専攻科目】北欧現代社会概説b	2	秋～冬学期	2.3.4	金4 (オフ)	
				【専攻科目】北欧文化概論a	2	春～夏学期	2.3.4	火1	
				【専攻科目】北欧文化概論b	2	秋～冬学期	2.3.4	火1	
				【専攻科目】北欧史概説a	2	春～夏学期	2.3.4	火3	
				【専攻科目】北欧史概説b	2	秋～冬学期	2.3.4	火3	合計12単位以上で修了

原則として学生は上位学年に配当されたいる科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

・この構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づき、開講予定で、開講日時、科目等変更される可能性があります。



[英語・英米文化学] 外国語学部

プログラム名	和文 英語・英米文化学 英文 English and Anglo-American Culture
開設学部等	外国语学部
募集対象者	2026年度（令和8年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生
修了要件	24単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の複雑な課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成するることを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの一部で、プログラムに登録した学生に対し、英語で構成されたプログラムを提供する。これにより、読み、書き、聞き、話す国際的な場面で通用する総合的な高い英語能力を育成するなどとともに、英語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想に通晓した人材を育成することを目指す。
到達目標（修了時に付く能力）	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①英語の四技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）に関する知識と実践的能力を有する。 ②英語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想を深く理解するとともに、英語で関連テーマについて高度なレベルのプレゼンテーションを行なうことができる。
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国语学部が開設する授業科目の内、兼修語学の中級科目（2単位の演習）によって構成される。
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、英語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望理由）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。応募者には必要に応じて面接を課すことがある。プログラム構成科目の履修の際には、別表を参照し、所定のいずれかの外部検定試験のそれぞれの科目の基準を満たすスコアの写し（画像）を期限まで提出する必要がある。有効取得日、提出期限に注意のうえ、遺漏のないよう手続きをとること。なお、プログラムの履修申込については、専門からも外的科目の履修において必要となるスコアの提出が困難な者については、別途設置された準備コース（課外補習クラス）を受講することにより、プログラム履修開始年度の秋～冬学期以降の科目履修を目指すことができるものとする。
前提知識の目安	特になし
履修申請	9-12頁を参照のこと。 履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合には、外国语学部豊中分室もしくは人文研究科箇面事務部MLE担当に提出すること。 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp
問合せ	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者

○構成科目

時間割 二 下	授業科目名	単位数 必修	開講学期 (4年期別)		配当学年	曜日・時限	開講状況
			選 択	必 修			
101232 (兼修) 英語 (語学) a (B)	1 春～夏学期	2,3,4				火 5	シラバス要確認
101234 (兼修) 英語 (語学) a (C)	1 春～夏学期	2,3,4				シラバス要確認	
101235 (兼修) 英語 (語学) a (D)	1 春～夏学期	2,3,4				シラバス要確認	
101236 (兼修) 英語 (語学) a (E)	1 春～夏学期	2,3,4				シラバス要確認	
101237 (兼修) 英語 (語学) a (F)	1 春～夏学期	2,3,4				シラバス要確認	
101238 (兼修) 英語 (語学) a (G)	1 春～夏学期	2,3,4			金 4		
101239 (兼修) 英語 (語学) a (H)	1 春～夏学期	2,3,4			水 2		
101240 (兼修) (高 度) 英語 I b (A)	2 秋～冬学期	2,3,4			金 3		
101241 (兼修) (高 度) 英語 (語学) b (B)	1 秋～冬学期	2,3,4			シラバス要確認		
101243 (兼修) (高 度) 英語 (語学) b (C)	1 秋～冬学期	2,3,4			火 5		
101244 (兼修) (高 度) 英語 (語学) b (D)	1 秋～冬学期	2,3,4			シラバス要確認		
101245 (兼修) (高 度) 英語 (語学) b (E)	1 秋～冬学期	2,3,4			火 4		
101246 (兼修) (高 度) 英語 (語学) b (F)	1 秋～冬学期	2,3,4			シラバス要確認		
101247 (兼修) (高 度) 英語 (語学) b (G)	1 秋～冬学期	2,3,4			金 4		
101248 (兼修) (高 度) 英語 (語学) b (H)	1 秋～冬学期	2,3,4			水 2		
101249 (兼修) 英語学 I a (A)	2 春～夏学期	2,3,4			金 3		
101250 (兼修) 英語会話 II a (A)	2 春～夏学期	2,3,4			月 6		
101251 (兼修) 英文化IV a (A) (豊中開講)	2 春～夏学期	2,3,4			シラバス要確認		
101252 (兼修) 英語 (文学) a (A)	1 春～夏学期	2,3,4			月 3		
101253 (兼修) 英文化III a (A) (豊中開講)	2 春～夏学期	2,3,4			火 5		
101254 (兼修) 英語 (文学) a (B)	1 春～夏学期	2,3,4			シラバス要確認		
101255 (兼修) 英語 (語学) a (A) (豊中開講)	1 春～夏学期	2,3,4			月 2		
101256 (兼修) 英語 (文学) a (C)	1 春～夏学期	2,3,4			月 4		
101257 (兼修) 英語 (文学) a (D)	1 春～夏学期	2,3,4			金 3		
101259 (兼修) 英語学 I a (B)	2 春～夏学期	2,3,4			水 3		
101260 (兼修) (高 度) 英語会話 II b (A)	2 秋～冬学期	2,3,4			月 6		
101261 (兼修) (高 度) 英米文化III b (A) (豊中開講)	2 秋～冬学期	2,3,4			木 5		
101262 (兼修) (高 度) 英語 (文学) b (A)	1 秋～冬学期	2,3,4			月 3		
101263 (兼修) (高 度) 英米文化IV b (A) (豊中開講)	2 秋～冬学期	2,3,4			シラバス要確認		
101264 (兼修) (高 度) 英語 (文学) b (B)	1 秋～冬学期	2,3,4			シラバス要確認		
101265 (兼修) (高 度) 英語 (語学) b (A) (豊中開講)	1 秋～冬学期	2,3,4			月 2		
101266 (兼修) (高 度) 英語 (文学) b (C)	1 秋～冬学期	2,3,4			月 4		
101267 (兼修) (高 度) 英語 (文学) b (D)	1 秋～冬学期	2,3,4			金 3		
101269 (兼修) 英米文化II a (B)	2 春～夏学期	2,3,4			水 3		
101270 (兼修) 英語 (文化) a (A)	1 春～夏学期	2,3,4			シラバス要確認		
101271 (兼修) 英語 (文化) a (A)	1 春～夏学期	2,3,4			火 3		
101272 (兼修) 英語 (文化) a (B)	1 春～夏学期	2,3,4			シラバス要確認		
101273 (兼修) 英米文化I a (A)	2 春～夏学期	2,3,4			シラバス要確認		
101274 (兼修) 英語 (文化) a (C)	1 春～夏学期	2,3,4			シラバス要確認		
101275 (兼修) 英語 (文化) a (D)	1 春～夏学期	2,3,4			火 3		
101276 (兼修) 英語 (文化) a (E)	1 春～夏学期	2,3,4			シラバス要確認		
101277 (兼修) 英語 (文化) a (F)	1 春～夏学期	2,3,4			シラバス要確認		
101278 (兼修) 英語 (文化) a (G)	1 春～夏学期	2,3,4			シラバス要確認		
101279 (兼修) (高 度) 英米文化I b (A)	2 秋～冬学期	2,3,4			火 3		
101280 (兼修) (高 度) 英語 (文化) b (A)	1 秋～冬学期	2,3,4			シラバス要確認		
101281 (兼修) (高 度) 英語 (文化) b (R)	1 秋～冬学期	2,3,4			シラバス要確認		

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修	選 択 必 修	開講学期 (4学年制)	配当学年	曜日・時限 開講状況	授業科目名		単位数 必 修	選 択 必 修	開講学期 (4学年制)	配当学年	曜日・時限 開講状況
							必 修	選 択 必 修					
101282 (兼修 (高座) 葵米文化 I b (A))		2	秋～冬学期	2.3.4		シラバス要確認	101331 (兼修 (高度) 英文学 II b (A))		2	秋～冬学期	2.3.4	水 4	オンライン
101283 (兼修 (高座) 英語 (文化) b (C))		1	秋～冬学期	2.3.4		シラバス要確認	101332 (兼修 (高度) 英文学 II b (B))		2	秋～冬学期	2.3.4	水 3	オンライン
101284 (兼修 (高座) 英語 (文化) b (D))		1	秋～冬学期	2.3.4	木 1		101333 (兼修 (高度) 英文学 II b (C))		2	秋～冬学期	2.3.4	水 4	
101285 (兼修 (高座) 英語 (文化) b (E))		1	秋～冬学期	2.3.4	水 3	シラバス要確認	101334 (兼修 (英米文化 I a (B))		2	春～夏学期	2.3.4	木 2	シラバス要確認
101286 (兼修 (高座) 英語 (文化) b (F))		1	秋～冬学期	2.3.4	シラバス要確認		101335 (兼修 (英米文化 I a (C))		2	春～夏学期	2.3.4	木 2	シラバス要確認
101287 (兼修 (高座) 英語 (文化) b (G))		1	秋～冬学期	2.3.4	シラバス要確認		101336 (兼修 (高度) 英米文化 I b (B))		2	秋～冬学期	2.3.4	木 2	シラバス要確認
101288 (兼修) 英語 (コミュニケーション) a (A)		1	春～夏学期	2.3.4		シラバス要確認	101337 (兼修 (高度) 英米文化 I b (C))		2	秋～冬学期	2.3.4	火 5	シラバス要確認
101289 (兼修) 英語 (文化) a (H) (豊中開講)		1	春～夏学期	2.3.4	シラバス要確認		101338 (兼修 (英語 (文化) a (E)) (豊中開講))		1	春～夏学期	2.3.4	火 5	
101290 (兼修) 英語 (文化) a (H) (豊中開講)		1	春～夏学期	2.3.4	木 3		101339 (兼修 (高度) 英語 (文化) b (E)) (豊中開講)		1	秋～冬学期	2.3.4	火 5	
101291 (兼修) 英語 (コミュニケーション) a (B)		1	春～夏学期	2.3.4	木 3		101340 (兼修) 英文学 II a (E))		2	春～夏学期	2.3.4	月 5	
101292 (兼修) 英語 (コミュニケーション) a (C)		1	春～夏学期	2.3.4	月 3		101341 (兼修 (高度) 英文学 II b (E))		2	秋～冬学期	2.3.4	月 5	
101293 (兼修) 英語 (コミュニケーション) a (D))		1	春～夏学期	2.3.4	木 4	遠隔授業可	101342 (兼修) 英米文化 II a (B))		2	春～夏学期	2.3.4	金 2	
101294 (兼修) 英語 (コミュニケーション) a (E))		1	春～夏学期	2.3.4	月 4		101343 (兼修 (高度) 英米文化 II b (B))		2	秋～冬学期	2.3.4	木 2	集中
101295 (兼修) 英語 (コミュニケーション) a (F))		1	春～夏学期	2.3.4	木 5		101345 (兼修) 英米文化 II a (C))		2	秋～冬学期	2.3.4	木 3	シラバス要確認
101296 (兼修) 英語会話 I a (A))		2	春～夏学期	2.3.4	金 3	遠隔授業可	101346 (兼修) 英米文化 III a (B))		2	春～夏学期	2.3.4	月 5	シラバス要確認
101297 (兼修 (高座) 英語 (コミュニケーション) b (A))		1	秋～冬学期	2.3.4	シラバス要確認		101347 (兼修 (高度) 英米文化 III b (B))		2	秋～冬学期	2.3.4	木 2	シラバス要確認
101298 (兼修 (高座) 英語 (文化) b (H)) (豊中開講)		1	秋～冬学期	2.3.4	シラバス要確認		101348 (兼修) 英米文化 IV a (B))		2	春～夏学期	2.3.4	木 3	
101299 (兼修 (高座) 英語 (コミュニケーション) b (B))		1	秋～冬学期	2.3.4	木 3		101349 (兼修 (高度) 英米文化 IV b (B))		2	秋～冬学期	2.3.4	木 3	
101300 (兼修 (高座) 英語 (コミュニケーション) b (C))		1	秋～冬学期	2.3.4	シラバス要確認		101350 (兼修) 英米文化 V a (B))		2	春～夏学期	2.3.4	木 3	シラバス要確認
101301 (兼修 (高座) 英語会話 I a (A))		1	秋～冬学期	2.3.4	木 4	遠隔授業可	101351 (兼修 (高度) 英米文化 V b (B))		2	秋～冬学期	2.3.4	木 2	シラバス要確認
101302 (兼修 (高座) 英語 (コミュニケーション) b (D))		1	秋～冬学期	2.3.4	木 4	遠隔授業可	101352 (兼修) 英米文化 VI a (B))		2	春～夏学期	2.3.4	木 2	
101303 (兼修 (高座) 英語 (コミュニケーション) b (E))		1	秋～冬学期	2.3.4	月 4		101353 (兼修 (高度) 英米文化 VI b (B))		2	秋～冬学期	2.3.4	木 2	
101304 (兼修 (高座) 英語 (コミュニケーション) b (F))		1	秋～冬学期	2.3.4	木 5		101354 (兼修) 英語 (文化) a (I) (豊中開講)		1	春～夏学期	2.3.4	月 3	
101305 (兼修 (高座) 英語会話 I b (A))		2	秋～冬学期	2.3.4	金 3	遠隔授業可	101355 (兼修) 英語会話 I a (B))		2	春～夏学期	2.3.4	金 2	
101306 (兼修) 英語 (コミュニケーション) b (G))		2	春～夏学期	2.3.4	金 5		101356 (兼修) 英語会話 I a (C))		2	春～夏学期	2.3.4	月 5	
101307 (兼修) 英語 (文化) a (D))		2	春～夏学期	2.3.4	木 4		101357 (兼修) 英語会話 I a (D))		2	春～夏学期	2.3.4	金 3	
101308 (兼修) 英語 (文化) a (E))		2	春～夏学期	2.3.4	火 2		101358 (兼修) 英語会話 I a (F))		2	春～夏学期	2.3.4	金 4	
101309 (兼修 (高座) 英語 (コミュニケーション) b (H))		2	秋～冬学期	2.3.4	金 5		101359 (兼修) 英語会話 I a (B))		2	春～夏学期	2.3.4	月 5	
101310 (兼修 (高座) 英語 (コミュニケーション) b (I))		2	秋～冬学期	2.3.4	火 2		101360 (兼修) 英語会話 I a (C))		2	春～夏学期	2.3.4	月 5	
101311 (兼修 (高座) 英語 (コミュニケーション) b (J))		2	秋～冬学期	2.3.4	火 2		101361 (兼修) 英語会話 I a (D))		2	春～夏学期	2.3.4	金 3	
101312 (兼修) 英語 (文化) a (D))		2	春～夏学期	2.3.4	金 5		101362 (兼修) 英語会話 I b (B))		2	秋～冬学期	2.3.4	月 5	
101313 (兼修) 英語 (文化) a (E))		2	春～夏学期	2.3.4	火 2		101363 (兼修 (高度) 英語会話 I b (D))		2	秋～冬学期	2.3.4	金 3	
101314 (兼修) 英語 (文化) a (F))		2	春～夏学期	2.3.4	金 5		101364 (兼修 (高度) 英語会話 I b (E))		2	秋～冬学期	2.3.4	金 4	
101315 (兼修 (高座) 英語 (文化) a (G))		2	春～夏学期	2.3.4	木 3	シラバス要確認	101365 (兼修 (高度) 英語会話 I b (F))		2	秋～冬学期	2.3.4	シラバス要確認	
101316 (兼修 (高座) 英語 (文化) a (H))		2	秋～冬学期	2.3.4	金 5		101366 (兼修) 英米文化 IV a (C)) (豊中開講)		2	春～夏学期	2.3.4	月 4	
101317 (兼修 (高座) 英語 (文化) b (B))		2	秋～冬学期	2.3.4	木 3		101367 (兼修) 英語会話 II a (B))		2	春～夏学期	2.3.4	木 2	
101318 (兼修 (高座) 英語 (文化) b (C))		2	秋～冬学期	2.3.4	金 1		101368 (兼修) 英語会話 II a (C))		2	春～夏学期	2.3.4	木 3	
101319 (兼修 (高座) 英語 (文化) b (D))		2	秋～冬学期	2.3.4	金 2		101369 (兼修) 英語会話 II a (D))		2	春～夏学期	2.3.4	木 2	
101320 (兼修) 英文学 I a (A))		2	春～夏学期	2.3.4	シラバス要確認		101370 (兼修) 英語会話 II a (E))		2	春～夏学期	2.3.4	木 3	
101321 (兼修) 英語作文 II a (A))		2	春～夏学期	2.3.4	木 3		101371 (兼修 (高度) 英米文化 IV b (C)) (豊中開講)		2	秋～冬学期	2.3.4	月 4	
101322 (兼修) 英文学 I a (B))		2	春～夏学期	2.3.4	月 4		101372 (兼修 (高度) 英語会話 II b (B))		2	秋～冬学期	2.3.4	木 2	
101323 (兼修) 英文学 I a (C))		2	春～夏学期	2.3.4	水 3		101373 (兼修 (高度) 英語会話 II b (C))		2	秋～冬学期	2.3.4	木 3	
101324 (兼修 (高座) 英文学 I b (A))		2	秋～冬学期	2.3.4	月 5		101374 (兼修 (高度) 英語会話 II b (D))		2	秋～冬学期	2.3.4	木 3	シラバス要確認
101325 (兼修 (高座) 英語作文 II b (A))		2	秋～冬学期	2.3.4	木 3		101375 (兼修 (高度) 英語会話 II b (E))		2	秋～冬学期	2.3.4	金 5	
101326 (兼修 (高座) 英文学 I b (B))		2	秋～冬学期	2.3.4	月 4		101376 (兼修) 英語作文 I a (A))		2	春～夏学期	2.3.4	木 2	
101327 (兼修 (高座) 英文学 I b (C))		2	秋～冬学期	2.3.4	水 3		101377 (兼修 (高度) 英語作文 I b (A))		2	秋～冬学期	2.3.4	木 2	
101328 (兼修) 英文学 II a (A))		2	春～夏学期	2.3.4	水 4		101378 (兼修) 英語作文 II a (B))		2	春～夏学期	2.3.4	木 4	
101329 (兼修) 英文学 II a (B))		2	春～夏学期	2.3.4	水 3	オンライン							
101330 (兼修) 英文学 II a (C))		2	春～夏学期	2.3.4	水 4								

時間割 コ-ラ	授業科目名	単位数	必 選 必 修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	開講状況
101379 (兼修) 英語作文 II b (B)		2	秋～冬学期	2, 3, 4	木 4		
101392 (兼修) 英文学 II a (D)		2	春～夏学期	2, 3, 4			シラバス要確認
101393 (兼修) 英米文化 III a (C)		2	春～夏学期	2, 3, 4	火 4		
101394 (兼修) 英語作文 I a (B)		2	春～夏学期	2, 3, 4	木 2		遠隔授業可
101395 (兼修) 英語作文 II a (C)		2	春～夏学期	2, 3, 4	木 4		
101396 (兼修) (高座) 英語学 II b (E)		2	秋～冬学期	2, 3, 4			シラバス要確認
101397 (兼修) (高座) 英文学 II b (D)		2	秋～冬学期	2, 3, 4			シラバス要確認
101398 (兼修) (高座) 英米文化 III b (C)		2	秋～冬学期	2, 3, 4	火 4		
101399 (兼修) (高座) 英語作文 I b (B)		2	秋～冬学期	2, 3, 4	木 2		遠隔授業可
101400 (兼修) (高座) 英語作文 II b (C)		2	秋～冬学期	2, 3, 4	木 4		
101401 (兼修) 英語学 I a (D)		2	春～夏学期	2, 3, 4			シラバス要確認
101402 (兼修) (高座) 英文学 I b (D)		2	秋～冬学期	2, 3, 4			シラバス要確認
101403 (兼修) 英語作文 I a (C)		2	春～夏学期	2, 3, 4	木 1		
101404 (兼修) (高座) 英語作文 I b (C)		2	秋～冬学期	2, 3, 4	木 1		
101415 (兼修) 英語学 I a (G)		2	春～夏学期	2, 3, 4	金 4		
101416 (兼修) (高座) 英語学 I b (G)		2	秋～冬学期	2, 3, 4			
101811 (学共・方法論) Academic Presentation Course (C)		2	春～夏学期	2, 3, 4	金 1		
101812 (学共・方法論) Academic Presentation Course (D)		2	秋～冬学期	2, 3, 4	金 1		
101815 (学共・方法論) Academic Presentation Course (F)		2	春～夏学期	2, 3, 4	木 2		
101816 (学共・方法論) Academic Presentation Course (G)		2	秋～冬学期	2, 3, 4	木 2		
101817 (学共・方法論) Academic Presentation Course (H)		2	春～夏学期	2, 3, 4	金 2		
101818 (学共・方法論) Academic Presentation Course (E)		2	秋～冬学期	2, 3, 4	金 2		
101819 (学共・方法論) Academic Writing Course (E)		2	秋～冬学期	2, 3, 4	月 5		
101820 (学共・方法論) Academic Writing Course (D)		2	春～夏学期	2, 3, 4	月 5		
101821 (学共・方法論) Academic Writing Course (F)		2	春～夏学期	2, 3, 4	水 1		
101822 (学共・方法論) Academic Writing Course (G)		2	秋～冬学期	2, 3, 4	水 1		
101827 (学共・方法論) World English Seminar (E)		2	春～夏学期	2, 3, 4	木 1		
101828 (学共・方法論) World English Seminar (F)		2	秋～冬学期	2, 3, 4	木 1		

原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

・この構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で、開講日時、科目等変更される可能性があります。

別表：英語・英米文化学プログラム・2026年度検定試験スコアの提出について

「英語・英米文化学」構成科目の履修については、所定の検定試験のいずれかを受検し、基準を満たすスコアの写し（画像）を期限までに提出する必要があります。有効取得日、提出期限に注意のうえ、遗漏のないよう手手続きしてください。

履修・修得科目	各種要件等	プログラム修了要件	有効取得日	提出期限
・英語(語学・文学・コミュニケーション) a	2026年度 春～夏学期 履修登録要件	2026年度 春～夏学期 単位修得要件	入学以後に取得したもの 2025年4月1日以降	単位修得年度の1月末日 最終期限：2026年4月17日(金)
・英語(語学・文学・コミュニケーション) b	2026年度 秋～冬学期 履修登録要件	2026年度 秋～冬学期 単位修得要件	入学以後で、なおかつ 2025年4月1日以降	単位修得年度の1月末日 最終期限：2026年10月16日(金)
・(英語学・英文学・英語会話・英語作文) I a ・(英語学・英文学・英語会話・英語作文) II a ・英米文化(1, II, III, IV, V, VI) a	2026年度 春～夏学期 履修登録要件	2026年度 春～夏学期 履修登録要件	入学以後で、なおかつ 2025年4月1日以降	単位修得年度の1月末日 最終期限：2027年1月22日(金)
・(英語学・英文学・英語会話・英語作文) I b ・(英語学・英文学・英語会話・英語作文) II b ・英米文化(1, II, III, IV, V, VI) b	2026年度 秋～冬学期 履修登録要件	2026年度 秋～冬学期 単位修得要件	入学以後で、なおかつ 2025年4月1日以降	単位修得年度の1月末日 最終期限：2026年4月17日(金)
・Academic Writing Course a/b ・Academic Presentation Course a/b ・World English Seminar a/b	2026年度 春～夏学期 履修登録要件 2026年度 秋～冬学期 履修登録要件	2026年度 秋～冬学期 単位修得要件	入学以後に取得したもの 2025年4月1日以降	単位修得年度の1月末日 最終期限：2026年4月17日(金)
プログラムの修了要件			入学以後でプログラム修了 年度の前年度又は当該年度 に取得したもの	プログラム修了年度の1月末日 最終期限：2026年10月16日(金)
実用英語技能検定	準1級以上	準1級以上	—	—
TOEIC (L&R)	580点以上	630点以上	730点以上	820点以上
TOEFL-ITP	500点以上	520点以上	550点以上	580点以上
TOEFL (iBT)	61点以上	68点以上	82点以上	92点以上
IELTS (Academic)	5.0以上	5.5以上	6.0以上	6.5以上

【提出方法】
 〈履修申請時〉科目履修申請時にスコアを証明する箇所（検定試験の種類、受検年月日、氏名、スコアが印字されている部分）の画像を、メール添付して送付してください。
 〈単立修得時〉およびプログラム修了時）表中の提出期限までに、スコアを証明する箇所（検定試験の種類、受検年月日、氏名、スコアが印字されている部分）の画像を、メール添付して送付してください。
 〈送付先〉マルチリングガル・エキスパート養成プログラム (MLE) : multilingual@office.osaka-u.ac.jp
 〈詳細〉ホームページ : https://www.mle.osaka-u.ac.jp/を確認してください。

外国语学部【フランス語・フランス文化学】

●構成科目

プログラム名	和文 フランス語・フランス文化学	英文 French and French Culture
開設学部等	外国语学部	
募集対象者	2020年度（令和8年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。	
趣旨・概要	<p>マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、人材を養成することを目的に取り組む専門的な知識を備え、グローバルである。本プログラムは、そのうちの一部を専門指向型プログラムとして、実施するもので、プログラムに登録した学生に対しても、フランス語・フランス文化に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、フランス語のより高い運用能力を養成することも、フランス語圏研究に関する幅広い知識を持つ人材を育成することを目指す。</p> <p>本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。</p> <p>①フランス語の運用能力に関する幅広い知識を持つ人材を育成することを目指す。 ②フランス語圏研究における幅広い知識を持つ人材を育成することを目指す。</p>	
到達目標	<p>標準</p> <p>（修了時に付く能力）</p>	
カリキュラムの構成	<p>本プログラムは、外国语学部が開講する授業科目の内、兼修語学のフランス語初級およびフランス語中級（1単位の実習科目）およびびフランス語専攻の専攻科目の内、概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。</p>	
履修資格・条件	<p>各自の専門分野のみならず、フランス語を習得して将来国際社会で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。</p> <p>募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。</p> <p>応募には必要に応じて面接を課すことがある。</p>	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	<p>9-12頁を参照のこと。</p> <p>履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。</p> <p>※メール申請はメールで行うこと。</p> <p>※面事務部MLE担当に提出すること。</p>	
問合せ先	<p>マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MIE）担当者 E-mail: multilingual@office.osaka-u.ac.jp</p>	

時間割コード	授業科目名	単位数	必修	選択	開講学期(4学期制)	配当学年	曜日・時間	備考
101494	(兼修) フランス語初級a (A) (集中開講)	1			春～夏	2.3.4	月 5	
101500	(兼修) フランス語初級b (A) (集中開講)	1			秋～冬	2.3.4	月 5	
101489	(兼修) フランス語初級a (B)	1			春～夏	2.3.4	金 3	
101495	(兼修) フランス語初級b (B)	1			秋～冬	2.3.4	金 3	
101492	(兼修) フランス語初級a (C)	1			春～夏	2.3.4	火 5	
101498	(兼修) フランス語初級b (C)	1			秋～冬	2.3.4	火 5	左記の授業科目のうち、初級から2単位以上選択必修。
101490	(兼修) フランス語初級a (D)	1			春～夏	2.3.4	水 4	※春夏学期と秋冬学期は同じクラスを履修すること。
101496	(兼修) フランス語初級b (D)	1			秋～冬	2.3.4	水 4	
101493	(兼修) フランス語初級a (E)	1			春～夏	2.3.4	金 2	
101499	(兼修) フランス語初級b (E)	1			秋～冬	2.3.4	金 2	
101491	(兼修) フランス語初級a (F)	1			春～夏	2.3.4	月 4	
101497	(兼修) フランス語初級b (F)	1			秋～冬	2.3.4	月 4	
191553	(※) フランス語初級I (集中開講)	1			春～夏	2.3.4	金 2	
192553	(※) フランス語初級II (集中開講)	1			秋～冬	2.3.4	金 2	
101479	(※) (兼修) フランス語中級I a (A)	1			春～夏	2.3.4	木 4	
101481	(※) (兼修) フランス語中級I b (A)	1			秋～冬	2.3.4	木 4	
101480	(※) (兼修) フランス語中級I a (B)	1			春～夏	2.3.4	水 4	左記の授業科目のうち、中級から2単位以上を選択必修。
101482	(※) (兼修) フランス語中級I b (B)	1			秋～冬	2.3.4	水 4	※春夏学期と秋冬学期は同じクラスを履修すること。
101484	(※) (兼修) フランス語中級II a (A)	1			秋～冬	2.3.4	月 5	※フラン西語初級を先に2単位以上履修すること。
101487	(※) (兼修) フランス語中級II b (A)	1			秋～冬	2.3.4	月 5	
101483	(※) (兼修) フランス語中級II a (B)	1			秋～冬	2.3.4	金 4	
101486	(※) (兼修) フランス語中級II b (B)	1			秋～冬	2.3.4	金 4	
193523	(※) フランス語中級I (集中開講)	1			春～夏	2.3.4	金 1	
194523	(※) フランス語中級II (集中開講)	1			秋～冬	2.3.4	金 1	
101452	[事政科目] フランス語研究入門 I a	2			春～夏	2.3.4	月 1	
101453	[事政科目] フランス語研究入門 I b	2			秋～冬	2.3.4	月 1	
101454	[事政科目] フランス語研究入門 II a	2			春～夏	2.3.4	月 2	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
101455	[事政科目] フランス語研究入門 II b	2			秋～冬	2.3.4	月 2	
101463	[事政科目] フランス文学講義 a	2			春～夏	3.4	金 4	※ [事政科目] フランス研究入門 I a、[事政科目] フランス語研究入門 I bについては、選択可。
101464	[事政科目] フランス文講義 b	2			秋～冬	3.4	金 4	
102085	[事政科目] フランス歴史講義 a	2			春～夏	3.4	金 5	
102086	[事政科目] フランス社会講義 b	2			秋～冬	3.4	金 5	
101461	[事政科目] フランス思想講義 a	2			春～夏	3.4	火 5	
101462	[事政科目] フランス思想講義 b	2			秋～冬	3.4	火 5	

合計12単位以上で修了

原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
 ※①「フランス語初級I、II」については、1年次で単位も修得した場合、当プログラムの修了要件として認められます。

※②「フランス語中級」を履修するには、本プログラムのフランス語初級a、b(2単位)または、マルチングル教育センターの「フランス語初級I、II」(2単位)を修得していることが必要です。

※この構成科目表は2025年度を参考に作成したもので、変更の可能性があります。

外国语学部【イタリア語・イタリア文化学】

○構成科目

プロ ラ ム 名	和文	イタリア語・イタリア文化学
英 文	Italian and Italian Culture	
開 設 学 部 等	外国语学部	
募 集 対 象 者	2026年度(令和8年度)に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生	
修 了 要 件	12単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。
趣 旨 ・ 概 要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む事務的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムは、そのうちの一部を主導する部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの一部を主導する部局横断型教育プログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対するシヨーネトプログラムとイタリア文化学に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。	これにより、イタリア語のより高い運用能力を涵養することとともに、イタリア語圏研究に関する幅広い知識を持つ人材を育成することを目指す。
到達目標 (修了時に身に付く能力)	①イタリア語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②イタリア語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につける。 文化を正しく理解できる。	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国语学部の授業科目内、兼修語学のイタリア語初級およびイタリア語専攻の車政科目、およびイタリア語専攻の車政科目、およびイタリア語専攻の車政科目(1単位の講義科目)によって構成される。また、マルチリンガル教育センター提供のイタリア語初級Ⅰ・Ⅱ、中級Ⅰ.2は豊中開講となる。	概論に該当する講義科目(2単位の講義科目)によって構成される。また、マルチリンガル教育センター提供のイタリア語初級Ⅰ・Ⅱ、中級Ⅰ.2は豊中開講となる。
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、イタリア語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申請書(志望動機)および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	特になし
前 提 知 識 の 目 安	9-12頁を参照のこと。	
履 修 申 請 請	履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合に限り、外国语学部豊中分室もしくは人文学研究科箕面事務部MLE担当に提出すること。	
問 合 せ 先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE) 担当者 E-mail: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考
101547	[兼修] イタリア語初級a (A)	1	春～夏学期	2.3.4	火 2	
101551	[兼修] イタリア語初級b (A)	1	秋～冬学期	2.3.4	火 2	
101548	[兼修] イタリア語初級a (B)	1	春～夏学期	2.3.4	水 2	
101552 初	[兼修] イタリア語初級b (B)	1	秋～冬学期	2.3.4	水 2	左記の授業科目のうち、初級から2単位以上を選択必修。
101549 中	[兼修] イタリア語初級a (C)	1	春～夏学期	2.3.4	月 4	左記の授業科目のうち、初級から2単位以上を選択必修。
101553 級	[兼修] イタリア語初級b (C)	1	秋～冬学期	2.3.4	月 4	左記の授業科目のうち、初級から2単位以上を選択必修。
101550	[兼修] イタリア語初級a (D) [豊中開講]	1	春～夏学期	2.3.4	火 5	春～夏学期と秋～冬学期は同じクラスを履修すること。
101554	[兼修] イタリア語初級b (D) [豊中開講]	1	秋～冬学期	2.3.4	火 5	春～夏学期と秋～冬学期は同じクラスを履修すること。
191637	[イタリア語初級 I] [豊中開講]	1	春～夏学期	2.3.4	月 1	
192637	[イタリア語初級 II] [豊中開講]	1	秋～冬学期	2.3.4	月 1	
101543	[兼修] イタリア語中級a (A)	1	春～夏学期	2.3.4	木 2	
101545	[兼修] イタリア語中級b (A)	1	秋～冬学期	2.3.4	木 2	左記の授業科目のうち、中級から2単位以上を選択必修。
101544 中	[兼修] イタリア語中級a (B)	1	春～夏学期	2.3.4	月 3	左記の授業科目のうち、中級から2単位以上を選択必修。
101546 級	[兼修] イタリア語中級b (B)	1	秋～冬学期	2.3.4	月 3	左記の授業科目のうち、中級から2単位以上を選択必修。
193637	[イタリア語中級] [豊中開講]	1	春～夏学期	2.3.4	月 2	左記の授業科目のうち、中級から2単位以上を選択必修。
194637	[イタリア語中級] [豊中開講]	1	秋～冬学期	2.3.4	月 2	左記の授業科目のうち、中級から2単位以上を選択必修。
101523	[專攻科目] イタリア語書文化講義 I a	2	春～夏学期	2.3.4	金 2	
101524	[專攻科目] イタリア語書文化講義 I b	2	秋～冬学期	2.3.4	金 2	
101525	[專攻科目] イタリア語書文化講義 II a	2	春～夏学期	2.3.4	月 2	
101526	[專攻科目] イタリア語書文化講義 II b	2	秋～冬学期	2.3.4	木 1	
102093	[專攻科目] イタリア語書文化講義 a	2	春～夏学期	3.4	火 3	
102094	[專攻科目] イタリア語書文化講義 b	2	秋～冬学期	3.4	火 3	
102103	[專攻科目] イタリア文学講義 a	2	春～夏学期	3.4	月 1	
102104	[專攻科目] イタリア文学講義 b	2	秋～冬学期	3.4	月 1	
102107	[專攻科目] イタリア歴史講義 a	2	春～夏学期	3.4	水 5	左記の授業科目のうち、4単位以上を選択必修すること。
102108	[專攻科目] イタリア歴史講義 b	2	秋～冬学期	3.4	水 5	左記の授業科目のうち、4単位以上を選択必修すること。
102099	[專攻科目] イタリア社会講義 a	2	春～夏学期	3.4	月 2	
102100	[專攻科目] イタリア社会講義 b	2	秋～冬学期	3.4	月 2	
101531	[專攻科目] イタリア文化講義 I a	2	春～夏学期	3.4	木 4	
101532	[專攻科目] イタリア文化講義 I b	2	秋～冬学期	3.4	木 4	・イタリア語初級I、II」「イタリア語中級」の修了要件として認めます。
101533	[專攻科目] イタリア文化講義 II a	2	春～夏学期	3.4	水 2	・「イタリア語中級」を履修するには、本プログラムの「イタリア語初級a、b」(2単位)もしくは、マルチリンガル教育センターの「イタリア語初級I、II」(2単位)を履修していることが必要です。
101534	[專攻科目] イタリア文化講義 II b	2	秋～冬学期	3.4	水 2	・この構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で、開講日時、科目等変更される可能性があります。
101535	[專攻科目] イタリア文化講義 III a	2	春～夏学期	3.4	月 4	
101536	[專攻科目] イタリア文化講義 III b	2	秋～冬学期	3.4	金 2	

合計12単位以上で修了

原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

・イタリア語初級I、II」「イタリア語中級」の修了要件として認めます。

・「イタリア語中級」を履修するには、本プログラムの「イタリア語初級a、b」(2単位)もしくは、マルチリンガル教育センターの「イタリア語初級I、II」(2単位)を履修していることが必要です。

外国语学部【スペイン語・スペイン文化学】

●構成科目

プログラム名	和文	スペイン語・スペイン文化学
開設学部等	英文	Spanish and Spanish Culture
募集対象者	2026年度（令和8年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得する者と、また、全学共通教育科目のスペイン語初級の単位を修得している者には、スペイン語初級を免除しスペイン語中級4単位と講義6単位以上の修得で修了となります。
修了要件	12単位以上	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の緊密な課題に取り組む学門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構造型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部生向けのプログラムのうち西班牙語・プログラムとして実施するもので、西班牙語プログラムを是供する。これにより、スペイン文化学に関する幅広い知識をもつた人材を育成することを目指す。
趣旨・概要	(修了時に交付する能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①スペイン語の運用能力に関して、中級レベル（CEFR/A2もしくはB1相当）の能 力を有する。 ②スペイン語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異 文化を正しく理解できる。
カリキュラムの構成		本プログラムは、外国语学部が開講する授業科目の内、兼修語学のスペイン語初級 およびスペイン語中級（1単位の実習科目）およびスペイン語車攻の専攻科目の内、 概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。
履修資格・条件		各自の専門分野のみならず、スペイン語を修得して将来国際舞台で活躍することに 意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望理由）お よび成績などの審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。応募者は必要 に応じて面接を課すことがある。
前提知識の目安		特になし
履修申請		9-12頁を参照のこと。 履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合には、外国语学部豊中分室もしくは人文学研究科箕 面事務部MLE担当に提出すること。
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

時間割コード	授業科目名	単位数	必修	選択	開講学期(4学期制)	配当学年	曜日・時間	備考
101643	(兼修) スペイン語初級a (A)	1	春～夏学期	2.3.4	月5			
101649	(兼修) スペイン語初級b (A)	1	秋～冬学期	2.3.4	月5			
101644	(兼修) スペイン語初級a (B)	1	春～夏学期	2.3.4	木1			
101650	(兼修) スペイン語初級b (B)	1	秋～冬学期	2.3.4	木1			
101645	(兼修) スペイン語初級a (C)	1	春～夏学期	2.3.4	木2			
101651	(兼修) スペイン語初級b (C)	1	秋～冬学期	2.3.4	木2	左記の授業科目の中級レベルから2単位以 上を選択必修すること。 ※春学期と秋冬学期は同じクラスを履修 すること。		
101646	(兼修) スペイン語初級a (D)	1	春～夏学期	2.3.4	金1			
101652	(兼修) スペイン語初級b (D)	1	秋～冬学期	2.3.4	金1			
101647	(兼修) スペイン語初級a (E)	1	春～夏学期	2.3.4	水2			
101653	(兼修) スペイン語初級b (E)	1	秋～冬学期	2.3.4	水2			
101648	(兼修) スペイン語初級a [F] (書中開講)	1	春～夏学期	2.3.4	水4			
101654	(兼修) スペイン語初級b [F] (書中開講)	1	秋～冬学期	2.3.4	水4			
191629	(※①)スペイン語初級I (書中開講)	1	春～夏学期	2.3.4	月1			
192629	(※①)スペイン語初級II (書中開講)	1	秋～冬学期	2.3.4	月1			
193629	(※②)スペイン語中級 (書中開講)	1	春～夏学期	2.3.4	月2			
193630	(※②)スペイン語中級 (書中開講)	1	春～夏学期	2.3.4	金1	左記の授業科目は、選択科目とする。		
193631	(※①)スペイン語中級I (書中開講)	1	春～夏学期	2.3.4	月2			
194631	(※②)スペイン語中級I (書中開講)	1	秋～冬学期	2.3.4	月2			
101633	(※③) (兼修) スペイン語中級I a (A)	1	春～夏学期	2.3.4	木4	左記の授業科目の中級1レベルから2単位 以上を選択必修。 ※春学期と秋冬学期は同じクラスを履修 すること。		
101636	(※③) (兼修) スペイン語中級I b (A)	1	秋～冬学期	2.3.4	木4			
101634	(※③) (兼修) スペイン語中級I b (B)	1	春～夏学期	2.3.4	水4			
101637	(※③) (兼修) スペイン語中級I b (B)	1	秋～冬学期	2.3.4	水4			
101639	(※③) (兼修) スペイン語中級II a (A)	1	春～夏学期	2.3.4	水5	左記の授業科目の中級IIレベルから2単位 以上を選択必修。 ※春学期と秋冬学期は同じクラスを履修 すること。		
101641	(※③) (兼修) スペイン語中級II b (A)	1	秋～冬学期	2.3.4	水5			
101640	(※③) (兼修) スペイン語中級II a (B)	1	春～夏学期	2.3.4	水3			
101642	(※③) (兼修) スペイン語中級II b (B)	1	秋～冬学期	2.3.4	火3			
101599	[専修科目] スペイン語・文化概論a	2	春～夏学期	2.3.4	木5			
101600	[専修科目] スペイン語・文化概論b	2	秋～冬学期	2.3.4	水4	左記の授業科目のうちから、6単位以上を 選択必修。		
101601	[専攻科目] スペイン語文化概論a	2	秋～冬学期	2.3.4	木5			
101602	[専攻科目] スペイン語文化概論b	2	春～夏学期	2.3.4	水4			

合計12単位以上で修了

原則として学生は上位学年に配置されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※①「スペイン語初級I、II」については、文学部、人間科学部の学生は、卒業要件単位となり、1年次で修得した場合も当プログラムの修得を要件として認めます。

※②「スペイン語中級」については、文学部、人間科学部の学生は、卒業要件単位となり、1年次で修得した場合も当プログラムの修得を要件として認めます。

※③「スペイン語初級I、II（2単位）もしくは、マルチリンガル教育センター開講の※①「スペイン語初級I、II（2単位）」を修得していることが必要です。

※④スペイン語文化概論aも構成せねばなりません。

この構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づいて開講予定で、開講日時、科目等変更される可能性があります。

外国语学部【ポルトガル語・ポルトガル語文化学】

プログラム名	和文 ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学 英文 Portuguese language and Luso-Brazilian culture		
開設学部等	外国语学部	募集対象者	2026年度（令和8年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生
修了要件	12単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。	本学部が目的とする部局横断型教育プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする。本プログラムは、そのうちの一部で、本学部学生向けの学部プログラムのうちショートプログラムとして実施するもので、プログラム間に登録した学生に対して、ポルトガル語圏文化学に関する専門教育科目で構成される。これにより、ポルトガル語による幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの一部で、本学部学生向けの学部プログラムのうちショートプログラムとして実施するもので、プログラム間に登録した学生に対して、ポルトガル語圏文化学に関する専門教育科目で構成される。これにより、ポルトガル語による幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。	本プログラムの修得を通過して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①ポルトガル語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②ポルトガル語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	本プログラムを通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①ポルトガル語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②ポルトガル語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。
到達目標（修了時に身に付く能力）	カリキュラムの構成	カリキュラムの構成	カリキュラムの構成
履修資格・条件	各年の専門分野のみならず、ポルトガル語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生の選査をする。裏募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機およびひ興味など）の審査を終合して選考し、履修生を決定する。応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	各年の専門分野のみならず、ポルトガル語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生の選査をする。裏募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機およびひ興味など）の審査を終合して選考し、履修生を決定する。応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	各年の専門分野のみならず、ポルトガル語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生の選査をする。裏募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機およびひ興味など）の審査を終合して選考し、履修生を決定する。応募者には必要に応じて面接を課すことがある。
前提知識の目安	特になし	特になし	特になし
履修申請	9-12頁を参照のこと。 履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合に限り、外国語学部豊中分室もしくは人文学研究科窓口事務部MLE担当に提出すること。	9-12頁を参照のこと。 履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合に限り、外国語学部豊中分室もしくは人文学研究科窓口事務部MLE担当に提出すること。	9-12頁を参照のこと。 履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合に限り、外国語学部豊中分室もしくは人文学研究科窓口事務部MLE担当に提出すること。
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp

◎構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考
		必修	選択			
101726 (兼修) ポルトガル語初級a (A) (豊中開講)	1	春～夏学期	1,2,3,4	木 3		
101728 (兼修) ポルトガル語初級b (A) (豊中開講)	1	秋～冬学期	1,2,3,4	木 3		
101727 (兼修) ポルトガル語初級 a (B)	1	春～夏学期	1,2,3,4	月 4		
101729 (兼修) ポルトガル語初級 b (B)	1	秋～冬学期	1,2,3,4	月 4		
101665 ポルトガル語 1 (A) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	月 3		
101738 ポルトガル語 1 (B) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	月 4		
101666 ポルトガル語 2 (A) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	水 3		
101739 ポルトガル語 2 (B) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	2026年度開講		
101667 ポルトガル語 3 (A) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	月 4		
101668 ポルトガル語 3 (B) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	月 3		
101669 ポルトガル語 4 (A) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	火 3		
101670 ポルトガル語 4 (B) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	火 4		
101671 ポルトガル語 5 (A) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	金 3		
101672 ポルトガル語 5 (B) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	金 2		
191943 ※①海外語講習 (ポルトガル語 I [豊中開講])	2	春～夏学期	2,3,4	水 5		
192055 ※②海外語講習 (ポルトガル語 II [豊中開講])	2	秋～冬学期	2,3,4	月 5		
101730 (兼修) ポルトガル語中級 a	1	春～夏学期	2,3,4	月 3		
101731 (兼修) ポルトガル語中級 b	1	秋～冬学期	2,3,4	月 3		
101692 ※② [専攻科目] ポルトガル語文化概論a	2	春～夏学期	2,3,4	月 4		
101929 ※② [専攻科目] ポルトガル語文化概論b	2	秋～冬学期	2,3,4	月 4		
101693 ※② [専攻科目] ポルトガル語文学概論a	2	春～夏学期	2,3,4	火 4		
101694 ※② [専攻科目] ポルトガル語文学概論b	2	秋～冬学期	2,3,4	火 4		
10B695 ※② [地域系科目] ポルトガル語文学概論a	2	春～夏学期	2,3,4	水 2		
10B696 ※② [地域系科目] ポルトガル語文学概論b	2	秋～冬学期	2,3,4	火 1		

文学部【人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）】

○構成科目

プロ グ ラ ム 名 開 設 学 部 等	人文学（グローバル・アジア・スタディーズ） 英 文 Humanities (Global Asian Studies)
募 集 対 象 者	2026年度（令和8年度）に外国語学部の2・3年次に在学する正規学生
修了要件	24単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。
趣 楽 目 標	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む事務的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。 本プログラムは、そのうち学部生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国语学部の学生に対して、人文科学（グローバル・アジア・スタディーズ）に関するプログラムを提供する。
到達目標(修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①アジアの文化・歴史・思想全般に関する基礎知識を習得している。 ②アジアの文化・歴史・思想を研究するための方法を習得している。 ③アジアの文化・歴史・思想の個別主題についての専門知識を習得している。 ④アジア諸言語の高度な運用能力を習得している。
履修資格・条件	・「グローバルソフィー」「世界の中のアジア」「グローバルアジア研究」「地域アジア史」「アジアの芸術史」「アジアの思想史」「中国の文化と社会」「中国語圏文化」「中国の文化と社会」の科目群ごとに1~5の科目を配置する。 ・豊富な選択肢のなかから自由に組み合わせて選択できるため、履修者の関心に応じて、一般性（地域横断的な知と分野横断的な知）（上記①に対応）、専門性（上記③に対応）のいずれにも焦点化が可能である。 ・高度な外国语運用能力の養成のため、文献講読も開講する（上記④に対応）。 ・上記②については、各科目群の基礎的な科目をもって対応する。
前 提 知 識 の 目 安	募集人員は若干名で、履修申請書（志望理由）および成績等の審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。希望者多数の場合は、面接を課すこともある。 アジアを対象とした思想、歴史、文学、芸術などの人文学について、学部1年生程度の基礎知識を有していること。
履 修 申 請	9-12頁を参照のこと。 「学部プログラム履修申講書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。
問 合 せ 先	人文学研究科中事務部教務係 TEL: 06-6850-5085/5084 FAX: 06-6850-5087 E-mail: iijibun-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択 必修	開講学期 (4学期制)	担当学年	曜日・時間	備考
00Z2002	世界中のアジア史	2	春～夏学期	3・4年	木3	① 左記の「必修科目」1科目2単位を修得すること。 同一科目的重複履修可（担当教員に2単位を超過して修得した場合は、超過した単位を選択必修科目）の単位とすることができる。
00Z2003	世界中のアジア史	2	秋～冬学期	3・4年	木3	① 左記の「必修科目」1科目2単位を修得すること。 同一科目的重複履修可（担当教員に2単位を超過して修得した場合は、超過した単位を選択必修科目）の単位とすることができる。
00Z2001	グローバルソフィー	2	春～夏学期	2・3・4年	水1	②
00Z2004	グローバル・アジア研究 I	2	不開講	3・4年		②
00Z2005	グローバル・アジア研究 II	2	不開講	2・3・4年		②
00Z2006	グローバル・アジア研究 III	2	不開講	2・3・4年		②
00Z2014	広域アジア史 I	2	春～夏学期	2・3・4年	月1	③
00Z2015	広域アジア史 II	2	秋～冬学期	3・4年	金2	③
00Z2016	広域アジア史 III	2	不開講	3・4年	金4	③
00Z2017	広域アジア史 IV	2	不開講	2・3・4年		③
00Z2018	広域アジア史 V	2	秋～冬学期	2・3・4年	火2	③
00Z2008	アジアの思想史 I	2	春～夏学期	2・3・4年	金3	③
00Z2009	アジアの思想史 II	2	秋～冬学期	2・3・4年	木2	③
00Z2031	アジアの思想史 III	2	秋～冬学期	2・3・4年	水3	③ 左記の「選択必修科目」のうち22単位以上修得すること。 同一科目的重複履修可（担当教員に2単位を超過して修得すること）。
00Z2032	アジアの思想史 III	2	秋～冬学期	2・3・4年	金1	③
00Z2020	アジアの思想史 IV	2	秋～冬学期	2・3・4年	水2	③
00Z2010	アジアの芸術史	2	秋～冬学期	2・3・4年	水4	③
00Z2021	アジアの文化と社会 I	2	不開講	2・3・4年		③
00Z2022	アジアの文化と社会 II	2	不開講	2・3・4年		③
00Z2023	中国語圏文学 I	2	春～夏学期	2・3・4年	火5	③④
00Z2024	中国語圏文学 II	2	不開講	2・3・4年		③④
00Z2025	中国語圏文学 III	2	秋～冬学期	2・3・4年	金5	③④
00Z2026	中国語圏文学 IV	2	不開講	2・3・4年		③④
00Z2027	中国語圏文学 V	2	不開講	2・3・4年		③④
00Z2028	中国の文化と社会 I	2	不開講	3・4年		③
00Z2029	中国の文化と社会 II	2	春～夏学期	3・4年	月3	③
00Z2030	中国の文化と社会 III	2	秋～冬学期	3・4年	月3	③

合計24単位で修了

*原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

*構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

文学部 [人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）]

構成科目

プログラム名 和文 英文	人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ） Humanities (Global Euro Studies)
開設学部等 募集対象者	文学部 2026年度（令和8年度）に外国語学部の2・3年次に在学する正規学生
修了要件	24単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に沿って24単位以上修得すること。
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の緊密な課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうち学部外國語学科の学生に対して実施するもので、プログラムとともに、人文科学に関するプログラムを提供する。グローバル化が進展する今日において、ひとつの国や地域に関する専門的知識をもつて、それを含む広い領域に関する複数の学問分野について学ぶことは、ますますあらゆる時代に重要な課題となっている。本プログラムでは、ヨーロッパの古代から現代までの歴史・文化・芸術などの人文科学の基礎知識、理論方論を学び、幅広い人文科学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成することを教育目標とする。
到達目標(修了時に身に付く能力)	①ヨーロッパの文化・歴史・思想全般の基礎知識を習得している。 ②ヨーロッパの文化・歴史・思想を研究するための方法を習得している。 ③ヨーロッパの文化・歴史・思想の個別主題について専門的な知識を習得している。 ④ヨーロッパ諸言語の高度な運用能力を習得している。 *構成科目の標準者欄①～④と対応している。
カリキュラムの構成	上記の到達目標(修了時に身につけるべき能力)を達成するために、以下の科目群を配置し、系統的履修を促す。 ヨーロッパ思想とヨーロッパ芸術に関する概説講義を必修科目とし(①)、「ヨーロッパの歴史」「ヨーロッパの文学」、「ヨーロッパの芸術」など、これらに「ヨーロッパの現代」という5つの科目群を選択必修科目と位置づける。これにより、履修者の関心に応じて、ひとつの学問分野において地域横断的な見識を得る(②)とともに、ひとつの国や地域に関する分野横断的な知識得(③)が可能となる。
履修資格・条件	ヨーロッパの歴史と現代、ならびにヨーロッパの哲学・歴史・文学・芸術に關心があり、それらの領域に於ける専門研究に対する意欲を持つ学生を歓迎する。また、英・独・仏語の文献講読授業や、ネイティブ教員による英・独・仏語の授業も組み込み、高度な外国語運用能力の習得を促す(④)。
前提知識の目安	英語に加えて、ドイツ語、フランス語、イタリア語などのヨーロッパ諸言語の少なくとも一言語に関する基礎的な文法事項を修得していることが望ましい。
履修申請	9-12頁を参照のこと。 「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。
問い合わせ先	人文学研究科豊中事務部教務係 TEL: 06-6850-5084 FAX: 06-6850-5087 Email: jimbun-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択 修習	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時間	備考
00Z201	グローバル・ユーロ思想史	2	春～夏学期	2,3,4年	木2	左記の「必修科目」2科目4単位を修得すること。 同一科目の重複履修可(担当教員に確認する)。
00Z202	グローバル・ユーロ芸術史	2	春～夏学期	2,3,4年	水2	左記の「選択必修科目」の単位とすることができる。 ①
00Z203	ヨーロッパの哲学I	2	春～夏学期	月5	月3	
00Z204	ヨーロッパの哲学II	2	秋～冬学期	月3	水3	
00Z205	ヨーロッパの哲学III	2	春～夏学期	2,3,4年	月4	
00Z206	ヨーロッパの哲学IV	2	春～夏学期	2	水3	
00Z207	ヨーロッパの哲学V	2	秋～冬学期	月5	月3	
00Z208	ヨーロッパの哲学VI	2	秋～冬学期	月5	木3	
00Z209	ヨーロッパの歴史I	2	秋～冬学期	3,4年	木3	
00Z210	ヨーロッパの歴史II	2	不開講	3,4年	金2	
00Z211	ヨーロッパの歴史III	2	秋～冬学期	2,3,4年	月3	
00Z212	ヨーロッパの歴史IV	2	春～夏学期	3,4年	木3	
00Z213	ヨーロッパの歴史V	2	秋～冬学期	3,4年	木3	
00Z214	ヨーロッパの歴史VI	2	春～夏学期	2	木2	左記の「選択必修科目」のうちから、2単位以上修得すること。
00Z215	ヨーロッパの歴史I	2	秋～冬学期	月4	金2	
00Z216	ヨーロッパの歴史II	2	春～夏学期	2	木3	
00Z217	ヨーロッパの歴史III	2	秋～冬学期	2	木3	
00Z218	ヨーロッパの歴史IV	2	春～夏学期	2	木3	
00Z219	ヨーロッパの歴史V	2	秋～冬学期	2	木3	
00Z220	ヨーロッパの歴史VI	2	春～夏学期	2	木3	
00Z221	ヨーロッパの文学I	2	春～夏学期	2	木2	左記の「選択必修科目」のうちから、2単位以上修得すること。
00Z222	ヨーロッパの文学II	2	秋～冬学期	2	木2	
00Z223	ヨーロッパの文学III	2	春～夏学期	2	木2	
00Z241	ヨーロッパの文学IV	2	春～夏学期	2	木3	同一科目の重複履修可(担当教員に確認する)。
00Z242	ヨーロッパの文学V	2	春～夏学期	2	木3	
00Z243	ヨーロッパの文学VI	2	春～夏学期	2	木3	
00Z244	ヨーロッパの文学VII	2	春～夏学期	2	木3	
00Z245	ヨーロッパの文学VIII	2	春～夏学期	2	木3	
00Z246	ヨーロッパの文学IX	2	春～夏学期	2	木3	
00Z247	ヨーロッパの文学X	2	春～夏学期	2	木3	
00Z248	ヨーロッパの文学XI	2	春～夏学期	2	木3	
00Z249	ヨーロッパの文学XII	2	春～夏学期	2	木3	
00Z250	ヨーロッパの文学XIII	2	春～夏学期	2	木3	
00Z251	ヨーロッパの文学XIV	2	春～夏学期	2	木3	
00Z252	ヨーロッパの文学XV	2	春～夏学期	2	木3	
00Z253	ヨーロッパの芸術I	2	春～夏学期	月2	火1	
00Z254	ヨーロッパの芸術II	2	春～夏学期	月2	火1	
00Z255	ヨーロッパの芸術III	2	春～夏学期	月2	火1	
00Z256	ヨーロッパの芸術IV	2	春～夏学期	月2	火1	
00Z257	ヨーロッパの現代I	2	春～夏学期	月2	火1	
00Z258	ヨーロッパの現代II	2	春～夏学期	月2	火1	
00Z259	ヨーロッパの現代III	2	春～夏学期	月2	火1	

合計24単位で修了
※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
※構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

人間科学部【人間科学（共生の生態）】

○構成科目

プロ ラ ム 名	和文 Human Sciences (Ecology of Living Together)	英文	人間科学（共生の生態）
開 設 学 部 等	人間科学部		
募 集 対 象 者	2026年度（令和8年度）に外国語学部の2年次に在学する正規学生		
修 了 要 件	24単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。	
要 摘	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の複雑な課題に取り組む事務的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの1つである人間科学（共生の生態）に登録した外国语学部外國語学科の学生に対して実施するもので、プログラムに登録した外国语学部外國語学科の学生に対してはプログラムとして実施するもので、人間科学（共生の生態）に関する専門教育科目を構成されたプログラムを提供する。多様な文化的・社会的背景をもつた人々が国内外で出会う状況が生まれているこんにち、日常生活、あるいは災害や紛争といった状況下において、共生を模索し、そのあり方を問うていくことがますます重要な角度から共生について学ぶことを通じ、共生の実現に貢献で活かして、さまざまな角から共生することを目標とする。		
到達目標（修了時に付く能力）	①複眼的な思考を持ち、人々の多様性を理解できる。 ②人々と対話し関係を築き協働することについて、自分の意見を持ち、論じることができる。 ③共生に関して学んだことを応用できる。		
カリキュラムの構成	上記の到達目標を達成するために6つの科目群を配置し、共生について多面的な履修を促す。共生そのものをテーマとしてとり上げる授業と、共生に関連するテーマを扱う授業がある。 ・基礎科目群 人間科学部で学ぶための基礎的な科目群 ・行動学科目群 心理学、行動学、死生学などに関わる科目群 ・社会学科目群 社会学、文化人類学、福祉、思想などに関わる科目群 ・教育生物学の理論と教育現場に関わる科目群 ・共生学科目群 英語による科目群 ・G30科目群 英語による科目群		
履修資格・条件	募集人員は若干名で、履修申請書（志望理由）および成績審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。 前提知識は不要。		
履修申申請	本学部プログラムの履修を希望する者は、所定の期日までに、人間科学部教務係へ、「学部プログラム履修申請書」および大阪大学の「成績証明書」を提出してください。 「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できます。		
問合せ先	人間科学研究科教務係 TEL: 06-6879-8012 FAX: 06-6879-8010 Email: iika-kyonu@office.osaka-u.ac.jp		

時間割コード	授業科目名	単位数必修選択	開講学期(4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考
010867 人間科学概論	2 春～夏学期 2年次学則修習	2 秋～冬学期 2年次学則修習	月・4	1(2)3		
010729 行動学概論（心理学概論）	2 秋～冬学期 2年次学則修習	月・4	1(2)3			左記の授業科目のうちから、1科目2単位以上修得すること。
010869 社会学概論	2 秋～冬学期 2年次学則修習	水・2	1(2)3			左記の授業科目のうちから、2科目4単位以上修得すること。
010870 教育学概論	2 秋～冬学期 2年次学則修習	火・5	1(2)3			
010671 共生学概論（行動学科目）	2 秋～冬学期 2年次学則修習	火・2	1(2)3			
010734 臨床死生学・老年行動学（福祉心理学）	2 秋～冬学期 2年次学則修習	木・2	1(2)3			
010663 人間環境論	2 不開講 2年次学則修習	水・4	1(2)3			左記の授業科目のうちから、2科目4単位以上修得すること。
010864 生活環境論	2 春～夏学期 2年次学則修習	月・4	1(2)3			
010740 発達臨床心理学（障害児心理学）	2 不開講 2年次学則修習	水・2	1(2)3			
010264 集団力	2 春～夏学期 2年次学則修習	月・3	1(2)3			
010802 豊長類心理学（社会学科目）	2 秋～冬学期 2年次学則修習	火・3,水・4	1(2)3			
010770 日本の現代思想	2 秋～冬学期 2年次学則修習	火・4	1(2)3			
010556 グローバル化と文化	2 不開講 2年次学則修習	水・2	1(2)3			
010378 比較社会学	2 不開講 2年次学則修習	火・3	1(2)3			
010170 現代社会学（教育学科目）	2 春学期 2年次学則修習	木・2	1(2)3			
010623 比較教育制度学	2 夏学期 2年次学則修習	水・3,水・4	1(2)3			
010036 国際教育史	2 不開講 2年次学則修習	水・2	1(2)3			
010654 人権教育論	2 春～夏学期 2年次学則修習	木・3	1(2)3			左記の授業科目のうちから、2科目4単位以上修得すること。
010497 生涯教育学	2 秋～冬学期 2年次学則修習	火・3	1(2)3			
010786 シティインシップと教育	2 春～夏学期 2年次学則修習	月・3	1(2)3			
010752 臨床心理学概論	2 秋～冬学期 2年次学則修習	金・2	1(2)3			
010753 心理学的支援法	2 春～夏学期 2年次学則修習	火・2	1(2)3			
010648 約翰哲学	2 秋～冬学期 2年次学則修習	木・2	1(2)3			
010802マイアリティ共生（障害者・障害児心理学）	2 春～夏学期 2年次学則修習	水・2	1(2)3 [共生の入門学]			
010825 共生の哲学	2 秋～冬学期 2年次学則修習	月・3	1(2)3 [共生の入門学]			
010827 福祉社会論 I	2 秋季期 2年次学則修習	月・1,月・2	1(2)3 [福祉社会論]			
010830 利他と共生	2 秋～冬学期 2年次学則修習	火・5	1(2)3 [共生社会論]			
010831 優興と共生	2 秋～冬学期 2年次学則修習	月・2	1(2)3 [共生行動論]			
010832 ボランティアと災害	2 不開講 2年次学則修習	火・2	1(2)3 [共生行動論]			
010833 異文化理解とグローバル世界	2 秋～冬学期 2年次学則修習	木・2	1(2)3 [共生教育論]			
010837 國際協力学の諸相	2 秋～冬学期 2年次学則修習	水・5	1(2)3 [国際協力学]			
010838 地域共生学の諸相	2 不開講 2年次学則修習	火・5	1(2)3 [共生社会論]			
010840 グローバルヘルスト・人口	2 不開講 2年次学則修習	未定	1(2)3 [地球生物学]			
010841 地域共生学の諸相	2 秋～冬学期 2年次学則修習	水・2	1(2)3 [共生社会論]			
010845 エコハーツと共生	2 春～夏学期 2年次学則修習	水・3	1(2)3 [ソーシャルアート]			
(G30科目)						
Z26021 Issues in Gerontology	2 春～夏学期 2年次学則修習	木・3	1(2)3			
Z26068 Global Health and Education ※備考	2 秋～冬学期 2年次学則修習	火・2	1(2)3			左記の授業科目のうちから、1科目2単位以上修得すること。
Z26002 Gender and Education	2 春～夏学期 2年次学則修習	木・4	1(2)3			※「Global Health and Education」と「Gender Education」は、交換履修する。
Z26008 Social Science Jigakuse Texts Reading	2 秋～冬学期 2年次学則修習	未定	1(2)3			
Z26024 Psychology of Aging	2 秋学期 3年次学則修習	水・1,水・2	1(2)3			
						合計24単位で修了

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

法学部【法学・政治学】

○構成科目

プログラム名	和文 英文	法学・政治学 Law and Politics	開設学部等
募集対象者	2026年度（令和8年度）に外国語学部の2年次に在学する正規学生		法学部
修了要件	24単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。	本学部プログラム
趣旨・概要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする。本プログラムは、そのうちの学部生プログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部の学生に対して、法実・政治学に対するプログラマムを提供する。		
到達目標	(修了時に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。 ①法実・政治学について理解している。 ②法実・政治学について自分の意見を持ち、論じることができる。 ③法実・政治学を応用できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムでは、24単位以上の修得によって法実・政治学の中心部分を学ぶことができる。履修者には外国語による法実の学習機会も提供する。学習に必要なスキルを学ぶため、(国際法系科目)、(国際法系科目)、(外國語による授業科目)などの選択科目が設定され、修得した能力をさらに発展させるため、(法実系)、(政治学系)などの選択科目が設定されている。選択必修要件以外の14単位(以上)は、選択必修科目、選択科目を問わざ、科目表中のどの科目的履修によっても満たすことができる。ただし、(国際法系科目)と(外國語による授業科目)だけでは24単位以上をとつても修了要件を満たすことはならない。		
履修資格・条件	現代世界の喫緊の課題に取り組みグローバルに活躍する上で不可欠な、法実・政治学的基本的な知識の中核となる部分を獲得し、法実・政治学の領域にかかわる外国语能力を高めようという意欲のある学生を歓迎する。		
前前提知識の目安	募集人員は、若干名。履修希望者多数の場合は、入学以降の成績(GPA)および履修申請書(志望理由)を総合して選考し、履修者を決定する。	法実・政治学に関する大学初等レベルの知識を持つことが望ましい。	
履修申請	下記問合せ先の「法実部教務係」宛にメールにて申請すること。 なお、その際、CCに「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム(MLE)事務局」のアドレス〔下記〕を加えること。	法実部教務係 E-Mail : houkou-hougakukyoutamu@office.osaka-u.ac.jp *マルチリンガル・エキスパート養成プログラム(MLE)事務局 (*申請時に必ずアドレスをCCに加えること。) E-Mail : multilingual@office.osaka-u.ac.jp	
問合せ先			

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選必修	開講学期 (学期制)	担当学年	曜日・時間	備考
(法学系基本科目)						
026001 法学の基礎		2	春～夏学期	1年次以降	時間割参照	
026310 韻律法1		4	秋～冬学期	1年次以降	時間割参照	
026310 韵律法2		4	春～夏学期	2年次以降	時間割参照	
020210 行政法1		2	春～夏学期	2年次以降	時間割参照	
020211 行政法2		2	秋～冬学期	1年次以降	時間割参照	
026311 民法1		4	秋～冬学期	1年次以降	時間割参照	
020223 民法2		4	春～夏学期	2年次以降	時間割参照	
026456 民法3		4	秋～冬学期	2年次以降	時間割参照	
(国際法系科目)						
020220 国際法1		2	春～夏学期	2年次以降	時間割参照	
020221 国際法2		2	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
020301 国際法3		2	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
020304 國際経済法		2	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
020302 国際取引法		2	秋～冬学期	3年次以降	時間割参照	
(政治学系基本科目)						
026004 政治学の基礎		2	春～夏学期	1年次以降	時間割参照	
020335 國際関係論 I		2	秋～冬学期	1年次以降	時間割参照	
020063 政治学系論		4	春～夏学期	2年次以降	時間割参照	
020234 西洋政治思想史		4	秋～冬学期	2年次以降	時間割参照	
020069 日本国政史中		4	春～夏学期	2年次以降	時間割参照	
(外國語による授業科目)						
020686 特別講義 (Introduction to Japanese Law)		2	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
020685 特別講義 (Introduction to Comparative Law)		2	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
020688 特別講義 (Private Law in Japan)		2	秋～冬学期	3年次以降	時間割参照	
020689 特別講義 (Introduction to Common Law)		2	秋～冬学期	3年次以降	時間割参照	
020643 特別講義 (日本における公法と私法の争点)		2	不開講	3年次以降	時間割参照	
(法実系)						
020212 行政法3		2	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
020213 行政法4		2	秋～冬学期	3年次以降	時間割参照	
020216 刑法1		4	春～夏学期	2年次以降	時間割参照	
020217 刑法2		4	春～夏学期	2年次以降	時間割参照	
020219 刑事訴訟法		4	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
020225 民法4		2	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
026457 商法1 (会社法)		4	秋～冬学期	3年次以降	時間割参照	
026458 商法2 (総則・商行為)		2	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
020034 民事訴訟法		4	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
020032 経済法		2	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
020111 労働法		4	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
020231 国際私法		2	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
026301 國際環境法		2	不開講	3年次以降	時間割参照	
026302 国際人権法		2	不開講	3年次以降	時間割参照	
020323 中国法		4	秋～冬学期	3年次以降	時間割参照	
020096 日本の法制度		2	春～夏学期	1年次以降	時間割参照	
(政治学系)						
020064 政治過程論		4	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
020068 西洋政治史		4	秋～冬学期	3年次以降	時間割参照	
020073 行政学		4	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
020236 地方行政論		2	秋～冬学期	3年次以降	時間割参照	
020237 比較政治		4	秋～冬学期	3年次以降	時間割参照	
026401 外交政策論		2	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	
026403 平和学		2	不開講	3年次以降	時間割参照	
026404 現代ヨーロッパ政治		2	不開講	3年次以降	時間割参照	
026405 國際行動論		2	秋～冬学期	3年次以降	時間割参照	
026406 國際組織論		2	春～夏学期	3年次以降	時間割参照	

*原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

合計24単位で修了

経済学部【経済学・経営学】

○構成科目

プログラム名	和文	英文	経済学・経営学
開設学部等	経済学部		
募集対象者	2026年度（令和8年度）に外国語学部の2年次に在学する正規学生		
修了要件	24単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。		
趣旨・概要	<p>「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国语学部外国语学科の学生に対して、経済学・経営学に関するプログラムを提供する。</p> <p>本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与します。</p> ①経済学・経営学の基礎について理解している。 ②経済学・経営学問題について自分の意見を持ち、論じることができます。 ③現実の経済・経営問題について自分の意見を持ち、論じることができます。		
到達目標 (修了時に付く能力)	<p>上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、全学共通教育科目・基礎教養教育科目の「マクロ経済学の考え方」および「ミクロ経済学の考え方」の単位を修得することを前提として、専門教育科目から24単位以上を修得することを要件とします。</p> <p>その際には、経済学部の正規学生と同様に、基礎的な科目群（「マクロ経済」「ミクロ経済」「経済史」「経済学」「経営計算システム」「統計」）から3科目12単位を修得することを必修とします（選択必修科目）。</p> <p>これにより、経済学・経営学の基本的な考え方を身上に付けます。加えて、その他の関連科目（選択科目）から12単位、合計24単位以上を履修することで、応用力も涵養することを目標とします。</p>		
履修資格・条件	<p>募集人員は若干名とします。履修登録者を決定します。応募者多数の場合には、面接を課すこともあります。選考面接の日時については、別途連絡します。</p> <p>全学共通教育科目・基礎教養教育科目の「マクロ経済学の考え方」および「ミクロ経済学の考え方」の知識を前提とします。</p> <p>なお、全学共通教育科目・専門基礎教育科目の「解析学入門」および「線形代数学入門」を履修していることが望ましいです。</p>		
履修申請	<p>本学部プログラムの履修を希望する者は、所定の期日までに、経済学部教務係へ、「学部プログラム履修申請書」および大阪大学の「成績証明書」を提出してください。「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できます。</p>		
問い合わせ	<p>E-mail: ouecon-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp</p>		

時間割コード	授業科目名	単位数	開講期間(4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考
選択必修科目	必修選択	選必選択				
030101 マクロ経済	4	春～夏学期	2,3,4年	水1,水2		
030102 ミクロ経済	4	秋～冬学期	1,2,3,4年	水1,金3		左記の授業科目のうちから、3科目12単位以上修得すること。
030103 経済史	4	春～夏学期	2,3,4年	水4,金2		
030106 経営計算システム	4	秋～冬学期	2,3,4年	月4,水2		
030105 総計	4	春～夏学期	2,3,4年	月2,水3		
（選択科目）						
030201 財政	4	春～夏学期	3,4年	月1,火3		
030213 都市・地域経済	4	春～夏学期	3,4年	火1,木2		
030907 民用言語経済	4	秋～冬学期	2,3,4年	火3,金2		
030208 経済発展	4	秋～冬学期	2,3,4年	月2,水3		
030210 計量経済	4	秋～冬学期	2,3,4年	月1,水4		
030217 日本経済史2	2	春～夏学期	3,4年	火4		
030218 西洋経済史1	2	秋～冬学期	2,3,4年	金2		
030219 西洋経済史2	2	秋～冬学期	2,3,4年	火3		
030224 組織論	2	春～夏学期	2,3,4年	火3		
030674 國際經營	2	春～夏学期	2,3,4年	水3		
030271 資本戦略	2	秋～冬学期	2,3,4年	水4		
030272 財務会計	4	秋～冬学期	2,3,4年	月2,水3		
030675 財務諸表分析	2	秋～冬学期	2,3,4年	水2		
030215 ファイナンス	4	春～夏学期	3,4年	月1,火3		
030225 マーケティング	2	秋～冬学期	2,3,4年	月1		
030677 経営科学2	2	秋～冬学期	2,3,4年	火3		
030222 経営史2	2	秋～冬学期	2,3,4年	木2		
030304 教育経済	2	秋～冬学期	2,3,4年	火4		
030225 テクストマイニング	2	秋～冬学期	3,4年	火1		
030321 経済地理	2	秋～冬学期	3,4年	木1		
030346 上級マクロ経済1	2	春～夏学期	3,4年	火1		
030347 上級マクロ経済2	2	秋～冬学期	3,4年	月5		
030348 上級ミクロ経済1	2	春～夏学期	3,4年	火2		
030349 上級ミクロ経済2	2	春～冬学期	3,4年	火2		
030350 上級言語経済1	2	春～夏学期	3,4年	水4		
030351 上級言語経済2	2	秋～冬学期	3,4年	木2		
美語講義	2又は4					
特殊講義	2又は4					

合計24単位で修了

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で変更される可能性があります。

理学部【理学】

○構成科目

プログラム名	和文	英文	理学	SCIENCE
開設学部等	理学部			
募集対象者	12単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従つて12単位以上を修得すること。		
修了要件	「マルチレンガリエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の堅緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。	本プログラムは、そのうちの学部生プログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、理学に關するプログラムを提供する。		
趣旨・概要	到達目標	①理学の基礎について理解している。 ②理学の基礎について自ら調査し、資料を作成し、それをもとに議論、発表等するコミュニケーション能力が獲得できる。	本プログラムでは、12単位以上の修得によって理学の基礎部分を学ぶことができる。	(修了時に身に付く能力)
カリキュラムの構成	標準	・物理学 ・生物学 ・生物科学科 ・理学部	本プログラムでは、12単位以上の修得によって理学の基礎部分を学ぶことができる。 履修者の関心に応じて、 ・物理学 ・生物学 ・生物科学科 ・理学部	①理学の基礎について理解している。 ②理学の基礎について自ら調査し、資料を作成し、それをもとに議論、発表等するコミュニケーション能力が獲得できる。
履修資格・条件	前前提知識	の4つの学科目事に分類している。 合計12単位以上を履修することで、基礎力を涵養することを目標とします。	現代世界の堅緊の課題に取り組みグローバルに活躍する上で不可欠な、理学の基礎教養となる部分を獲得し、理学の領域にかかる外国语能力を高めようという意欲のある学生を歓迎する。 募集人員は、若干名。 履修希望者多数の場合は、入学以降の成績(GPA)および履修申請書(志望理由)を総合して選考し、履修者を決定する。	理学に関する大学初等レベルの知識を持つことが望ましい。
履修申請	「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。	「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。	理学研究科教務係 : li-gakumu@office.osaka-u.ac.jp MLE事務局 : multilingual@office.osaka-u.ac.jp	
問合せ先				

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択 修	開講学期 (4学期制)	担当学年	曜日・時間	備考
(物理学科)						
040524	宇宙地球 フィールドワーク 1	1	春学期集中 2年次以上	春学期集中	春学期集中	
040525	宇宙地球 フィールドワーク 2	1	秋学期集中 2年次以上	秋学期集中	秋学期集中	金 2
040421	地球惑星物質	2	春～夏学期 2年次以上	春～夏学期	春～夏学期	
040250	惑星科学概論	2	春～夏学期 3年次以上	春～夏学期	春～夏学期	水 2
040419	宇宙物理学	2	秋～冬学期 3年次以上	秋～冬学期	秋～冬学期	月 3
040444	地球科学概論	2	秋～冬学期 2年次以上	秋～冬学期	秋～冬学期	月 3
040548	熱物理学	2	秋～冬学期 2年次以上	秋～冬学期	秋～冬学期	水 1
040664	物理実験学	2	秋～冬学期 2年次以上	秋～冬学期	秋～冬学期	水 3
040616	現代物理学入門	2	秋～冬学期 1年次以上	秋～冬学期	秋～冬学期	水 2
040258	生物物理学概論	2	秋～冬学期 2年次以上	秋～冬学期	秋～冬学期	水 4
040574	先端物理学・宇宙地球科学論講	2	秋～冬学期 3年次以上	秋～冬学期	秋～冬学期	金 4
(化学科)						
040529	化学発展セミナー	1	春～夏学期 2年次以上	春～夏学期	春～夏学期	水 1
040530	化学への道程と私たち	1	秋～冬学期 3年次以上	秋～冬学期	秋～冬学期	月 4, 火 6, 木 6, 金 6
(生物学科)						
040293	生物学特別講義 A	1	春学期集中 3年次以上	春学期集中	春学期集中	
040294	生物学特別講義 B	1	春学期集中 3年次以上	春学期集中	春学期集中	偶数年度開講集中講義 他部局学生の受入可能人数は5名
	生物学特別講義 C	1				
	生物学特別講義 D	1				
040297	生物学特別講義 E	1	春学期集中 3年次以上	春学期集中	春学期集中	2026年度 不開講
040298	生物学特別講義 F	1	春学期集中 3年次以上	春学期集中	春学期集中	2026年度 奇数年度開講集中講義 他部局学生の受入可能人数は5名
	生物学特別講義 G	1				
	生物学特別講義 H	1				
040046	系統進化学	2	秋～冬学期 1年次以上	秋～冬学期	秋～冬学期	月 4 他部局学生の受入可能人数は5名
(理学部)						
040591	科学技術論 A1	1	春学期 3年次以上	春学期 3年次以上	春学期 3年次以上	2026年度 不開講 隔年開講 (基礎工と共同開講)
040592	科学技術論 A2	1	夏学期 3年次以上	夏学期 3年次以上	夏学期 3年次以上	2026年度 不開講 隔年開講 (基礎工と共同開講)
040593	科学技術論 B1	1	夏学期 3年次以上	夏学期 3年次以上	夏学期 3年次以上	木 5 隔年開講 (基礎工と共同開講)
040594	科学技術論 B2	1	春～夏学期 3年次以上	春～夏学期 3年次以上	春～夏学期 3年次以上	木 5 隔年開講 (基礎工と共同開講)
040594	科学英語基礎	1	秋～冬学期 2年次以上	秋～冬学期 2年次以上	秋～冬学期 2年次以上	月 5 隔年開講
040598	将来展望特論 A ※	0.5	秋学期集中 2年次以上	秋学期集中 2年次以上	秋学期集中 2年次以上	2026年度 不開講 隔年開講
040624	将来展望特論 B ※	0.5	秋学期集中 2年次以上	秋学期集中 2年次以上	秋学期集中 2年次以上	合計12単位で修了

※将来展望特論 A やおよび将来展望特論 B は「積重な科目」となります。授業概要等には数字を省略した科目名で記載されていますが、修得成績は単位を修得した原に「将来展望特論 A1、A2」「将来展望特論 B1、B2」と自動的に数字が付番されます。
※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

工学部【工学】

◎構成科目

プログラム名 和文 ENGINEERING 英文		工学						
開設学部等	工学部	修了要件	12単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従つて12単位以上を修得すること。				
募集対象者	2026年度（令和8年度）に外国語学部の2、3年次に在学する正規学生	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の知的問題を取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする学部横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部生プログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、工学に関するプログラムを提供する。						
到達目標（修了時に付く能力）	①工学の基礎をもとに、自ら調査し資料を作成できる能力、議論、発表等するコミュニケーション能力を獲得している。 ②工学の基礎をもとに、以下的能力を備えた学生に修了認定証を授与する。							
カリキュラムの構成	本プログラムでは、上記の到達目標を達成するために、工学部（応用自然科学科、環境・エネルギー工学科、地球総合工学科、学科共通）が開講する科目より12単位を提供し、工学について幅広い知識の習得を促す。							
履修資格・条件	現代世界の複雑な課題に取り組みグローバルに活躍する上で不可欠な、工学の専門的な知識の基礎となる部分を獲得し、工学の領域にかかわる外国語能力を高めようという意欲のある学生を歓迎する。募集希望者は、多数の場合は、選考のうえ、履修者が決定される。							
前提知識の目安	工学に関する大学初等レベルの知識を持つことが望ましい。							
履修申申請	P ○頁を参照のこと。 「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。							
問合せ先	工学研究科教務課学生支援係 E-mail: koukyomu-gs@office.osaka-u.ac.jp							

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	選修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考
《応用自然科学科 開講科目》							
080005 先端科学序論Ⅱ		2		秋～冬学期	1年次以上	月 4	豊中開講
080369 ハイオテクノロジー概論		2		春～夏学期	2年次以上	水 1	吹田開講
《環境・エネルギー工学科 開講科目》							
085012 環境・エネルギー工学概論Ⅰ		2		春～夏学期	1年次以上	金 3	(注1) (注2)
085013 環境・エネルギー工学概論Ⅱ		2		秋～冬学期	1年次以上	月 2	(注1) (注2) (注3)
《地球総合工学科 開講科目》							
083220 地球総合工学概論Ⅰ		2		春～夏学期	1年次以上	金 3	豊中開講
《工学部学科共通 開講科目》							
084010 総合科目Ⅰ		1		春学期	4年次以上	火 5	吹田開講
084020 総合科目Ⅱ		1		夏学期	4年次以上	火 5	吹田開講
合計12単位で修了							

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※構成科目は変更する可能性があります。

(注1) MLEでの受入は若干名とする。

(注2) 全学教育推進機構の講義室で行い、受講人数に上限があります。環境・エネルギー工学科生の必修科目でもあるため、年度によつてはMLEでの受講を制限する場合があります。

(注3) 環境・エネルギー工学概論Ⅰを必ず受講していること。なお、環境・エネルギー工学概論Ⅱを受講する環境・エネルギー工学科の学生に対しては、クラス研究（9月末）の出席とレポート提出により環境・エネルギー工学概論Ⅱの出席点をカウントしている。

外国语部生は、クラス研修に参加できないことが予想されるため、クラス研修に関するレポートは提出しない。

前 提 知 識 の 目 安
履 修 資 格・条 件

工学に関する大学初等レベルの知識を持つことが望ましい。
P ○頁を参照のこと。
「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。

問 合 せ 先
工学研究科教務課学生支援係
E-mail: koukyomu-gs@office.osaka-u.ac.jp

基礎工学部 [基礎工学]

○構成科目

プロ プ ラ ム 名	和文 基礎工学 英文 Engineering Science
開 設 学 部 等	基礎工学部
募 集 対 象 者	2026年度（令和8年度）に外国語学部の2、3年次に在学する正規学生
修 了 要 件	12単位以上 本学部ショートプログラムの単位から12単位を修得すること。 「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の知識の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする学部横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部外外国語学科の学生に対するもので、プログラムに登録した外国語学部外外国語学科の学生に対して、基礎工学部に対するプログラムを提供する。
趣 旨 ・ 概 要	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。 ①基礎工学の基礎について理解している。 ②基礎工学の基礎をもとに、自ら調査し資料を作成できる能力、議論、発表等するコミュニケーション能力を獲得している。
到 達 目 標	（修了時に付く能力） 本プログラムでは、上記の到達目標を達成するために、基礎工学部が開講する科目を提供し、基礎工学について幅広い知識の習得を促す。
力 り キ ュ ル ム の 構 成	現代世界の要緊の課題に取り組みグローバルに活躍する上で不可欠な、基礎工学の専門的な知識の基礎となる部分を獲得し、基礎工学の領域にかかる国際的能力を高めようという意欲のある学生を歓迎する。 募集人員は、若干名。履修希望者多数の場合は、選考のうえ、履修者が決定される。
前 提 知 識 の 目 安	基礎工学に関する大学初等レベルの知識を持つていることが望ましい。また、学部初年次の「解析学入門」「線形代数学入門」水準の数学能力を身につけておくことが望ましい。
履 修 申 請	9-12頁を参照のこと。 「学部プログラム履修申請書」の用紙は、MIEのホームページから入手できる。
履 修 資 格 ・ 条 件	基礎工学研究科教務係 E-mail: ki-kyomu@office.osaka-u.ac.jp

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択 選必	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時間	備考
090448	物理数学	2 春～夏学期	2年次以上	水2		単位取得を必須とはしないが、本科目履修にも最低限求められる。
090645	基礎工学ための量子物理学1（※1）	1 秋学期	2年次以上	金5		
090646	基礎工学ための量子物理学2（※1）	1 冬学期	2年次以上	金5		
090748	基礎工学ための光物理学	1 秋学期	2年次以上	水5		
090647	基礎工学ための化学1（※2）	1 秋学期	2年次以上	火5		基礎工学部学生の必修科目でもあるため原則として定員に空きがある科目のみ履修することができます。
090648	基礎工学ための化学2（※2）	1 冬学期	2年次以上	火5		*「※1）（※2）（※3）」の科目については、いずれか1科目のみ修得することができます。
090749	基礎工学ための応用力学	1 冬学期	2年次以上	火5		
090650	基礎工学ための知識システム学	1 秋学期	2年次以上	金5		
090651	基礎工学ための生命科学	1 冬学期	2年次以上	水5		
090652	基礎工学ためのサイバネティクス	1 冬学期	2年次以上	火5		
090653	基礎工学ための情報学1（※3）	1 秋学期	2年次以上	水5		
090654	基礎工学ための情報学2（※3）	1 冬学期	2年次以上	水5		
090655	基礎工学ための数理	1 秋学期	2年次以上	水5		
090651	技術経営学	2 秋～冬学期	4年次以上	集中		*集中講義
090653	科学技術論 A1	1 春学期	4年次以上	木5		
090654	科学技術論 A2	1 夏学期	4年次以上	木5		「科学技術論 A1・A2」と「科学技術論 B1・B2」は、年度ごとに交互に開講する。
090655	科学技術論 B1	1 不開講	4年次以上	シラバスで要確認		
090656	科学技術論 B2	1 不開講	4年次以上	シラバスで要確認		
(電子物理科学科)						
090663	回路理論 I	1	春学期	2年次以上	金3	
090109	アナログ電子回路 I	1	秋学期	2年次以上	金2	
090570	情報理論 I	1	春学期	2年次以上	水3	
090572	電磁気学 I	1	春学期	2年次以上	月1	
090578	量子物理学 I	1	春学期	2年次以上	水5	
090581	統計力学基礎 I	1	秋学期	2年次以上	火4	
090583	固体物理 I	1	秋学期	2年次以上	金3	
090372	量子力学 A	2	秋～冬学期	2年次以上	木1	
090313	統計物理学 I	2	秋～冬学期	2年次以上	水1	
090373	量子力学 B	2	春～夏学期	3年次以上	火1	
090501	量子情報科学	2	春～夏学期	3年次以上	月3	
(化学応用科学科)						
090079	化学工学概論	2	秋～冬学期	2年次以上	月3	
090542	反応工学 A	2	秋～冬学期	2年次以上	火1	
090334	物理化学 C	2	秋～冬学期	2年次以上	火4	
090336	物理化学 D	2	秋～冬学期	2年次以上	火3	
090350	分離工学 A	2	秋～冬学期	2年次以上	木2	
090360	有機化学 B	2	秋～冬学期	2年次以上	月3	
090544	移動現象 A	2	秋～冬学期	2年次以上	木1	
（システム科学科）						

時間割 コード	授業科目名	単位数	選択 必修	開講学期 (4学年制)	配当学年	曜日・時限	備考
090232	数値解析	2	秋～冬学期	2年次以上	水3		
090270	設計工学	2	秋～冬学期	2年次以上	火4		
090318	熱工学 A	2	秋～冬学期	2年次以上	水2		
090660	機械力学 B	2	秋～冬学期	2年次以上	金2		
090602	材料力学 A	2	春～夏学期	2年次以上	水3		
090603	機械力学 A	2	春～夏学期	2年次以上	金2		
090604	流体工学 A	2	秋～冬学期	2年次以上	月4		
090611	材料力学 B	2	秋～冬学期	2年次以上	木1		
090636	制御理論 A	2	秋～冬学期	2年次以上	火3		
090487	医用画像論	2	秋～冬学期	2年次以上	水4		
090724	ブレインサンエンス入門	2	秋～冬学期	2年次以上	月3		
090722	サイバネティクス	2	秋～冬学期	2年次以上	火3		
090728	ライフサイエンス	2	秋～冬学期	2年次以上	月4		
090392	神経生物学	2	春～夏学期	3年次以上	金2		
090398	システム生物学	2	春～夏学期	3年次以上	木2		
《情報科学科》							
090047	データ構造とアルゴリズム	2	秋～冬学期	2年次以上	月1		
090134	計算機アーキテクチャ	2	秋～冬学期	2年次以上	月2		
090375	論理設計	2	秋～冬学期	2年次以上	水4		
090142	計算幾宣言語	2	秋～冬学期	2年次以上	水3		
090167	情報解析 A	2	秋～冬学期	2年次以上	火3		
099008	数学 C	2	秋～冬学期	2年次以上	火2		
099007	数学 C	2	秋～冬学期	2年次以上	火2		
090226	数学 C	2	秋～冬学期	2年次以上	火2		
099009	数学 D	2	秋～冬学期	2年次以上	木3		
090229	数学 D	2	秋～冬学期	2年次以上	月5		
090103	基礎数理 B	2	秋～冬学期	2年次以上	金3		
090068	応用数理 A	2	春～夏学期	3年次以上	月1		
090070	応用数理 C	2	春～夏学期	3年次以上	水2		
090104	基礎数理 C	2	春～夏学期	3年次以上	火3		
090440	数値計算	2	夏学期	3年次以上	金5・6		
090473	計算数理 A	2	春～夏学期	3年次以上	月5		

*原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

数理・データ科学教育研究センター【数理・データサイエンス・AI】

○構成科目

プロ グラム 名	和文 英文	数学・データサイエンス・AI Mathematics Data Science・AI
開設 学 部 等		
募 集 対 象 者	2026年度（令和8年度）に外国語学部外国語学科の2、3年次に在学する正規学生	
修 了 要 件	12単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。
趣 旨 ・ 概 要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む事務的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムは、そのうちの一部で、学部生向けの学部プログラムのうちシヨートプログラムとして実施科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、情報学に関する基礎科目に対して、情報学の幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。	
到 達 目 標 (修了時に身に付く能力)	①現代のAI技術をその可能性と限界を踏まえた上で正しく理解し、統計情報を正しく解釈できるデータリテラシーを身に付ける。 ②実社会の問題解決に数理的思考・手法が有効であることを学び、理系的な発想を加えてデータ・AIを日常生活や仕事などで活用できる能力を身に付ける。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、全学教育推進機構が開講する基礎教養教育科目および外國語学部開講科目によって構成される。	
履 修 資 格 ・ 条 件	各自の専門分野のみならず、情報学を修得して将来社会で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前 提 知 識 の 目 安	特になし	案内冊子を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。
履 修 申 請 請	問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 E-mail: multilingual@office.osaka-u.ac.jp

必修科目	時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選 必 修	開講学期 (4学期制)	担当学年	曜日・時限	備考	開講部局
135335 文理融合に向けた数理科学 I	2	春夏学期	全学年	月1				全学教育推進機構
135337 文理融合に向けた数理科学 I	2	春夏学期	全学年	火1				全学教育推進機構
135339 文理融合に向けた数理科学 I	2	春夏学期	全学年	木1				全学教育推進機構
135341 文理融合に向けた数理科学 I	2	春夏学期	全学年	金2				全学教育推進機構
135302 文理融合に向けた数理科学 I	2	春夏学期	全学年	月5				全学教育推進機構
135304 文理融合に向けた数理科学 I	2	春夏学期	全学年	水5				全学教育推進機構
135305 文理融合に向けた数理科学 I	2	春夏学期	全学年	火5				全学教育推進機構
135306 文理融合に向けた数理科学 I	2	春夏学期	全学年	木5				全学教育推進機構
135309 文理融合に向けた数理科学 I	2	春夏学期	全学年	金4				全学教育推進機構
135312 文理融合に向けた数理科学 I	2	春夏学期	全学年	金5				全学教育推進機構
135316 文理融合に向けた数理科学 I	2	春夏学期	全学年	火4				全学教育推進機構
135318 文理融合に向けた数理科学 I	2	春夏学期	全学年	木4				全学教育推進機構
選択必修科目								
137263 文理融合に向けた数理科学 II	2	秋冬学期	2.3.4	オンデマンド				全学教育推進機構
137259 データサイエンスによる課題解決入門	2	秋冬学期	2.3.4	火5	左記の「選択必修科目」のうち6単位を修得すること。			全学教育推進機構
135310 データサイエンスの基礎 I	2	春夏学期	2.3.4	水3	6単位を超過して修得した場合は、「選択科目」の達成基準位に該当することができる。			全学教育推進機構
137268 データサイエンスの基礎 II	2	秋冬学期	2.3.4	水3	6単位を超過して修得した場合は、「選択科目」の達成基準位に該当することができる。			全学教育推進機構
135314 数理・データサイエンス・AI活用 PBL	2	通年	2.3.4	集中講義				全学教育推進機構
135293 データ科学のための数理	2	秋冬学期	2.3.4	オンデマンド				全学教育推進機構
137248 データ・AI・エンジニアリング基礎	2	秋冬学期	2.3.4	オンデマンド				全学教育推進機構
選択科目								
135275 数理モデリングの基礎	2	春夏学期	2.3.4	金1				全学教育推進機構
135297 データ解析の実際	2	春夏学期	2.3.4	水1	左記の「選択科目」のうち単位を修得すること。			全学教育推進機構
137215 【総合】情報探索入門	2	秋冬学期	1.2.3.4.5.6	オンデマンド				外国语学部
102165 (学井・方法論) 言語統計学a 豊中開講)	2	不開講	3.4	不開講				外国语学部
102166 (学井・方法論) 言語統計学b 豊中開講)	2	不開講	3.4	不開講				外国语学部
合計12単位で修了								

*原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

2026年度 マルチリングガル・エキスパート養成（MLE）大学院プログラム紹介

人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）

○構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修		選択 区分	開講年次 (毎年/隔年)	開講学期 春～夏学期 秋～冬学期	開講部局	課程	備考
		必修	選修						
45Y0AA	世界の中のアジア史 (M)	2	毎年	春～夏学期	人文社会系研究科	博士前期	①		
45Y001	世界の中のアジア史 (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文社会系研究科	博士前期	①		
45Y003	グローバルフィロソフィー (M)	2	毎年	春～夏学期	人文社会系研究科	博士前期	②		
20ZU003	グローバル・アジア研究Ⅰ (M)	2	不定期	不開講	人文社会系研究科	博士前期	②		
20ZU004	グローバル・アジア研究Ⅱ (M)	2	不定期	不開講	人文社会系研究科	博士前期	②		
20ZU005	グローバル・アジア研究Ⅲ (M)	2	不定期	不開講	人文社会系研究科	博士前期	②		
45Y011	広域アジア史Ⅰ (M)	2	隔年	春～夏学期	人文社会系研究科	博士前期	③		
45Y013	広域アジア史Ⅱ (M)	2	隔年	秋～冬学期	人文社会系研究科	博士前期	③		
45Y015	広域アジア史Ⅲ (M)	2	隔年	不開講	人文社会系研究科	博士前期	③		
20ZU009	広域アジア史Ⅳ (M)	2	不定期	不開講	人文社会系研究科	博士前期	③		
45Y019	広域アジア史Ⅴ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文社会系研究科	博士前期	③		
45Y021	アジアの思想史Ⅰ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文社会系研究科	博士前期	③		
45Y023	アジアの思想史Ⅱ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文社会系研究科	博士前期	③		
45Y025	アジアの思想史Ⅲ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文社会系研究科	博士前期	③		
45Y040	アジアの思想史Ⅳ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文社会系研究科	博士前期	③		
45B401	アジアの思想史Ⅴ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文社会系研究科	博士前期	③		
45Y029	アジアの芸術史 (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文社会系研究科	博士前期	③		
45Y031	アジアの文化と社会Ⅰ (M)	2	隔年	不開講	人文社会系研究科	博士前期	③		
未定	アジアの文化と社会Ⅱ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文社会系研究科	博士前期	③		
45Y035	中国語国文Ⅰ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文社会系研究科	博士前期	③(4)		
45Y037	中国語国文Ⅱ (M)	2	隔年	不開講	人文社会系研究科	博士前期	③(4)		
45Y039	中国語国文Ⅲ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文社会系研究科	博士前期	③(4)		
45Y041	中国語国文Ⅳ (M)	2	毎年	不開講	人文社会系研究科	博士前期	③(4)		
20ZU022	中国語国文Ⅴ (M)	2	毎年	不開講	人文社会系研究科	博士前期	③(4)		
20ZU023	中国の文化と社会Ⅰ (M)	2	不定期	不開講	人文社会系研究科	博士前期	③		
45Y047	中国の文化と社会Ⅱ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文社会系研究科	博士前期	③		
45Y049	中国の文化と社会Ⅲ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文社会系研究科	博士前期	③		

※学生は、上位課程の科目を履修できません。例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません。

※構成科目の一覧は2025年度の実績に基づく予定で変更される可能性があります。

人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）

○構成科目

プログラム名	和文 英文	人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム） Humanities (Global EuroStudies) (Multilingual Expert Program)
開設研究科	人文学研究科	
履修対象者	修士	
修了要件	修了要件単位数 14単位以上	修了要件（単位数以外の修了要件がある場合） 本大学院プログラム科目を14単位以上履修すること。
趣旨・概要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルな人材を養成することを目的とする部局横断的なプログラム。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対し、学際融合・社会連携指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修できるよう、幅広い基礎知識、方法論を学ぶための授業を提供する。本プログラムの古代～現代の人文学、芸術など、幅広い人文科学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成する。	
到達目標 (修了時に身につく能力)	①ヨーロッパの文化・歴史・思想を習得している。 ②ヨーロッパの文化・歴史・思想の個別主題についての専門知識を習得している。 ③ヨーロッパ諸言語の高度な運用能力を習得している。 ④ヨーロッパの文化・歴史・思想の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。 ⑤異なる分野にも視野を向けた地平を広げることができる。 ⑥新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。	
カリキュラムの構成	・「ヨーロッパの哲学」「ヨーロッパの歴史」「ヨーロッパの文学」「ヨーロッパの芸術」「ヨーロッパの現代」の科目群ごとに3～13の科目を選択する。 ・豊富な選択肢の中から自分に合った選択ができるため、履修者の関心に応じて、一般性（地域横断的な知と分野横断的な知）（上記①に対応）、専門性（上記③に対応）のいずれにも焦点化が可能である。 ・高度な外国語運用能力の養成のため、文献講読、ネイティブ教員による英・独・仏語授業も開講する（上記④に対応）。 ・上記②については、各科目群の基礎的な科目をもって対応する。	
履修条件	【履修対象】令和8年4月（又は、10月入学の場合は、令和7年10月）に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻応用日本学コースのいずれかに入学する（した）者。 【定員】若干名 【選考】マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム、「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」の修了生以外は選考の上、履修生を決定する。	
前提知識の目安	ヨーロッパの人文学に関する学部レベルの専門知識を有すること。 ヨーロッパ諸地域の言語、文化、歴史、芸術、思想に関心があり、独自に問題を設定して、それについて粘り強く探求する意欲を持つ学生を歓迎する。	
特記事項	学部プログラム時に履修した同じ名称の科目の履修を原則として認める。	
ホームページ	ホームページ： https://mle.osaka-u.ac.jp/	
申請先	申請先：multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

*学生は、上位課程の科目を履修できません（例えは、博士前期課程の科目を履修することはできません）。

履修対象者が複数の課程にわたりる場合は、科目構成等にご留意ください。
※構成科目の一覧は2025年度の実績に基づく開講予定で変更される可能性があります。

◎構成科目

時 間 別 コード	授業科目名	単位数	開講年度		開講学期	開講部局	課 程	備 考
			必修	選必				
450701	アイヌ語	2	毎年	集中	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450702	現代チベット語A	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450703	現代チベット語B	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450704	古典チベット語A	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450705	古典チベット語B	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450706	カレン語	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450707	シャン語	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450708	オセアニア諸語A	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450709	オセアニア諸語B	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450710	サンスクリット語A	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450711	サンスクリット語B	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450712	バーリ語A	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450713	バーリ語B	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450714	ベンガル語	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450715	ヴィクラム	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450716	カザフ語A	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450717	カザフ語B	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450718	ペルミ語A	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450719	ペルミ語B	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450720	アラム語	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450721	アフロアジア諸語	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450722	西アフリカ諸語A	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450723	西アフリカ諸語B	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450724	東・南アフリカ諸語A	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450725	東・南アフリカ諸語B	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450726	古代教会スラブ語A	2	隔年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450727	古代教会スラブ語B	2	隔年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450728	ウクライナ語A	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450729	ウクライナ語B	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450730	ラテン語A	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450731	ポーランド語B	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450732	リトアニア語A	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450733	リトアニア語B	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450734	エスベラント語	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450735	ラテン語A	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450736	ラテン語B	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450737	セルビア語A	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450738	セルビア語B	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450739	チエコ語A	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450740	チエコ語B	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450741	マルタ語A	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450742	マルタ語B	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450743	ブルガリア語A	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
450744	ブルガリア語B	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
454001	研究基礎(外国学専攻)	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
454002	伝統言語実践論ⅠA	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
454003	伝統言語実践論ⅠB	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
454004	伝統言語実践論ⅡA	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
454005	伝統言語実践論ⅡB	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
454006	伝統言語実践論ⅢA	2	毎年	春~夏学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講
454007	伝統言語実践論ⅢB	2	毎年	秋~冬学期	人文学研究科(外国学専攻)	博士前期課程	博士前期課程	2025不開講

時間割	授業科目名	開講年度 (毎年・隔年)		開講部局	課 程	備 考
		単位数	選必選			
コード	ヘルシア語特別演習 A	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544523	ヘルシア語特別演習 B	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544524	トルコ語特別演習 A	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544525	トルコ語特別演習 B	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544526	スワヒリ語特別演習 A	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544527	スワヒリ語特別演習 B	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544528	ロシア語特別演習 A	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544529	ロシア語特別演習 B	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544530	ロシア語特別演習 C	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544531	ハンガリー語特別演習 A	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544532	ハンガリー語特別演習 B	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544533	デンマーク語特別演習 A	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544534	デンマーク語特別演習 B	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544535	スウェーデン語特別演習 A	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544536	スウェーデン語特別演習 B	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544537	ドイツ語特別演習 A	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544538	ドイツ語特別演習 B	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544539	英語特別演習 A	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544540	英語特別演習 B	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544541	英語特別演習 C	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544542	英語特別演習 D	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544543	フランス語特別演習 A	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544544	フランス語特別演習 B	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544545	イタリア語特別演習 A	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544546	イタリア語特別演習 B	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544547	スペイン語特別演習 A	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544548	スペイン語特別演習 B	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544549	ポルトガル語特別演習 A	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程
4544550	ポルトガル語特別演習 B	2	毎年	春～夏学期 秋～冬学期	人文学研究科 (外国文學專攻)	博士前期課程

※学生は、上位課程の科目を履修できません（例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません）

※構成科目の一覧は2025年度の実績に基づく予定です。

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選必 選択	開講年度 (毎年・夏季)		開講部局	課 程	備 考
			春～夏学期	秋～冬学期			
454293	ヨーロッパ言語社会動態論ⅣA	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454294	ヨーロッパ言語社会動態論ⅣB	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454295	ヨーロッパ言語社会動態論ⅤA	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454296	ヨーロッパ言語社会動態論ⅤB	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454297	ヨーロッパ言語社会動態論ⅥA	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454298	ヨーロッパ言語社会動態論ⅥB	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454299	イギリス言語社会動態論ⅠA	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454300	イギリス言語社会動態論ⅠB	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454301	アメリカ言語社会動態論ⅠB	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454302	アメリカ言語社会構造論ⅠA	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454303	アメリカ言語社会構造論ⅠB	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454401	世界文学・文化研究	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454402	現代英米政治外交史特殊研究	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454403	英米言語社会論(A)	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454404	Global Area Studies A	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454405	Global Area Studies B	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454406	グローバル地域社会論A	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454407	グローバル地域社会論B	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454408	グローバル地域研究演習A	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454409	グローバル地域研究演習B	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454410	グローバル地域研究方法論	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454462	世界の言語	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454463	世界の言語事情	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454413	英米言語社会論(B)	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454414	英米言語社会論(C)	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454415	英米言語社会論(D)	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454416	英米言語社会論(E)	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454452	通訳翻訳学特別講A	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454453	通訳翻訳学特別講B	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454454	多言語共生社会演習	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454455	グローバル共生実践演習	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454501	中国語特別演習A	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454502	中国語特別演習B	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454503	朝鮮語特別演習A	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454504	朝鮮語特別演習B	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454505	モンゴル語特別演習A	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454506	モンゴル語特別演習B	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454507	インドネシア語特別演習A	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454508	インドネシア語特別演習B	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454509	フィリピン語特別演習A	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454510	フィリピン語特別演習B	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454511	ヒンディー語特別演習A	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454512	ヒンディー語特別演習B	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454513	ベトナム語特別演習A	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454514	ベトナム語特別演習B	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454515	ヒルマ語特別演習A	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454516	ヒルマ語特別演習B	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454517	アラビア語特別演習A	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454518	アラビア語特別演習B	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454519	ウルドゥー語特別演習A	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454520	ウルドゥー語特別演習B	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454521	アラビア語特別演習A	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		
454522	アラビア語特別演習B	2	毎年	人文文学研究科(外国文学専攻)	博士前期課程		

人間科学（共生の生態）

◎構成科目

プロ ラ ム 名	和文 英文	人間科学（共生の生態）（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム） Human Sciences (Ecology of Living Together) (Multilingual Expert Program)
開 設 研 究 科	人間科学研究科	
履 修 対 象 者	修士	
修 了 要 件	修了要件単位数 14単位以上	修了要件（単位数以外の修了要件がある場合） 本大学院プログラム科目を14単位以上履修すること。
要 摘	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の緊密な課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録したStudent-Wingとして、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域が学修できるよう人間科学（共生の生態）に関する科目で構成されたプログラムを提供する。多様な文化的・社会的背景をもつた人々が、国内外で出会う状況が生まれている今日において、災害や紛争といった状況下ではもちろん、日常生活においても共生のあり方を探求し、問うていくことがますます重要となっています。本プログラムでは人間科学研究科の多様な専門性について複数の学問領域にわたりて学ぶことを通じ、社会的公正のあり方を問い合わせ、社会問題の解決に取り組み、共生の実現に貢献することを目指す。	
修 了 要 件	修了要件（単位数以外の修了要件がある場合） 本プログラムでの学習を通して、以下の能力を得た方に修了認定証を授与する。 ①複眼的な思考を持ち、人々の多様性を理解できる。 ②人々とお話し関係を築き協働することについて、自分の意見を持ち、論じることがができる。 ③共生に関することを実践に応用したり、課題解決のために生かしたりすることができる。 ④異なる分野にも視野を広げることができる。 ⑤新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。	
到達目標 (修了時に身につく能力)	標準	上記の到達目標を達成するために4つの学系から提供される科目群を配置し、共生について多面的な履修を促す。共生そのもののテーマとしてとり上げる授業と、共生に関連するテーマを扱う授業がある。 行動学系科目群 社会学・人間学系科目群 心理学・人類学 生物学・文化人類学、福祉、思想などに関わる科目群 教育学系科目群 共生学系科目群
カリキュラムの構成		【履修対象】 令和8年4月（又は、10月入学の場合は、令和7年10月）に、人文学研究科博士前期課程の言語文化専攻、外国学専攻、日本学専攻用日本学コースのいづれかに入学する（した）者。 【充実】若干名 【選考】マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム、「人間科学（共生の生態）」の修了以外は選考の上、履修生を決定する。
履 修 資 格・条 件		
前 提 知 識 の 目 安	前提知識は不要。	
特 記 事 項		
申 申 請 先	ホームページ： https://mle.osaka-u.ac.jp/ 申請先：multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

※⑥⑦の重複履修は認められません（両方とも履修できません）
※学生は、上位課程の科目を選択できません
※構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

政治学·法学

◎構成科目

プログラム名	和文 法学・政治学（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム） 英文 Law and Politics (Multilingual Expert Program)
開設研究科	法学研究科
履修対象者	修士
修了要件	修了要件単位数 14単位以上 修了要件単位数 14単位以上 本大学院プログラム科目を14単位以上履修すること。
要旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修することと、様々な分野にも視野を向け、法的ルールや歴史的に形成された社会や世界の社会が今後有るべき諸秩序や構想に関する考察を加え、日本や世界の社会研究科が開講する関連科目群を提供する。
到達目標 (修了時に身につく能力)	本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①法学・政治学における研究能力、および高度の専門性が求められる職業を担うための能力を有する。 ②異なる分野や知識や技術との組み合わせを試みる創造的な活動ができる。 ③新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。
カリキュラムの構成	カリキュラムの構成 ・課程 ・条件 ・履修資格・条件
前提知識の目安	前半の授業では、各教員による個別指導を受けながら、基礎知識を学びます。後半の授業では、各教員による個別指導を受けながら、専門知識を学びます。
特記事項	ホームページ：https://mle.osaka-u.ac.jp/ 申請先：multilingual@office.osaka-u.ac.jp

※構成科目の一覧は、2025年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

経済学・経営学

○構成科目

プログラム名	和文 英文	経済学・経営学（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム） Economics and Business Administration (Multilingual Expert Program)
開設研究科	経済学研究科	
履修対象者	修士	
修了要件	修了要件 単位数 14単位以上	修了要件（単位数以外の修了要件がある場合） 「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の緊密な課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プロトコラル・アカデミック・アーキテクチャ（Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修できるよう、経済学専攻および経営学系専攻の経済学・経営学に関する専門科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、経済学・経営学に通暁した人材を育成することを目指す。
趣旨・概要	到達目標 (修了時に身につく能力)	①経済学・経営学の基礎について理解する。 ②経済学・経営問題を現実の経済・経営問題に応用できる。 ③現実の経済・経営問題について自分の意見を持ち、高度なレベルのプレゼンテーションやディスカッションを行うことができる。 DWAAの到達目標 ④異なる分野にも視野を向け知的地平を広げることができること。 ⑤新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。
カリキュラムの構成	履修条件	上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、本プログラムでは経済学研究科（経済学専攻応用経済コース、経済学専攻経済制度・事例分析コース、経営学系専攻ビジネスコース）が開講する科目を提供し、経済学においては経営学について系統的な履修を促す。
特記事項	前知識の目安 本一ムベー ジ申請先	【履修対象】令和8年4月（又は、10月入学の場合は、令和7年10月）に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻応用日本学コースのいずれかに入学する（した）者。 【選考】若干名 【参考】マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム、「経済学・経営学」の修了生以外は選考の上、履修生を決定する。 本プログラムを構成する各科目の履修にあたつては、学部レベルでの経済学・経営学の知識および理解を有することを前提とする。 ホームページ： https://mle.osaka-u.ac.jp/ 申請先： multilingual@office.osaka-u.ac.jp

時間割コード	授業科目名	単位数必修選必選択	開講年度(毎年隔年)	開講部局	課程	備考
230011	ミクロ経済基礎	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230012	マクロ経済基礎	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230013	計量経済基礎	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230014	政策史基礎	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230007	経営史I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230009	経営史II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230101	ミクロ経済分析I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230102	ミクロ経済分析II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230103	マクロ経済分析I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230104	マクロ経済分析II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230105	計量経済分析I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230106	計量絏済分析II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230107	経済数学	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230108	公共経済I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230109	公共経済II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230110	財政I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230111	財政II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
231251	応用計量経済I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
231252	応用計量経済II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
231253	行動・実験経済I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
231254	行動・実験経済II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230112	金融I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230113	金融II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230116	国際経済I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230117	国際経済II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230118	開発経済I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230119	開発経済II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230120	労働経済I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230121	労働経済II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230122	都市・地域経済I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230123	都市・地域経済II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230124	数理経済分析I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230125	数理経済分析II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230128	産業組織I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230129	産業組織II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230130	日本経済史I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230131	日本経済史II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230132	近代日本経済史I	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230133	近代日本経済史II	2	毎年春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選必	開講年度 毎年[隔年]	開講学期	開講部局	課程	備考
230134	グローバル経営史 I	2	毎年	私～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
230135	グローバル経営史 II	2	毎年	不開講	経済学研究科	博士前期課程	
230136	西洋経済史 I	2	毎年	不開講	経済学研究科	博士前期課程	
230137	西洋経済史 II	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
230138	西洋経営史 I	2	毎年	不開講	経済学研究科	博士前期課程	
230139	西洋経営史 II	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
	経済学特論	2又は4	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232001	統計基礎	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232002	オペレーションズ・リサーチ	2	毎年	不開講	経済学研究科	博士前期課程	
232004	リスク・マネジメント	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232005	確率モデルとシミュレーション	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232006	統計解析	2	毎年	不開講	経済学研究科	博士前期課程	
232007	データマイニング論	2	毎年	不開講	経済学研究科	博士前期課程	
232008	財務諸表分析	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232009	マネジメント・アカウンティング	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232010	マーケティング・サイエンス	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232011	マーケティング・マネジメント	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232012	投資理論	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232015	人の資源管理	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232016	アジア企業・マネジメント	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
	経営学特論 I	2又は4	毎年	不開講	経済学研究科	博士前期課程	
232101	経営意思決定	2	毎年	不開講	経済学研究科	博士前期課程	
232102	金融工学	2	毎年	不開講	経済学研究科	博士前期課程	
232103	応用統計分析	2	毎年	不開講	経済学研究科	博士前期課程	
232104	テキストマイニング論	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232105	理論会計分析	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
232106	実証会計分析	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
232107	コーポレート・ファイナンス	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232108	アセット・ブライシング	2	毎年	不開講	経済学研究科	博士前期課程	
232109	経営戦略論	2	毎年	私～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
232110	国際経営	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232111	組織行動論	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
	経営学特論 II	2又は4	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
	ケーススタディ	2又は4	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	

*学生は、上位課程の科目を履修できません（例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません）。

履修対象者が複数の課程にわたりる場合は、博士前期課程の科目を履修することができます。

*構成科目の一覧は2025年度の実績に基づく開講予定で、変更の可能性があります。

国際公共政策学

○構成科目

プロ ラ ム 名	和文 英文	国際公共政策学（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム） International Public Policy (Multilingual Expert Program)
開 設 研 究 科	国際公共政策研究科	
履 修 対 象 者	修士	
修 了 要 件	修了要件 14単位以上	修了要件（単位数以外の修了要件がある場合）
趣 旨 ・ 概 要		「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語による知識を蓄積するための課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする。本プログラムは、そのうちの14単位は、本大学院プログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に對して、学際融合・学術連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修することで、様々な分野にも視野を向け、平和や安全保障、環境問題、経済発展・開発、人権の保障などの公共政策課題について、自分の意見を広く世界に発信したり、解説に向けて指導力を發揮したりできるよう人材の育成を目指す。
到達目標	標準 (修了時に身につく能力)	本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。 ①国際公共政策学（法学、政治学、経済学）について十分な研究能力を備えている。 ②高度な専門性をもつたための能力を十分に有する。 ③異なる分野にも視野を広げる。 ④新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。
カリキュラムの構成		上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、本プログラムでは、国際公共政策研究科が開講する科目の中から、国際法、国際関係論、経済学などの基礎をしっかりと固められる科目群を提供する。
【履修対象】		令和8年4月（又は、10月入学の場合は、令和7年10月）に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻応用日本学コースのいずれかに入学する（した）者。
履修資格・条件		【定員】若干名 【選考】マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム、「法学・政治学」もしくは「経済学・経営学」の修了生以外は選考の上、履修生を決定する。
前提知識の目安		特になし。
特記事項		
申講先など		ホームページ：https://mle.osaka-u.ac.jp/ 申講先：multilingual@office.osaka-u.ac.jp

*上位課程の科目を履修できません（例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません）。

*構成科目の一覧は2025年度の実績に基づく開講予定で変更される可能性があります。

大学院生のための工学入門

○構成科目

プロ ラ ム 名	和文 英文	大学院生のための工学入門（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム） Introduction to Engineering for Graduate Students (Multilingual Expert Program)
開 設 研 究 科	工学研究科	修士
修 了 要 件	修了要件数 5.2単位以上 ら5単位以上	修了要件（単位数以外の修了要件がある場合） 本大学院プログラム科目から、必修科目0.2単位および選択科目か
趣 意 ・ 概 旨		「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の要緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対しで、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修できるよう、工学研究科の工学に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、グローバル人材の育成において、工学にも通暁した人材を育てることを目指す。
到 達 目 標 (修了時に身につく能力)		本プログラムでの学修を通じて、以下①および②～⑥の中のいずれかの能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①工学を学ぶにあたり初步的な知識を持ち、理解できるようになる。 ②先端的な科学技術が学術論文作成のためだけのものではなく、世の中の課題を解決し、イノベーション創出につながるという意義と、それを裏付ける事例が把握できるようになる。 ③イノベーション創出には、研究や技術に社会的意義や価値を持たせることが必要で、差別化のためには知的財産化や標準化に大きな意義があるという知識とその事例を把握できるようになる。 ④新たな知識や技術を実社会の課題解決に繋いで価値を持つイノベーションに至らせるには、広い範囲から既存の技術やビジネスを集めて（オープンイノベーション）融合することが必要だという知識や事例を体験を経て把握できるようになる。 ⑤研究開発の企画や進め方、および新技術の扱い方は、イノベーション創出のためにはどうあるべきかという知識や事例を把握し、その成功や失敗の要因を分析できるようになる。 ⑥産業界等から講師を招いた講義により、先端ハイオクノロジーの産業への応用について理解し、説明できるようになる。
カリキュラムの構成		上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、本プログラムでは、工学研究科が開講する科目の中から、工学の基本を固め、技術の社会実装にも役立つ科目群を提供する（した）者。
履 修 資 格 ・ 条 件		【履修対象】 令和8年4月（又は、10月入学の場合は、令和7年10月）に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻応用日本学コースのいずれかに入学する（した）者。 【定員】若干名 【選考】マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム、「工学」の修了生以外特になし。
特 記 事 項	ホームページ ホー ムペー ジ 申 請 先	ホームページ： https://mle.osaka-u.ac.jp/ 申請先： multilingual@office.osaka-u.ac.jp

※学生は、上位課程の科目を履修できません（例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません）。

※講義は全て日本語で行います。日本語でのディスカッションを数多く取り入れるので、日本語でのコミュニケーション能力があることが望みます。

※構成科目の一覧は2025年度の実績に基づく開講予定で変更される可能性があります。

データサイエンス

○構成科目

プロ プラ ム 名		和文 英文	データサイエンス（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム） Data Science (Multilingual Expert Program)	
開 設 研 究 科			数理・データ科学教育研究センター	
履 修 対 象 者		修士		
修了要件	修了要件	修了要件（単位数以外の修了要件がある場合）		
修了要件	8単位以上	本大学院プログラム科目から8単位以上を含めること。ただし選択必修科目から2単位以上を含めること。また、学部と大学院の両方必修科目としている選択必修科目の単位を学部で修得した場合、1科目2単位を上限に修了単位に算入することができる。		
趣旨・概要		「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構造型教育プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修できるよう、学際融合教育科目、人文科学研究科、人間科学研究科のデータサイエンスに関する専門科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、データサイエンスに通じし、計量的手法を有効に用いて人文社会科学の研究を遂行できる人材を育成することを目指す。		
到達目標（修士時に身につく能力）		本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。 ①データサイエンスについて十分な研究能力を備えている。 ②高度の専門性が求められる職業を担うための能力を十分に有する。 ③異なる分野にも視野を向け知的地平を広げる。 ④新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。		
カリキュラムの構成		上記の到達目標（修了時）を達成するために、本プログラムでは、基礎工学研究科、学際融合教育科目、人文科学研究科、人間科学研究科および言語／テキスト処理などの基礎をしっかりと固められる科目群を提供する。		
履修資格・条件		【履修対象】 令和8年4月（10月入学の場合は、令和7年10月）に、人文科学研究科博士前期課程の言語文化学專攻、外国学專攻、日本学專攻応用日本学コースのいづれかに入学する（した）者。		
前提知識の目安		【定員】若干名 【選考】マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム、「数理・データサイエンス・AI」の修了生以外は選考の上、履修生を決定する。		
特記事項		特になし。		
申込	ホーミュームペーパー ジジ 申込先	ホームページ： https://mle.osaka-u.ac.jp/ 申請先： multilingual@office.osaka-u.ac.jp		

時間割コード	授業科目名	単位数 必修必修必修	開講年度 毎年／隔年	開講部局	課程	備考
C51004	データ科学と意識決定	2	毎年 秋～冬学期	学際大学院機構	博士前期課程	学部とのクロスリスト科目 MIE学部向けプログラム選択必修科目（学部とのクロスリスト）
290604	データ科学のための数理	2	毎年 秋～冬学期	基礎工学研究科	博士前期課程	
452069	応用言語学研究A	2	毎年 春～夏学期	人文科学研究科 (言語文化学専攻)	博士前期課程	
452070	応用言語学研究B	2	毎年 秋～冬学期	人文科学研究科 (言語文化学専攻)	博士前期課程	
	社会データ科学特講A	2	隔年 春～夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	
219193	社会データ科学特講B	2	隔年 春～夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	令和8年度開講

※学生は、上位課程の科目を履修できません（例えば、博士前期課程の科目を履修することはできません）。

※構成科目の一覧は2025年度の実績に基づく開講予定で変更される可能性があります。

大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムに関する申合せ

(趣 旨)

第1条 この申合せは、大阪大学（以下「本学」という。）の学生に対して、当該学生が所属する学科および専攻の教育課程（カリキュラム）に加えて別途提供する大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（以下「マルチリンガルプログラム」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(目 的)

第2条 マルチリンガルプログラムは、学部および大学院博士前期課程（修士課程を含む。）を通じた部局横断型教育プログラムを構築することによって、複数の学部および複数の研究科の教育プログラムを修め、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする。

(対象学生)

第3条 マルチリンガルプログラムは、本学の学部と大学院に所属する学生に対して提供するものとする。（プログラムごとに対象学生を設ける。）

(構 成)

第4条 マルチリンガルプログラムは、学部における教育プログラム（以下「学部プログラム」という。）および大学院における教育プログラム（以下「大学院プログラム」という。）で構成する。

2 学部プログラムは、レギュラープログラムおよびショートプログラムから構成される大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムとして開設し、その修了要件、提案、承認、修了認定証の発行および管理運営については、別に定める。

3 大学院プログラムは、大阪大学大学院副専攻プログラム、大学院等高度副プログラムとして開設する。

(修了要件)

第5条 マルチリンガルプログラム（全課程）の修了の要件は、学部プログラムのうちレギュラープログラムを修了し、かつ、大学院において所属する専攻があらかじめ指定する大学院プログラムを修了することとする。

(修了認定証の発行)

第6条 学部プログラムの提案部局又は幹事部局は、マルチリンガルプログラムを修了した学生に対して、所属学部の修了後、速やかに学部プログラムの提案部局又は幹事部局の長と総長との連名によるマルチリンガルプログラムの修了認定証を発行することができる。大学院プログラムの提案部局又は幹事部局の長と総長の連名によるマルチリンガルプログラムの修了認定証を発行することができる。修了認定証の学生への交付は、提案部局又は幹事部局による修了判定の後、課程修了時と同時にを行うものとする。

附 則

この申合せは、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和5年4月1日から施行する。

大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムの一部として 実施される学部プログラムに関する覚書

(趣 旨)

第1条 この覚書は、大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムに関する申合せ（以下「申合せ」という。）第4条第2項の規定に基づき、大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム（以下「学部プログラム」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(構 成)

第2条 学部プログラムは、その教育目標に沿って、所属学科に準ずる一定のまとまりを有する科目により構成するものとし、レギュラープログラムおよびショートプログラムを設ける。

(修了要件)

第3条 学部プログラムの修了に必要な単位数は次のとおりとし、各学部プログラムごとにこれを定めるものとする。

(1)レギュラープログラム 24単位以上

(2)ショートプログラム 12単位以上24単位未満

2 学部プログラムの修了に必要な単位と所属学科の卒業に必要な単位との重複を認めるものとする。

(提 案)

第4条 部局（文学部、人間科学部、外国語学部、法学部、経済学部、理学部、工学部、基礎工学部および数理・データ科学教育研究センターをいう。以下同じ。）は、単独で又は複数の部局が連携して、学部プログラムを提案するものとする。

2 前項の場合において、複数の部局が連携して提案する場合は、幹事部局を定め、幹事部局から提案を行うものとする。

(承 認)

第5条 マルチリンガル・エキスパート養成プログラム運営協議会は、提案部局又は幹事部局から提案された学部プログラムの名称、内容等について、審議し、承認するものとする。

(修了認定証の発行)

第6条 提案部局又は幹事部局は、学部プログラムを修了した学生に対して、所属学科の卒業後、速やかに提案部局又は幹事部局の長と総長との連名による学部プログラムの修了認定証を発行することができる。

(実 施)

第7条 学部プログラムの実施については、提案部局又は幹事部局で行うものとする。

附 則

この申合せは、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和6年4月1日から施行する。

各プログラムの詳細については、25頁以降の各プログラムに記載の問合先へご連絡ください。

(全般的な問合先)

大阪大学 人文学研究科箕面事務部
マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当
〒562-8678 箕面市船場東3丁目5番10号
Email : multilingual@office.osaka-u.ac.jp
ホームページ URL : <https://mle.osaka-u.ac.jp/>

